

XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 31 年 3 月 31 日現在のものである。

1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室	氏名 増子 和男
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	早稲田大学 第一文学部 文学科中国文学専修[1976年03月卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 中国文学専攻[1978年03月修了] 早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989年4月～1991年3月) 鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990年4月～1991年3月) 梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991年4月～1995年3月) 九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994年4月～1999年3月) 梅光女学院大学 文学部 助教授(1995年4月～2001年3月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001年4月～2002年3月) 梅光学院大学 文学部 教授(2001年4月～2008年3月) 東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002年4月～2004年3月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002年4月～2008年3月) 山口大学 教養課程 非常勤講師兼任(2007年4月～2008年3月) 台湾輔仁大学 大学院外国語学研究科 講師兼任(集中講義)(2008年2月～2008年2月) 茨城大学 教育学部 教授(大学院教育学研究科教授併任)(2008年4月～) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部) 非常勤講師兼任(2011年4月～2014年3月) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科) 非常勤講師兼任(2011年4月～2017年3月) 茨城大学教育学部附属特別支援学校 学校長併任(2012年4月～2015年3月) 早稲田大学 教育学部 非常勤講師兼任(2019年4月～)
学位	文学修士[早稲田大学] 博士(文学)[早稲田大学]
受賞歴	なし

所属学会	日本中国学会 全国漢文教育学会 和漢比較文学会 中唐文学会 早稲田大学 中国文学会 中国詩文研究会 中国古典学会 日本聞一多学会 早稲田大学 国文学会
専門分野	中国文学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 明治以来、西欧一辺倒となった日本では、漢文をさしたる理由もなく、「古くさい」と決めつけて嫌う風潮が蔓延し、今日に至っています。しかし、漢文は日本が属する東アジアの共通言語であり、ちょうど西欧諸国の「ラテン語」にあたる存在で、長い年月、東アジア各国の文学や文化、そして言語にも大きな影響を与えてきたものなのです。漢文を単純に古くさいと決めつけて否定し、或いは難しそうだと、これを避けて通ろうとすることは、自分たちの歴史、文化、言語の一方の「親」を否定することであり、更にはその血を引いた自分自身をも否定することにも繋がってしまいかねません。教育、とりわけ国語教育に携わる人たちがそうであってはなりません。自国や自分の属する東アジアのことを知った上で、はじめて本当の意味での国際人になれるのだということを強く自覚して漢文を学習してほしいと思います。</p> <p>唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。 文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。</p> <p>(キーワード) 六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較</p>
担当科目	<p>((教養科目)コミュニケーションと芸術文化 (専門科目)漢文学概論, 漢文学研究法Ⅰ, 漢文学研究法Ⅱ, 初等国語科内容研究, 漢文学基礎, 漢文学演習Ⅰ, 初等国語科内容研究, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 漢文学特論, 初等国語教育授業設計, 漢文学研究, 研究と教育一知の往還をめぐって—</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著]増子和男「「つなぐ」と言うこと—そして「つなぐ」ためには—」, 茨城の国語教育, 16, 6-16(2019年03月03日)
2. []増子 和男「岡倉天心の漢詩—特にその恋愛詩二首について—」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 25, 3-11(2018年11月30日)
3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]増子和男「「貧乏神」考—窮鬼と貧乏神の間—」, 2018 和漢比較文学研究会論文集, 1, 1, 47-57(2018年10月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 増子和男「「つなぐ」と言うこと」茨城国語教育学会大会(最終講義を兼ねる)茨城大学教育学部[2019年03月03日]
2. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] 増子 和男「貧乏神考」和漢比較文学会第11回海外特別例会国立台湾大学(台湾・台北市)[2018年08月30日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)・非常勤講師, 6(時間/月)(2011年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本詩経学会, 理事(2002年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「常陸万葉の会講演会」, 常陸万葉の会(水戸市 茨城県立図書館会議室)[招待講演](2018年12月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中華民国 新北、台北(輔仁大学、国立台湾大学)[研究打合せ、国際学会出席及び研究成果発表]
(2018年8月～9月:4日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室

氏名 川嶋 秀之

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東京都立大学大学院 人文科学研究科 国語学[1987年]
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会 日本方言研究会 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション【2Q】日本語の世界, 人間とコミュニケーション (専門科目)国語学演習Ⅱ, 国語学概論, 国語学演習Ⅰ, 保育内容の研究(言葉), 国語表現法, 郷土の言葉, 卒業研究, 初等国語科内容研究, 言語と文化の諸相, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 古典語特論, 初等国語教育授業設計, 現代語演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]『『歴史言語学の射程』, 三省堂, 19-35(2018年11月25日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著]「細部の言語表現への気づきのために―「ゆうすげ村の小さな旅館」と「さんちき」とを例に」, 茨城の国語教育, 16, 37-45(2019年03月03日)

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

○ 講演会・シンポジウム

1. 「常陸万葉の会(国内)」, [](2018年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室	氏名 鈴木 一史
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻[1996年03月修了] 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000年4月～2012年3月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002年4月～2004年3月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005年4月～2012年3月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007年4月～2012年3月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会 日本国語教育学会 全国大学国語教育学会 日本読書学会 人文科教育学会 日本教育大学協会:国語研究部副部長
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文コーパス 教科書分析 作文語彙 授業開発
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション+メディア文化, メディア文化 (専門科目)初等国語科教育法/初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究/中等国語科教育法Ⅰ, 中等国語科教育法Ⅲ, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育学特論Ⅰ, 国語科教育学演習Ⅰ, 初等国語教育授業設計, 中等国語科授業設計, 人間形成の現代的課題と学習指導, 教育方法開発課題研究Ⅰ, 教材研究と授業設計Ⅰ, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [単行本(学術書)・編者]鈴木一史「中学校国語指導技術アイデア事典」, 明治図書, 8-12 (2018年07月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]鈴木一史「第二次言文一致と思考変化」, 茨城の国語教育, 16, 27-36(2019年03月03日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]鈴木一史「作文語彙と学習成績との関連性からわかる語彙力の諸相」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 1-12(2019年01月29日) [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]鈴木一史「語彙学習の二側面」, 国語教

育研究, 53, 554, 4-9(2018 年 06 月 10 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(共同)]批評感覚(2016 年 09 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 緑岡高校・(2016 年 04 月～)
2. [兼業] 教員免許状更新講習・(2012 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本国語教育学会, 高等学校部会副部長(2010 年 04 月～)
2. 解釈学会, 常任委員・編集委員(2009 年 01 月～)
3. 日本国語教育学会, 全国大会企画委員(2008 年 04 月～)
4. 日本国語教育学会, センター試験問題検討委員(2005 年 04 月～)
5. 日本教育大学協会, 国語研究部副部長(2015 年～)
6. センター試験問題問題検討委員会委員(2002 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「第 81 回 国語教育全国大会(国内)」, 日本国語教育学会(東京)[司会・議長・コンピナー・コーディネータ, 企画・運営](2018 年 08 月)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「高萩市子ども読書活動推進計画委員会」(2018 年 04 月～)
2. 日本郵便[学外審議会・委員会等]「絵手紙作文コンクール中央審査会委員」(2018 年 04 月～)
3. 公益社団法人 高等学校文化連盟[その他公的社会活動]「高文連・指導助言講師(文芸部門)」(2017 年 06 月～)
4. [学外審議会・委員会等]「茨城県教育研究連盟」(2015 年 04 月～)
5. [その他公的社会活動]「授業づくり研究会「ことばをひらく会」」(2013 年～)
6. [その他公的社会活動]「日本学術振興会」(2013 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](代表)「授業者の言語力と授業構築との関係性の解明と授業力向上プログラムの開発」, 195 万円 (2017 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [学内共同研究]「先端医療科学コミュニケーション教育の体制整備に関する研究(分担)」, 150 万円(2018 年 04 月～)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 国語教育教室	氏名 宮崎 尚子
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>熊本大学大学院 文学研究科(日本)[1999年03月修了]</p> <p>九州大学大学院 比較社会文化研究科 日本社会文化専攻(文化構造)(日本)[2002年03月単位取得満期退学]</p> <p>尚綱大学(2000年4月～2005年10月)</p> <p>尚綱高等学校(2002年4月～2007年3月)</p> <p>平成音楽大学(2005年10月～2007年3月)</p> <p>熊本学園大学(2006年4月～2007年3月)</p> <p>尚綱高等学校(2007年4月～2011年3月)</p> <p>尚綱大学(2011年4月～2015年3月)</p> <p>熊本市医師会看護専門学校(2014年4月～2017年3月)</p> <p>尚綱大学(2015年4月～2017年3月)</p> <p>教育学部 国語教育教室(2017年4月～)</p>
学位	修士(文学)[熊本大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	日本文学
教育研究概要	<p>文学性を育む国語教育について研究しています。具体的には旧制中学校時代の川端康成の受けた国語教育や、学校での体験を中心に調査しています。</p> <p>科学研究費助成事業／基盤研究 C(一般)研究代表者「新資料川端康成『生徒の肩に柁をのせて』の関係資料収集と翻刻整理を目的とした研究」／2015～2017年</p> <p>(キーワード)日本近現代文学 国語教育 川端康成 旧制中学校 日記</p>
担当科目	<p>(教養科目)大学入門ゼミ, 人間と文学・芸術+思想・文学, 思想・文学</p> <p>(専門科目)近・現代文学研究Ⅰ, 近・現代散文研究Ⅰ, 国文学概論+国文学史, 近・現代文学演習Ⅰ, 初等国語科内容研究, 近・現代散文研究Ⅱ, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)近代文学特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著]宮崎尚子「川端康成『十六歳の日記』と茨木中学校の指導『生徒日誌』—中学五年生の試み—」, 茨城の国語教育, **16**, 46-56(2019年03月)

2. [研究論文(学術雑誌)]宮崎尚子「川端康成に影響を与えた茨木中学校の教師たち」, 茨城大学教育学部紀要. 人文・社会科学・芸術, **68**, 1-10(2019年01月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 宮崎尚子「新資料「生徒の肩に柩をのせて」に描かれた恩師倉崎仁一郎」川端康成学会昭和女子大学[2018年08月25日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨木市制施行 70 周年記念シンポジウム 文化探訪 川端康成とふるさと茨木 (国内)」, 茨木市(茨木市)[基調講演](2018年11月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県高等学校文化連盟弁論部会[その他公的社会活動]「第44回茨城県高等学校春季弁論大会(審査委員)」『第44回茨城県高等学校春季弁論大会』(2018年05月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

ロシア サンクトペテルブルク(サンクトペテルブルク大学)[国際学会出席及び研究成果発表](2018年9月:4日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 小野寺 淳
----------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	筑波大学 人文学類 歴史地理学[1978年] 筑波大学大学院 歴史・人類学研究科 史学専攻(歴史地理学)[1985年]
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会 日本国際地図学会 東京地学協会 日本地理学会 人文地理学会 歴史地理学会 茨城地理学会
専門分野	地理学 人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。 (キーワード)江戸時代の古地図研究,伊勢参り,古道,城下町
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 社会と人間/公共社会【1Q】都市の歴史的景観, 社会と人間/公共社会【2Q】古地図にみる世界観・国土観の変遷 (専門科目)歴史地理学 I, 人文地理学 E+人文地理学 I+人文地理学特論+人文地理学概論+人文地理学, 茨城の歴史と文化, 人文地理学演習, 地理学野外実習 III, 卒業研究 (大学院科目)人文地理学演習, 社会・文化総合研究IV, 人文地理学特論, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(学術書)・共著]渡辺理絵・角屋由美子・小野寺淳・小橋雄毅「明和6年(1769)の米沢城下と原方集落における家臣の屋敷配置-GIS 城下図の分析を通して-」, 平井松午編『近世城下絵図の景観分析・GIS 分析』古今書院, 241~253(2019年03月30日)
- [単行本(学術書)・共著]小野寺淳・田中耕市・永井博・小橋雄毅「水戸城下における17世紀中頃と19世紀中頃における禄高別拝領屋敷地の分布」, 平井松午編『近世城下絵図の景観分析・GIS 分析』古今書院, (2019年03月30日)

3. [単行本(一般書)・分担執筆]小野寺淳「水戸市立博物館編『特別展 水戸城遙かなり』, 水戸市立博物館, 25~28(2019年02月10日)
4. [共著【査読あり】]川原美礼・鈴木瑛莉乃・中村颯・木村寛也・大島規江・小野寺淳「庄内砂丘の農業的土地利用-酒田市浜中地区におけるメロン栽培を中心に-」, 茨城地理, 19, 21-33(2019年01月30日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
- 1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 小野寺淳・塚本麻文・石井智子・永山未沙希「明治の検定教科書期における学校用地図帳」茨城地理学会第19回大会[2018年08月04日]
- 2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 「最上川絵図にみる文化的景観」人文地理学会第288回例会(特別例会「山形県の文化遺産と地域資源」)東北公益文化大学[2018年06月23日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 東京大学非常勤講師・(2018年04月~)
- 学協会での役職
- 1. 茨城県, 文化財保護審議会副会長(2018年04月~)
- 2. 歴史地理学会, 常任委員長(2015年06月~2019年05月)
- 3. 茨城地理学会, 会長(2012年08月~)
- 4. 人文地理学会, 協議員(2007年~)
- 5. 日本国際地図学会, 評議員(2005年04月~)
- 講演会・シンポジウム
- 1. 「茨城県弘道館アカデミー県民大学「17世紀から19世紀にかけての日本図」(国内)」, 茨城県西生涯学習センター[招待講演](2018年12月)
- 2. 「茨城県北ジオパーク構想インタープリター養成講座(国内)」, 茨城県北生涯学習センター[招待講演](2018年10月)
- 3. 「一関市立博物館「江戸時代の川と川船-絵図に見る北上川-」(国内)」, [招待講演](2018年10月)
- 4. 「水戸まちづくりの会「歴史を活かしたまちづくり」(国内)」, 民間ボランティア団体「水戸まちづくりの会」[招待講演](2018年07月)
- 5. 「国文学研究資料館地球変動適応科学研究機関共同シンポジウム(国内)」, [招待講演](2018年02月)

○ 地域協力活動

1. 水戸市商工会議所商工振興課まちの駅みとネットワーク協議会(2013 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 村山 朝子
----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学 文教育学部 地理学科[1981年03月卒業] 奈良女子大学大学院 文学研究科 地理学[1984年03月修了] お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984年4月～1990年3月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992年12月～2004年3月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993年4月～2004年3月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998年4月～2005年3月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004年4月～2009年9月) 茨城大学教育学部教授(2009年10月～)</p>
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	<p>令和元年度「測量の日」における功労者(2019) 人文地理学会賞(2007)</p>
所属学会	日本社会科教育学会 日本地理教育学会 日本地理学会 人文地理学会 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。地理教育が果たすべき役割は、自然と人間との関わりをベースに、地域の具体的事象を取り上げ、科学的社会認識にもとづく市民性の育成にあると考えます。</p> <p>地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わっています。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。2011年から茨城県内の小中学生の地図作品展「いばらき児童生徒地図作品展」を主催し、小中学生の地域に対する関心や空間的思考を培う地図づくりの活動の普及に努めています。</p> <p>(キーワード)社会科教育 地理教育 教科書 教材 カリキュラム 地図 スウェーデン</p>
担当科目	(専門科目)社会・地理歴史科教育法/社会科教育法特講Ⅱ, 地理歴史科教育法

	<p>研究 I, 中等社会科教育法 I, 社会科・地歴科教育法 I, 地理歴史科教育法, 中等社会科教育法 I + 中等社会科教育法研究, 社会科教科論, 社会科教育法演習 II, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 初等社会科教育特論 I, 中等社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 社会科授業設計 I</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・]村山朝子「『ニルスのふしぎな旅』と日本人-スウェーデン地理読本は何を伝えてきたか-」, 新評論, (2018 年 11 月 20 日)

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本社会科教育学会, 評議員(2018 年 04 月～)
2. 茨城地理学会, 常任委員長(2012 年 08 月～)
3. 全国児童生徒地図作品展協議会, 会長(2018 年 01 月～)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「いばらき児童生徒地図研究会 会長」(2011 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 木村 勝彦
----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	筑波大学 第一学群人文学類 史学[1984 年] 筑波大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1991 年]
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会 日本教育方法学会 全国社会科教育学会 日本社会科教育学会 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究。 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ (専門科目)初等社会科教育法/初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 社会科・公民科教育法 I, 社会・公民科教育法+社会科教育法特講 I, 社会科教育法演習 I (大学院科目)初等社会科教育特論 II, 中等社会科教育特論 II, 社会科教育演習 II, 社会科授業設計 II, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 白鷗大学法学部・講師, 16(時間/月)(2005 年 04 月～)
2. [その他] 茨城県教育研修センター・講師(2004 年 07 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本社会科教育学会，評議員(2005 年 04 月～)
2. 日本公民教育学会，常任理事(2002 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 中野 雅紀
----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>中央大学 法学部 法律学科[1987年03月卒業]</p> <p>中央大学大学院 法学研究科博士課程前期課程 公法専攻[1991年03月修了]</p> <p>中央大学大学院 法学研究科博士課程後期課程 公法[1996年03月単位取得満期退学]</p> <p>慶應義塾大学大学院 法学研究科・法学部(2005年度文部科学省内地留学訪問教官)[2006年03月修了]</p> <p>慶應義塾大学 文学部 哲学系[2016年09月卒業]</p> <p>京都大学大学院 法学研究科後期博士課程 法政理論専攻(公法専攻)[2018年09月修了]</p> <p>東京電子専門学校 非常勤講師(1991年4月～1993年3月)</p> <p>中央大学 通信教育学部 インストラクター(1991年～)</p> <p>埼玉大学 非常勤講師(1995年4月～1998年9月)</p> <p>中央大学 法学部 兼任講師(1996年4月～1998年3月)</p> <p>千葉大学 非常勤講師(1996年4月～1998年3月)</p> <p>日本比較法研究所 嘱託研究員(1996年4月～)</p> <p>武蔵丘短期大学 非常勤講師(1997年4月～1999年9月)</p> <p>芝浦工業大学 工学部(昼間部・夜間部) 非常勤講師(1997年4月～2005年3月)</p> <p>芝浦工業大学 工学部(夜間部) 非常勤講師(1997年4月～2005年9月)</p> <p>茨城大学 教育学部 助教授(1998年10月～)</p> <p>茨城工業高等専門学校 非常勤講師(1999年4月～2005年9月)</p> <p>リリー保育福祉専門学校 非常勤講師(2004年10月～2005年9月)</p> <p>慶應義塾大学 法学部・法学研究科 文部科学省内地留学制度訪問教官(2005年10月～2006年3月)</p> <p>茨城大学 教育学部 准教授(学校教育法改正に伴う職名の変更)(2007年4月～)</p> <p>常磐大学 人間科学部 非常勤講師(2017年4月～2018年3月)</p>
学位	法学士[中央大学] 法学修士[中央大学] 学士(哲学)[慶應義塾大学] 博士(法学)[京都大学]
受賞歴	なし

所属学会	比較憲法学会 法制史学会 史学会 法文化学会 日本法哲学会 日本比較法研究所 憲法裁判研究会 ドイツ憲法判例研究会 憲法理論研究会 日本公法学会
専門分野	法哲学 西洋法制史 日本国憲法 公法学 ドイツ国法学
教育研究概要	(キーワード)公法学、国法学、憲法学、ドイツ法、法哲学 etc.
担当科目	(教養科目)日本国憲法 (専門科目)法学特講/法と社会, 法学概論, 法学演習, 卒業研究 (大学院科目)社会・文化総合研究Ⅱ, 憲法演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [その他・共編者]「平成 30 年度 茨城大学教育学部社会科教育 法学(中野雅紀)ゼミナール卒業論文集」, 私家版, (2019 年 03 月 26 日)
2. [(MISC)その他記事単著【査読あり】]「わが国憲法理論における「構成要件」概念について」, 平成 30 年度 茨城大学教育学部社会科教育 法学(中野雅紀)ゼミナール卒業論文集, 1-12(2019 年 03 月 26 日)
3. [学位論文(博士)単著【査読あり】]「基本権価値・原理の衝突とその規範分析—基本権構造論の諸問題—(Digest_要約)」, Kyoto University Research Information Repository
<https://doi.org/10.14989/doctor.k21319>, 1-8(2019 年 03 月 23 日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]「基本権構成要件」なのか、それとも「保護領域」なのか <http://ir.lib.ibaraki.ac.jp/bitstream/10109/13709/1/20180109.pdf>, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 68, 35-42(2019 年 01 月 29 日)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]「秩序・価値・主体—憲法秩序を考えるに際しての予備的考察— <http://ir.lib.ibaraki.ac.jp/bitstream/10109/13708/1/20180108.pdf>, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 68, 21-33(2019 年 01 月 29 日)
6. [共著【査読あり】]「《シンポジウム》第二部会 立憲主義と法治主義の現代的課題—討論要旨— 赤坂正浩会員(法政大学)に対する中野雅紀会員(茨城大学)の質問」, 公法研究, 80, 221-222 (2018 年 10 月 10 日)
7. [学位論文(博士)単著【査読あり】]中野雅紀「博士学位論文 中野雅紀「基本権価値・原理の衝突とその規範分析—基本権構造論の諸問題—」(博士(法学)京都大学 第 220 号)京都大学法学部図書館・国立国会図書館収集用製本版
<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/235039/1/yhogk00220.pdf>, 博士(法学)京都大学 第 220 号, 1-361(2018 年 08 月 20 日)
8. [学位論文(博士)単著【査読あり】]「博士学位論文 中野雅紀「基本権価値・原理の衝突とその

規範分析—基本権構造論の諸問題—」, 京都大学博士(法学)号請求論文, 1-357(2018年07月09日)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「平成 30 年度 茨城大学教育学部社会科教育卒業論文発表会 中野ゼミ員高坂津・五味祥子・栗橋尚也・鈴木真実および日本史・世界史ゼミ・社会科教育ゼミ員の卒論発表に対する講評・質問など」平成 30 年度 茨城大学教育学部社会科教育卒業論文発表会 共通教育 23・24[2019年02月10日]
2. [・国内会議(単独)] 「公民教育におけるコンセンサスとディセンサス—日独の「良き公民」の考え方を素材にして—」東北大学大学院教育学研究科[2019年01月23日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「鬼頭 葉子会員(長野工業高等専門学校)「動物に対する正義は可能か?」に対する質問」2018年度日本法哲学会学術大会[2018年11月10日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「浅野 幸治会員(豊田工業大学)「動物権利論と捕食の問題」に対する質問」2018年度日本法哲学会学術大会[2018年11月10日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「松田 和樹会員(東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員 DC1)「ポスト婚姻制度の「家族法」を構想する:特に成人同士の共同生活に注目して」に対する質問」2018年度日本法哲学会学術大会東京大学 本郷キャンパス[2018年11月10日]
6. [・] 「茨城大学創立 70 周年記念講演「テクノロジーの進展と人間社会—シンギュラリティ研究所の活動を通して—」講師・三木義一(青山学院大学学長)・斉藤由多加(青山学院大学・ゲームクリエイター) 講演者に対する第一質問」茨城大学水戸キャンパス 人文社会科学部講義棟 15 番教室茨城大学水戸キャンパス 人文社会科学部講義棟 15 番教室[2018年10月31日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「中野弘紀氏(茨城大学大学院・平成 28 年度 2 次隊 JICA ボランティア)の特別講演および質疑応答」茨城大学教育学部中野雅紀ゼミナール[2018年10月16日]
8. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「(口頭試問)中野雅紀 博士(法学)号請求論文「基本権価値・原理の衝突とその規範分析—基本権構造論の諸問題—」に対する諮問」京都大学法学部 主査・毛利透教授 副査・土井真一教授/曾我部真裕教授京都大学法学部[2018年08月20日]

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 法文化学会, 理事(2014年～)

○ 地域協力活動

1. 茨城司法書士会[その他公的社会活動]「茨城司法書士会研修会講師」(1999年～)

2. [学外審議会・委員会等]「茨城町情報公開審査委員」(1999 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 千葉 真由美
----------------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	横浜国立大学 教育学部 小学校教員養成課程[1995年03月卒業] 横浜国立大学大学院 教育学研究科 社会科教育専攻[1997年03月修了] 東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科 学校教育学専攻[2002年03月単位取得満期退学]
学位	博士(学術)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	地方史研究協議会 歴史学研究会 関東近世史研究会 茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク 茨城地方史研究会
専門分野	日本史
教育研究概要	(キーワード)近世史、村落史、地域史、史料学、印と捺印をめぐる社会
担当科目	(教養科目)人間と歴史+歴史・考古学 (専門科目)初等社会科内容研究, 基礎日本史, 日本史特講Ⅰ, 日本史概論Ⅱ+日本史概説Ⅱ, 歴史学特別演習, 日本史演習, 卒業研究 (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 日本史特論, 日本史演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「近世文字史料を活用する歴史学習の試み—『商売往来絵字引』を用いて—」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), **68**, 43-54(2019年01月)
2. [(MISC)その他記事単著]「村人の印と実名」, 広報常陸大宮No.171 常陸大宮市史編さんだよりVOL.28, 22頁(2018年12月25日)
3. [(MISC)総説・解説(その他)単著]「解説「文化十四丑年御留守日記」「麻生藩家老三好氏家譜」「新治県より三好琢磨へ、家禄奉還につき資本金下賜通達書」」, 茨城大学図書館2018年度前期企画展パンフレット「合戦、騒乱、そして軍隊—新収蔵の「地域資料」から—」, 5頁(2018年07月17日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 伊豆の国市教育委員会・伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会 韮山反射炉関連文書調査員(2013 年 08 月～)
2. [兼業] 文京区教育委員会・文京区文化財調査員(2006 年 06 月～)

○ 学協会での役職

1. 常陸大宮市, 市史編さん委員会専門部会専門調査員(2017 年 02 月～)
2. 瓜連・歴史を学ぶ会, 顧問(2016 年 10 月～)
3. 常陸大宮市, 文化財保護審議会委員(2016 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県天心記念五浦美術館美術講演会「浮世絵に見る江戸の生活」(国内)」, (茨城県天心記念五浦美術館)[招待講演](2018 年 04 月)

○ 地域協力活動

1. 「茨城県歴史の道調査委員会調査員」(2014 年 05 月～)
2. 「伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会韮山反射炉関連文書調査員」(2013 年 08 月～)
3. 「文京区文化財調査員」(2006 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

科学研究費基盤研究(C)「近世百姓印の生産・流通に関する基礎的研究」(研究課題番号 17K03092) 2017 年度～2019 年度

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 大島 規江
----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	筑波大学大学院 地球科学研究科 博士課程 地理学・水文学専攻[2002年03月修了]
学位	博士(理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市地理学会 The Royal Dutch Geographical Society 秋田地理学会 茨城地理学会 東京地学協会 人文地理学会 日本地理学会
専門分野	地理学 地域研究 教科教育学
教育研究概要	(キーワード)地誌学、地域研究、オランダ、ヨーロッパ、マイノリティ
担当科目	(専門科目)基礎地理, 地理学研究法, 地誌学 B+地誌学概論+地誌学Ⅲ, 初等社会科内容研究, 地誌学演習, 言語と文化の諸相, 地理学野外実習Ⅲ, 卒業研究 (大学院科目)地誌学特論, 地誌学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]川原美礼・鈴木瑛莉乃・中村颯・木村寛也・大島規江・小野寺淳「庄内砂丘の農業的土地利用—酒田市浜中地区におけるメロン栽培を中心に—」, 茨城地理, 19, 21-33(2019年01月) [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]小橋雄毅・大島規江「ブレット端末を用いた社会科学習—小学校中学年における『身近な地域』調査への援用—」, 茨城地理, 20号 39-46. (2019年12月) [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]OSHIMA, N. "Identity Diversion after Coming into Contact with Different Cultures: A Case Study of Japanese", Annals of the Ibaraki Geographical Society, Vol.20, 25-37. (2019年12月) [著書(分・単)]大島規江「EU市民の暮らし」加賀美雅弘編『世界地誌シリーズ11 ヨーロッパ』, 朝倉書店, 91-97. (2019年3月) [著書(分・単)]大島規江「北欧流、夏の過ごし方」加賀美雅弘編『世界地誌シリーズ11 ヨーロッパ』, 朝倉書店, 98-99. (2019年3月) [著書(分・単)]大島規江「中東発ファストフード、世界を席卷」加賀美雅弘編『世界地誌シリーズ11 ヨーロッパ』, 朝倉書店, 98-99. (2019年3月)

研究業績(2)学会発表など

1. [学会発表(単独)]大島規江「抑圧のなかの芸術—チェコにおけるアニメーション創作—」日本地理学会 2019 年秋季学術大会(一般・口頭発表)(2019 年 9 月 21 日、於新潟大学)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

なし

社会的活動、地域貢献など

1. [社会的活動] 茨城地理学会 会計・庶務委員長(年度内については、2019.4~2020.3)
2. [社会的活動] 茨城地理学会 大会実行委員(2019 年 8 月 4 日、於茨城大学)
3. [地域貢献?] 茨城大学教育学部模擬授業(2019 年 12 月 12 日、於茨城県立勝田高等学校)

海外出張・海外研修・内地研修など

なし

科学研究費補助金などの受領

なし

学校教育教員養成課程 教科教育コース 社会科教育教室	氏名 甲斐 憲次
----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	<p>東京教育大学 理学部 地学(日本)[1975年03月卒業]</p> <p>東京教育大学大学院 理学研究科修士課程[1977年03月修了]</p> <p>筑波大学大学院 地球科学研究科 地理学水文学(日本)[1981年修了]</p> <p>筑波大学 水理実験センター 文部技官・準研究員(1981年4月～1984年3月)</p> <p>気象庁 観測部産業気象課 運輸技官・技術主任(1984年4月～1986年3月)</p> <p>気象庁 気象研究所・気象衛星観測システム研究部 主任研究官(1986年4月～1989年3月)</p> <p>筑波大学 地球科学系 講師(1989年4月～1998年3月)</p> <p>東京都 環境科学研究所 非常勤研究員(環八雲の研究)(1993年4月～1993年9月)</p> <p>名古屋大学 大学院・人間情報学研究科 助教授(1998年4月～2001年3月)</p> <p>名古屋大学 大学院・環境学研究科 教授(2001年4月～2018年3月)</p> <p>中国科学院 新疆生態地理研究所 客員教授(2014年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学 教育学部 特任教授(2018年4月～)</p>
学位	理学博士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本気象学会 日本地理学会 日本沙漠学会 American Meteorological Society American Geophysical Union 日本エアロゾル学会
専門分野	気象・海洋物理・陸水学 地理学 環境動態解析
教育研究概要	<p>私は過去 30 数年間、名古屋大学、気象庁、筑波大学で気象と大気環境に関わる研究・教育・行政に携わってきました。地球環境問題が顕在化するにつれて、人間活動と大気環境の相互作用に興味を持ち始めています。教育に関しては、自然地理学、特に気候学を中心に授業を行っています。研究では、アジアの乾燥地域で発生する黄砂やバイオエアロゾルの輸送、その環境影響を研究しています。</p> <p>1) 教育活動 茨城大学教育学部・教育学研究科で、自然地理学の授業を担当しています。授業科目は、学部では「自然地理学概論」、「自然地理学特講」、「茨城の風土と生活」、「自然地理学演習」、大学院では「自然地理学特論」等です。</p> <p>2) 研究活動 ゴビ砂漠やモンゴル草原で発生する黄砂やバイオエアロゾルの輸送、その環境影響を次の科研費で研究しています。①2016-2019 年度科学研究費・基盤研究(A)海外学術調査「発生源地域におけるアジアダストと環境レジームシ</p>

	<p>フトの国際共同研究」No.16H02703(研究代表者) ②2017-2019 年度科研費・基盤研究(A)海外学術調査「東アジア沙漠地帯における黄砂バイオエアロゾルの発生過程とその越境輸送ルートの解明 1」17H01616(研究分担者)</p> <p>(キーワード)黄砂, 砂漠化, 乾燥地域の気候, 都市気候, 局地循環, 大気境界層ライダー</p>
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)【依頼/招待】]甲斐憲次「アジアダストと環境レジームシフトに関する国際共同研究」, 科学, **89**, 2, 148-150(2019 年 02 月)
2. [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]Purevsuren Tsendendamba, Jugder Dulam, Kenji Baba, Katsuro Hagiwara, Jun Noda, Kei Kawai, Ganzorig Sumiya, Christopher McCarthy, Kenji Kai, Buho Hoshino"Northeast Asian dust transport: A case study of a dust storm event from 28 March to 2 April 2012", Atmosphere, **10**, 69, 1-16(2019 年 02 月)
3. [【査読あり】]Kei Kawai, Yuta Nishio, Kenji Kai, Jun Noda, Erdenebadrakh Munkhjargal, Masato Shinoda, Nobuo Sugimoto, Atsushi Shimizu, Enkhbaatar Davaanyam, Dashdondog Batdorj"Ceilometer observation of a dust event in the Gobi Desert on 29-30 April 2015: Sudden arrival of a developed dust storm and trapping of dust within an inversion layer", SOLA, **15**, 52-56(2019 年 01 月 24 日)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Hoshino, B., Y. Sofue, Y. Demura, T. Purevsuren, M. Kubibayashi, K. Baba, E. Zoliargal, K. Hagiwara, J. Noda, K. Kawano, O. Karthaus, K. Kai"Detection of dry lake beds formation and estimate of environmental regime shift in semi-arid region", J. Arid Land Studies, **28**, 109-113(2018 年 12 月 25 日)
5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Minrui Wang, Kenji Kai1, Nobuo Sugimoto, Sarangerel Enkhmaa" Meteorological factors affecting winter particulate air pollution in Ulaanbaatar from 2008 to 2016. Asian Journal of Atmospheric Environment", Asian Journal of Atmospheric Environment(AJAE), **12**, 244-254(2018 年 09 月)
6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]永尾一平, 菊本雄紀, 河合慶, 長田和雄, 柴田隆, 甲斐憲次「名古屋港で観測された夏季海陸風のホドグラフの鉛直分布」, 天気, **68**, 8, 503-520(2018 年 08 月)
7. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Yoshitaka Jin, Nobuo Sugimoto, Atsushi Shimizu, Tomoaki Nishizawa, Kenji Kai, Kei Kawai, Akihiro Yamazaki, Motoki Sakurai, Holger Wille" Evaluation of ceilometer attenuated backscattering coefficients for aerosol profile measurement", Journal of Applied Remote Sensing, **12**, 4(2018 年 07 月 31 日)
8. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Kawai, K., K. Kai, Y. Jin, N. Sugimoto, and D. Batdorj" Lidar network observation of dust layer development over the Gobi Desert in association with

a cold frontal system on 22-23 May 2013”, J. Meteor. Soc. Japan, **96**, 3, 225-268 (2018 年 06 月)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 甲斐憲次「中国内モンゴル自治区・ホルチン砂地でのアジアダストの発生と環境変遷」日本地理学会春季大会[2019 年 03 月 20 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 甲斐憲次「シーロメーター水平観測のデータ解析(その1)」大気ライダー観測研究会[2019 年 03 月 01 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 甲斐憲次「ゴビ砂漠・モンゴル草原におけるダストの発生と植生・地形・気象条件との関係」第 12 回大気バイオエアロゾルシンポジウム[2019 年 02 月 18 日]
4. [ポスター発表・国際会議(共同)] K. Kai “Large-scale dust event in East Asia in May 2017: Analyses of the Himawari-8 DUST RGB and lidar network observations Analyses of the Himawari-8 DUST RGB and lidar network observations” 2018 AGU Fall Meeting[2018 年 12 月 11 日]

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本沙漠学会, 編集委員 (2016 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

モンゴル ウランバートル、ダランザドガド、マンダルゴビ(モンゴル情報・気象水文環境研究所、ダランザドガド気象台、マンダルゴビ気象台)[研究打合せ](2018 年 4 月～5 月:8 日間)
 中国 通遼(Bo Wang ホテル)[国際学会出席及び研究成果発表](2018 年 7 月:4 日間)
 モンゴル ウランバートル、ダランザドガド、マンダルゴビ(モンゴル情報・気象水文環境研究所、ダランザドガド気象台、マンダルゴビ気象台)[研究打合せ、調査](2018 年 8 月:10 日間)
 アメリカ ワシントン(Walter E. ワシントン会議センター)[国際学会出席及び研究成果発表](2018 年 12 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(A)(分担)「東アジア沙漠地帯における黄砂バイオエアロゾルの発生過程とその越境輸送ルートの解明」, 273 万円 (2017 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(A)、課題番号:16H02703(代表)「発生源地域におけるアジアダストと環境レジームシフトの国際共同研究」, 2236 万円 (2016 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室	氏名 小口 祐一
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東北大学大学院 教育学研究科[年修了] 盛岡大学文学部助教授(2005年4月～2007年3月) 盛岡大学文学部准教授(2007年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部准教授(2010年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部教授(2013年4月～)
学位	博士(教育学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会 日本教授学習心理学会 日本科学教育学会 日本数学教育学会 National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード)統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ (専門科目)中等数学科教育法Ⅲ, 中等数学科教育法Ⅵ, 算数科教育法+算数科教育法研究, 算数科教育法+算数科教育法研究, 卒業研究 (大学院科目)算数総合研究, 授業研究の方法と実践, 算数教育学特論, 教育方法開発課題研究Ⅰ, 教材研究と授業設計Ⅱ, 数学科教育授業設計, 算数科教育授業設計, 算数教育学演習, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 埼玉大学理学部・非常勤講師(2017年04月～)
2. [非常勤講師] 千葉大学教育学部・非常勤講師(2015年04月～)

3. [非常勤講師] 姫路大学教育学部・非常勤講師(2011 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本数学教育学会, 編集部常任幹事(2018 年 09 月～)
2. 日本数学教育学会, 理事(2018 年 06 月～)
3. 日本教授学習心理学会, 理事(2017 年 04 月～)
4. 日本数学教育学会, 編集部幹事(2011 年 09 月～2018 年 08 月)
5. 日本統計学会, 統計教育委員(2008 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「オープンデータを利活用したデータサイエンス教育のコンテンツ開発」, 429 万円 (2018 年 04 月 01 日～2022 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室	氏名 梅津 健一郎
---------------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	筑波大学 第一学群 自然科学類[1988年03月卒業] 筑波大学大学院 数学研究科[1993年03月修了] 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年6月～1997年2月) 筑波大学数学系助手(1997年3月～1997年3月) 前橋工科大学工学部講師(1997年4月～2001年3月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年4月～2007年3月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年4月～2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部教授(2012年4月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	The ISAAC Award for Young Scientists(2003)
所属学会	日本数学会 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線形境界条件, concave-convex 非線形性, concave 非線形性, 固有値問題, indefinite weight, 正值解集合, 正值性, multiplicity, uniqueness, 正值解の漸近的プロファイル, 局所的及び大域的分岐理論, 変分法, sub, supersolutions, 写像度, 位相的手法, 人口動態論, logistic.
担当科目	(教養科目)統計学入門【2Q】 (専門科目)解析学概論/解析学の基礎 I /微分積分の基礎, 解析学C, 解析学A, 解析学B, 解析学基礎+解析学の基礎 II, 小学校算数基礎, 解析学D, 卒業研究 (大学院科目)算数総合研究, 解析学特論, 数学科教育授業設計, 算数科教育授業設計, 解析学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Uriel Kaufmann, Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"Positive solutions of an elliptic Neumann problem with a sublinear indefinite nonlinearity", Nonlinear Differential Equations and Applications NoDEA, **25:12**(2018年)

2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu "A loop type component in the non-negative solutions set of an indefinite elliptic problem", Communications on Pure and Applied Analysis, **17**, 3, 1255-1269(2018 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 梅津健一郎「Exact multiplicity of positive solutions for an indefinite concave Robin bvp」日本数学会 2019 年年会函数方程式論分科会東京工業大学[2019 年 03 月 17 日]
2. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(共同)] Kenichiro Umezu "Positivity of bifurcating nontrivial nonnegative solutions of indefinite concave problems" The 12th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications in Taipei National Taiwan University [2018 年 07 月 06 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

中華民国 台北(国立台湾大学)[国際学会出席及び研究成果発表](2018 年 7 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「特異性を伴う混合型非線形楕円型境界値問題における非自明解集合の大域的構造の研究」, 338 万円 (2018 年 04 月 01 日～2022 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室	氏名 栗原 博之
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	弘前大学 理学部 数学科[1993 年卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科[1999 年修了] 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 4 月～2013 年 9 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)幾何学概論/幾何学の基礎 I, 幾何学C, 幾何学基礎/幾何学A, 幾何学A+幾何学B, 幾何学D, 卒業研究 (大学院科目)算数総合研究, 幾何学特論, 数学科教育授業設計, 算数科教育授業設計, 幾何学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]U-Hang Ki and Hiroyuki Kurihara "Commuting structure Jacobi operators for real hypersurfaces in complex space forms II", Tsukuba Journal of Mathematics, **42**, 2, 127-154(2019 年 03 月 29 日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 松村 初

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	慶應義塾大学 理工学部[2001年03月卒業] 慶應義塾大学大学院 理工学研究科[2006年03月修了]
学位	博士(理学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教授学習心理学会 日本数学教育学会 日本数学会
専門分野	グラフ理論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)確率統計概論, 算数科内容研究, 代数学C, コンピュータ概論, 卒業研究 (大学院科目)算数総合研究, 応用数学特論, 応用数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]野村幸代、松村初、小口祐一「教員養成課程における算数に対する大学生の信念」, 高知大学学校教育研究, 1, 105-113(2019年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]松村初「エクセルを用いたプログラミングの授業」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 37-52(2019年01月31日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「教員養成における算数に対する学習者の意識の変化」日本教授学習心理学会第14回年会プログラム[2018年07月08日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研究連盟理事

学外教育

1. [その他]「清真学園高校のゼミ活動支援」

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(分担)「オープンデータを利活用したデータサイエンス教育のコンテンツ開発」, 10 万円 (2018 年 04 月 01 日～2022 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室

氏名 吉井 豊

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	千葉大学 理学部 数学・情報数理学科[2004年03月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 数学・情報数理学専攻[2006年03月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 数理解物性科学専攻[2009年03月単位取得満期退学] 奈良工業高等専門学校 (2011年4月～2015年3月) 茨城大学(2015年4月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数学
教育研究概要	(キーワード)有限群、代数群、群の表現論、モジュラー表現、リー代数
担当科目	(教養科目)統計学入門【1Q】 (専門科目)代数学A, 代数学概論/代数学の基礎 I, 代数学B, 代数学基礎+代数学の基礎 II, 算数科内容研究, 代数学D, 卒業研究 (大学院科目)算数総合研究, 代数学特論, 代数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小口祐一、梅津健一郎、栗原博之、松村初、吉井豊「小学校算数科における学習内容の統合的・発展的な扱い」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 73-86(2018年)
- [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Y. Yoshii"Projective modules for the subalgebra of degree 0 in a finite-dimensional hyperalgebra of type A_1 ", Proceedings of the American Mathematical Society, 146, 5, 1977-1989(2018年05月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 吉井 豊「超代数 $\text{Dist}(\text{SL}_{\{2,r\}})$ の Jacobson 根基の生成系」日本数学会年会東京工業大学[2019年03月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究C(代表)「有限次元超代数の原始冪等元が生成する射影直既約加群の構造の決定」, 117 万円 (2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 数学教育教室	氏名 根本 博
---------------------------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育学研究科 数学教育学専攻[1981年03月修了] 文部科学省(旧文部省) 初等中等教育局 教科調査官、視学官、主任視学官 (1991年4月～2006年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学(数学科)
教育研究概要	<p>(研究経歴) 専門は数学教育学。知識論、認知科学に基づく数学科教育課程論を展開し‘知識’の存在領域を知覚的領域から概念的領域へと飛躍させる数学的行為の発現をとらえ、算数・数学学習活動への還元を目指す研究を進めている。また、学習指導要領作成に携わった経験を生かし数学教育実践において適切な運用が図れるよう全国の算数・数学教師に対する啓蒙活動を行っている。</p> <p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 ー数学教育の社会的考察の試みー 現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 知識論 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	(専門科目) 中等数学科教育法Ⅰ, 数学科教育法Ⅰ, 中等数学科教育法Ⅳ, 算数科教育法+算数科教育法研究, 算数科教育法, 中等数学科教育法Ⅴ, 卒業研究 (大学院科目) 数学教育学特論

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 矢島 裕介
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	<p>東京大学 理学部 物理学科[1976年卒業]</p> <p>東京大学大学院 理学系研究科 相関理化学[1982年修了]</p> <p>日立製作所(株)(1982年4月～2003年3月)</p> <p>フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年2月～1989年1月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2003年4月～)</p>
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会 日本物理教育学会
専門分野	物性Ⅱ
教育研究概要	<p>(研究経歴) 1. 半導体材料の常磁性欠陥 2. 微小領域磁気計測 3. 非線形力学実験</p> <p>物理学</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)自然科学の概観+技術と社会</p> <p>(専門科目)量子力学, 物理学実験+物理学実験Ⅰ+物理学実験指導法, 物理学演習Ⅰ, 物理学演習Ⅱ(4単位), 卒業研究</p> <p>(大学院科目)物理学特別実験, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単著]「教師を目指す学生のための相対性理論」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 53-72(2019年03月31日)</p> <p>2. [単著]Yusuke YAJIMA“A Note on the Zeroth Law of Thermodynamics”, Bull. Col. Edu. Ibaraki Univ. (Nat. Sci.), 68, 1-5(2019年03月31日)</p>

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <ol style="list-style-type: none">1. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2018年08月)2. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2018年08月)3. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2018年07月)4. [非常勤講師] 土浦協同病院附属看護専門学校・講師(2018年04月～2019年03月)5. [非常勤講師] 水戸メディカルカレッジ・講師(2018年04月～2019年03月) <p>○ 学協会での役職</p> <ol style="list-style-type: none">1. 茨城県教育研究連盟, 幹事(2017年04月～2018年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 松川 覚
---------------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東京工業大学 工学部 化学工学[1992年] 東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学[1997年] 千葉大学 助手(1997年4月～2001年3月) 茨城大学教育学部 助教授(2001年4月～)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会 理科教育学会 有機合成化学協会 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 教育学部で化学を学び、教えることをどのようにして行えばいいのか? 考えています。そして、学生の皆さんが楽しく学べるような授業をすることをモットーにしています。 合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード) 有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(専門科目) 初等化学, 化学概論, 化学演習 I (2単位), 化学演習 II (4単位)

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立農業大学校・非常勤講師(2012年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 棗田 孝晴
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>三重大学 水産学部 水産学科[1991年03月卒業]</p> <p>大阪教育大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻生物学専修[1994年03月修了]</p> <p>京都大学大学院 理学研究科 動物学専攻[1998年03月単位取得満期退学]</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年4月～1999年8月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年4月～2001年3月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000年4月～2007年3月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任)(2006年4月～2008年3月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助/研究支援職員(2008年4月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年9月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年4月～2013年3月)</p> <p>茨城大学 教育学部 准教授(2013年4月～)</p>
学位	修士(教育学)[大阪教育大学] 博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成 22 年度 日本水産学会論文賞(2011)
所属学会	日本陸水学会 日本水産学会 日本生態学会 応用生態工学会 日本魚類学会 日本動物行動学会
専門分野	魚類生態学 保全生物学 動物生態学 河川生態学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール/大学入門ゼミ</p> <p>(専門科目)生物学実験, 動物学, 生物学実験, 生物学概論, 生物学演習 I (2単位), 生物学演習 II (4単位), 卒業研究</p> <p>(大学院科目)生物学特別実験, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 生物学特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]用田悠介・鹿野雄一・阿部信一郎・井口恵一朗・棗田孝晴「河川工作物による環境変化が淡水魚類群集に及ぼす影響」, 応用生態工学, **21**, 1, 17-28(2018年07月)
2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]阿部信一郎・棗田孝晴・黒田 暁・堀江哲也・井口恵一朗「奄美大島を流れる役勝川における付着藻類生産力の流程変化」, 藻類, **66**, 105-110(2018年07月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 棗田孝晴・仲長康行・大澤勇人・阿部信一郎(茨大教育)・鹿野雄一(九大決断科学)・井口恵一朗(長大院水産環境科学)・井口恵一朗(長大院水産環境科学)「ダム下区間における通し回遊性底生魚類の流程分布と資源利用」2018年度日本魚類学会年会 [2018年10月07日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 日本魚類学会, 自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011年01月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)一般(代表)「河川工作物が底生魚類の個体群・群集に及ぼす生態的影響の多面的評価手法の確立」, 845万円(2016年04月01日～2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 宮本 直樹
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 中学校教員養成課程理科[1995年03月卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻理科教育コース[2008年03月修了] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 学校教育学専攻[2016年03月単位取得満期退学] 宮崎国際大学(2014年4月～2015年3月) 東洋大学(2015年4月～2017年3月) 茨城大学(2017年4月～)
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本科学教育学会 日本物理教育学会 日本環境教育学会 日本エネルギー環境教育学会 日本教材学会 教育実践学会
専門分野	科学教育 教科教育学
教育研究概要	(キーワード)理科教育 環境教育
担当科目	(専門科目)保育内容の研究(環境), 中等理科教育法Ⅳ, 中等理科教育法Ⅳ, 初等理科教育法+初等理科教育法研究, 教職実践演習(教諭), 理科教育演習Ⅰ, 理科教育演習Ⅱ, 卒業研究 (大学院科目)初等理科授業設計, 初等理科教育学特論, 中等理科教育学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [教科書・分担執筆]大高泉「初等理科教育」, ミネルヴァ書房, 145-154(2018年) [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)共著]河原井俊丞, 宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成プロセスの検討 ―生徒の発話とインタビューを取り入れて―」, 日本科学教育学会研究会報告, 33, 4, 55-60(2019年03月16日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]宮本直樹・安原正貴, Naoki Miyamoto and Masaki Yasuhara「小学校理科教科書に例示可能な科学用語(英語表現)の検討」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 91-102(2019年01月31日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]宮本直樹, Naoki Miyamoto「児童のデータ解釈能力を育成するコミュニケーション活動 ―データの再解釈場面への言い換えの教示方略を導入して―」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 73-89(2019年01月31日)

5. [(MISC) 書評, 文献紹介等単著] 宮本直樹「海外教育 比べてみよう, 世界の教育 米国小学校科学教科書“Scott Foresman Science ”」, たのしい学校, 春, 38(2018 年)
6. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 河原井俊丞・宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成モデル構築 — 児童・生徒の認知的プロセス及び教師の手立てを手がかりにして —」, 茨城大学教育実践研究, 37, 53-65(2018 年 11 月)
7. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著] 細田直人・宮本直樹「霞ヶ浦環境科学センターにおける環境学習の利用効果 — 湖上体験スクールの担当者アンケートの分析から —」, 茨城大学教育実践研究, 37, 39-52(2018 年 11 月)
8. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 宮本直樹「梶子の釣り合いの等式表現におけるデータ解釈の指導方略 — 表象による推論プロセスを導入して —」, 茨城大学教育実践研究, 37, 25-38(2018 年 11 月)
9. [(MISC) その他記事単著] 宮本直樹「今から書く学習指導案: 完全攻略[中学校編] 各学習指導案理科(第一分野)」, 教職課程 1 月号, 50-53(2018 年 11 月)
10. [(MISC) その他記事単著] 宮本直樹「今から書く学習指導案: 完全攻略[小学校編] 各学習指導案国語科」, 教職課程 12 月号, 24-27(2018 年 10 月)
11. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等) 共著] 河原井俊丞, 宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成モデル構築に関する基礎的研究」, 日本科学教育学会研究会報告, 32, 7, 5-10(2018 年 04 月 21 日)
12. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等) 共著] 細田直人, 三輪俊一, 富田俊幸, 宮本直樹「茨城県霞ヶ浦環境科学センターにおける環境学習プログラムの効果」, 日本科学教育学会研究会報告, 32, 7, 11-14(2018 年 04 月 21 日)

研究業績(2) 学会発表など

- 学会発表等
1. [・国内会議(共同)] I. Tanaka, K. Matsumura, K. Kenji, N. Niimura, H. Katagiri, R. Nakazato, N. Miyamoto, and M. Komatsuzaki “Scope of the research base in Ibaraki University on the radiocesium emitted from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant” Ibaraki University-Institut de Radioprotection et de Surete Nucleaire (IRSN)/Japan-UK EICHI-project joint international workshop on radioactive particles Ibaraki University [2019 年 03 月 19 日]
 2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 河原井俊丞, 宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成プロセスの検討 — 生徒の発話とインタビューを取り入れて —」2018 年度第 4 回日本科学教育学会研究会(南関東支部) 麻布大学 [2019 年 03 月 16 日]
 3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 河原井俊丞, 宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成に関する実証的研究 — 変数の抽出と因果関係に着目して —」日本理科教育学会第 57 回関東支部大会宇都宮大学 [2018 年 12 月 08 日]
 4. [ポスター発表・国際会議(共同)] 細田直人, 三輪俊一, 富田俊幸, 宮本直樹「霞ヶ浦環境科学

センターにおける環境学習実施後の環境保全意識の変容」第 17 回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)つくば国際会議場[2018 年 10 月]

5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 大矢恭久, 奥野健二, 萱野貴広, 森健一郎, 尾関俊浩, 福田善之, 宮本直樹, 中村琢, 栢野彰秀, 庭瀬敬右, 栗田高明, 蔦岡孝則, 内ノ倉真吾, 清水洋一, 濱田栄作「原子力規制人材育成を活用した放射線教育とその改善の試み」日本科学教育学会第 42 回年会信州大学[2018 年 08 月]

6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 河原井俊丞, 宮本直樹「理科授業における科学的探究可能な「問い」の生成 -教師の手立てに着目して-」日本理科教育学会第 68 回全国大会岩手大学 [2018 年 08 月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 茨城県教育委員会, 茨城県科学研究作品展審査委員長(2018 年～)
2. 茨城県立緑岡高等学校 SSH, 運営指導委員(2017 年～)
3. 大日本図書, 小学校理科用教科書編集委員(2015 年～)
4. 日本理科教育学会, 日本理科教育学会評議員(2017 年～)
5. 日本科学教育学会, 日本科学教育学会北関東支部茨城県幹事(2017 年～)
6. 日本科学教育学会, 日本科学教育学会北関東支部企画編集委員(2017 年～2018 年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

義務教育段階におけるデータ解釈能力育成に関する研究, 基盤研究(C), 2017/04/01-2020/03/31

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 青島 政之
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	千葉大学 理学部 化学科[1995年03月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 理化学専攻[1998年03月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 物質高次科学専攻[1999年05月中退] 秋田県立大学 助手(1999年6月～2006年3月) 秋田県立大学 助教(2006年4月～2014年3月) 茨城大学教育学部 准教授(2014年4月～)
学位	修士(理学)[千葉大学] 博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	粉体工学会 日本化学会
専門分野	物理化学
教育研究概要	(キーワード)磁性粒子、ヘマタイト、分子シミュレーション
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール/大学入門ゼミ, 身近な化学/科学入門【1Q】化学入門, 科学入門【2Q】, 物質・生命系科目+物質と生命, 物質と生命 (専門科目)化学実験指導法, 化学実験Ⅰ, 無機物理化学, 中等理科教育法Ⅰ, 初等化学, 化学概論, 教職実践演習(教諭), 初等理科内容研究, 化学演習Ⅰ, 化学演習Ⅱ(4単位), 卒業研究 (大学院科目)初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 化学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]吉良知之・青島政之「垂直磁場中におけるキューブ状ヘマタイト粒子の凝集現象」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 68, 7-18(2019年01月26日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]長島友里・青島政之「板状ヘマタイト粒子の光反射特性」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 68, 19-29(2019年01月26日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 青島 政之, 長島 友里, 呉 浩怡, 王 正明「磁性マイクロミラーの合成」第 69 回コロイドおよび界面化学討論会筑波大学[2018年09月18日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 産業技術総合研究所・客員研究員, 28(時間/月)(2018年04月～2019年03月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 県西生涯学習センター」(2018年08月～)
2. 茨城県教育委員会「地域貢献事業」「いばらき理科教育推進事業 理科指導力向上研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2018年07月～)
3. 茨城県教育委員会「いばらき理科推進事業「科学の甲子園ジュニア茨城県大会実行委員」」(2018年06月～)
4. 「いばらき理科推進事業 小学校教科担任制推進地域モデル小学校公開授業研究会, 筑西市立古里小学校」(2017年10月～)
5. [地域貢献事業]「いばらき理科推進事業 「科学自由研究発表会」助言・指導 ミュージアムパーク茨城県自然博物館」(2017年10月～)
6. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2017年08月～)
7. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 女性プラザ」(2017年08月～)
8. 「いばらき理科推進事業 小学校教科担任制推進地域モデル小学校公開授業研究会, 稲敷市立新利根小学校」(2016年11月～)
9. [地域貢献事業]「いばらき理科推進事業 「科学自由研究発表会」助言・指導 ミュージアムパーク茨城県自然博物館」(2016年10月～)
10. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2016年08月～)
11. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 女性プラザ」(2016年08月～)
12. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2015年08月～)
13. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 県西生涯学習センター」(2015年08月～)
14. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探求基礎)」県西生涯学習センター」(2014年08月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室

氏名 永尾 敬一

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>東京大学 理学部 物理学科[1997 年卒業]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[1999 年修了]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[2002 年修了]</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 4 月～2003 年 1 月)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 1 月～2005 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	学術修士[東京大学] 学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)素粒子論 量子論 相対論 宇宙論
担当科目	<p>(教養科目)技術と社会【1Q】量子論入門</p> <p>(専門科目)物理学概論, 電磁気学, 総合演習, 教職実践演習(教諭), 環境特別演習 I, 初等理科内容研究, 物理学演習 I, 物理学演習 II (4単位), 卒業研究(大学院科目)物理学特論, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] Keiichi Nagao "Formalism of harmonic oscillator in the future-included complex action theory" Theoretical High Energy Seminar @Niels Bohr Institute, Copenhagen[2019 年 02 月 12 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職 1. 茨城県教育委員会, 平成 30 年度 科学の甲子園ジュニア実行委員(2018 年 05 月～) 2. 茨城県教育委員会, 平成 29 年度 科学の甲子園ジュニア実行委員(2017 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン Niels Bohr Institute[研究打合せ](2018 年 1 月～2 月:28 日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科教育教室	氏名 上栗 伸一
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	琉球大学 理学部[2000年03月卒業] 九州大学大学院 比較文化研究科[2002年03月修了] 九州大学大学院 比較文化研究科[2005年03月修了] 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005年4月～2007年3月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007年4月～2008年3月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008年4月～2011年3月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012年4月～)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	地球環境史学会 日本地学教育学会 日本地質学会 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)環境と人間【1Q】地球の歴史 (専門科目)地学概論, 気象学, 地学実験, 中等理科教育法 I, 地質学, 初等地学, 初等理科内容研究, 生活科内容研究, 地学野外実習, 地学演習 I, 地学演習 II (4単位), 卒業研究 (大学院科目)地学特論, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Matsuzaki, K. M., Itaki, T., Tada, R., Kamikuri, S. "Paleoceanographic history of the Japan Sea over the last 9.5 million years inferred from radiolarian assemblages (IODP Expedition 346 Sites U1425 and U1430)", Progress in Earth and Planetary Science, 5, 54(2018年)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]Matsuoka A. and organizing committee of the InterRad XV "Report of the 15th meeting of the International Association of Radiolarists (InterRad XV), 20 October–1 November, 2017, Niigata, Japan", Science reports of Niigata University (Geology), 33,</p>

41-56(2018 年)

3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]上栗伸一・伊藤孝「義務教育過程理科2分野(地球・生命)の内容と指導について—地球をめぐる3つの環と地球を動かす3つの力—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **67**, 147-156(2018 年)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]野村颯希・上栗伸一・伊藤孝「茨城・千葉県から採取した砂の粒径および粒子組成—義務教育および高等学校で実施される観察実習のための基礎データ—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **67**, 157-165(2018 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Kenji M. Matsuzaki, Takuya Itaki, Ryuji Tada, Shin-ichi Kamikuri "Paleoceanography of the Japan Sea over the last 9.5 million years inferred from radiolarian assemblages (IODP Expedition 346 Sites U1425 and U1430)" International Conference in Marine Geology 9th[2018 年]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本地質学会, 選挙管理委員会(2017 年 09 月~2020 年 03 月)
2. 日本地学教育学会, 評議員(2016 年 10 月~)
3. 日本地学教育学会, 常務委員(2016 年 10 月~)
4. 日本地学教育学会, 編集委員(2016 年 06 月~)

○ 地域協力活動

1. 「県北ジオパーク構想インタープリター養成講座」(2017 年 12 月~)
2. 「いばらき推進事業」(2013 年 04 月~)
3. 「地学オリンピック予選 地区コーディネーター」(2013 年 04 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

基盤研究 C(代表) インドネシア海峡の閉鎖が及ぼすスーパーエルニーニョ型海洋環境の消失

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 田中 健次

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育[1978年卒業] 国立音楽大学大学院 音楽研究科 音楽教育学[1980年修了] 佐賀大学教育学部助教授(1995年4月～1996年9月) 佐賀大学文化教育学教授(2003年より茨城大学併任)(1996年10月～2003年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～)
学位	芸術学修士[国立音楽大学大学院] 博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	東洋音楽学会 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME) 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化 (キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ (専門科目)初等音楽科教育法研究, 初等音楽科教育法研究, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究Ⅱ, 中等音楽科教育法Ⅰ (大学院科目)音楽科教育研究法, 音楽科教育特論Ⅰ, 初等音楽教育授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 放送大学・非常勤講師(2007年04月～)
2. [非常勤講師] 放送大学・大学院特別講師(2006年04月～)

○ 学協会での役職

1. 音楽学習学会, 世話人(2004 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「全日本音楽教育研究会全国大会和歌山大会」, 全日本音楽教育研究会(和歌山市)[パネリスト, その他](2018 年 11 月)

2. 「京都市音楽教育研究会「日本伝統音楽における ICT 活用」講師(国内)」, 京都市音楽教育研究(京都市教育センター)[招待講演](2018 年 02 月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

○ 共同研究・受託研究

1. [企業からの受託研究]「筑後川流域における「音文化」の基礎研究」, 100 万円(年度不詳～)

2. []「音楽科教育に有効性をもたらすコンピュータスペックの開発」, 25 万円(年度不詳～)

3. [企業からの受託研究]「音と癒しに関する研究動向の調査」, 100 万円(年度不詳～)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室	氏名 神部 智
---------------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	ヘルシンキ大学大学院 音楽研究科 音楽学(フィンランド) [2005 年修了]
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	第 30 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞 (2018)
所属学会	International Semiotics Institute 美学会 日本音楽学会 音楽表現学会
専門分野	美学・芸術諸学
教育研究概要	(研究経歴) 1988- ジャン・シベリウスの様式研究・楽曲分析 1993- 音楽記号論
	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ(教育学部)
	(専門科目) 音楽史(2 単位), ピアノⅡc, ピアノ(必修・伴奏を含む), 初等音楽科内容研究/ピアノⅠd, ピアノⅡd, 音楽学
	(大学院科目) 初等音楽文化総合研究, 音楽学研究, 音楽学演習, 特別課題研究

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC) 総説・解説(その他) 単著] 神部智「ジャン・シベリウスの交響曲」, パーヴォ・ヤルヴィ/パリ管弦楽団 シベリウス交響曲全集, 16-26(2018 年 10 月 24 日)
2. [(MISC) 総説・解説(商業誌) 単著] 神部智「ジャン・シベリウス《クレルヴォ》ほか」, フィルハーモニー, 90, 6, 26-30(2018 年 09 月 01 日)
3. [(MISC) 総説・解説(商業誌) 単著] 神部智「フィンランドの大自然と心を通わせた作曲家ジャン・シベリウス」, ムジカノーヴァ, 49, 4, 10-13(2018 年 04 月 01 日)
4. [(MISC) 総説・解説(商業誌) 単著] 神部智「ベルワルド 交響曲第 3 番「風変わりな交響曲」」, フィルハーモニー, 90, 3, 20-21(2018 年 04 月 01 日)

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職
1. [出前授業] 水戸第三高等学校・講師, 2(時間/月)(2012 年～)

2. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校・講師(2007年07月～)
3. [非常勤講師] 宇都宮大学・非常勤講師(2006年10月～)
4. [出前授業] 常陸大田高校・講師(2003年07月～)
5. [その他] 日本シベリウス協会・理事(2000年12月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]基盤研究(c)「ジャン・シベリウスにおけるナショナリズムの超克」, 91万円 (2016年04月01日～2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室	氏名 谷川 佳幸
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部[1988年03月卒業] 東京芸術大学 音楽学部[1992年03月卒業] 東京芸術大学大学院 音楽研究科 声楽[1995年03月修了]
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	東京室内歌劇場 日本声楽アカデミー 東京二期会
専門分野	芸術一般
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 人間と文学・芸術/音楽文化【1Q】オペラの世界 (専門科目)独唱, 独唱, 合唱, 初等音楽科内容研究, 独唱, 卒業研究 (大学院科目)初等音楽文化総合研究, 声楽研究, 声楽演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]松井和彦作曲 オペラ「泣いた赤鬼」(2018年12月)
[芸術活動(共同)]林光作曲 オペラ「あまんじゃくとうりこひめ」(2018年12月)
[芸術活動(共同)]モーツァルト作曲「ミサ・ブレヴィス」「レクイエム」(2018年10月)
[芸術活動(共同)]ヴェルディ作曲 オペラ「群盗」レクチャーコンサート(2018年09月)
[芸術活動(共同)]ヴェルディ作曲 オペラ「仮面舞踏会」(2018年08月)
[芸術活動(単独)]荒川オペラシリーズ 60回記念ガラコンサート(2018年07月)
[芸術活動(共同)]ヴェルディ作曲 オペラ「椿姫」(2018年07月)
[芸術活動(単独)]カンツォーネリサイタル(2018年07月)
[芸術活動(共同)]モーツァルト作曲 オペラ「魔笛・ハイライト」(2018年06月)
[芸術活動(共同)]オフエンバック作曲 オペレッタ「天国と地獄」(2018年04月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 日本声楽家協会研究所・本科主任(2015 年 04 月～)

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「ファミリーコンサート」(2018 年 11 月～)

2. [地域貢献事業]「水戸商工会議所女性会創立 50 周年記念式典 オペラコンサート」(2018 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 藤田 文子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科音楽教育学専攻[1981年卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教育基礎学[1995年単位取得満期退学]
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007) 教養教育における推奨授業の候補(2004) 善意本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981)
所属学会	音楽教育史学会 教育実践学会 教育哲学会 日本教育方法学会 日本教育学会 教育史学会 日本音楽教育学会
専門分野	音楽科教育 教育学
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想、音楽教育
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 人間と文学・芸術/音楽文化【1Q】独唱の喜び, 音楽文化【3Q】独唱の喜び (専門科目)初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究Ⅲ, 初等音楽科教育法研究, 独唱, 保育内容の研究(表現), 独唱, 独唱, 独唱 (大学院科目)音楽科教育演習, 初等音楽教育授業設計, 音楽科教育特論Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「新旧高等学校学習指導要領の音楽科に関する内容と、教育方法の特色と課題」, 『茨城大学教育実践研究』, 37, 67-75(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 教員免許更新講習・講師(2018年08月～)

2. [兼業] [その他] 県教連・助言者(2006 年 10 月～)

○ 学協会での役職

1. 音楽教育史学会, 紀要編集委員(2014 年 05 月～2019 年 04 月)

2. 教育実践学会, 理事(2001 年 06 月～)

○ 地域協力活動

1. 「免許更新講習」(2018 年 08 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. []「市民革命と近代公教育の成立に関する基礎的研究」, 未詳(1991 年 03 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室	氏名 山口 哲人
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 音楽研究科[年] 東京芸術大学大学院 音楽学部[年]
学位	修士(音楽)[東京芸術大学]
受賞歴	<p>第 6 回東京国際歌曲作曲コンクール第 2 位(1 位なし)入賞(2017)</p> <p>第 21 回東京国際室内楽作曲コンクール 入選(2017)</p> <p>第 7 回 日本管打楽器・吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2016)</p> <p>第 13 回弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(2015)</p> <p>第 6 回 日本管打楽器・吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2015)</p> <p>第 4 回東京国際歌曲作曲コンクール 入選(2014)</p> <p>第 19 回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 および全音楽譜出版社賞(2013)</p> <p>第 2 回小田原賞作曲コンクール 入選(2012)</p> <p>第 10 回記念弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(2012)</p> <p>白蓮の和歌作曲コンクール 入選(2012)</p> <p>東京国際芸術協会第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 第 1 位(2011)</p> <p>第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門 中田喜直賞受賞(2011)</p> <p>東京国際芸術協会第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 審査員賞受賞(2011)</p> <p>東京国際芸術協会第 9 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 奨励賞(2010)</p> <p>第 3 回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール 第 1 位(2010)</p> <p>第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(2010)</p> <p>第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール 第 2 位(1 位なし)(2009)</p> <p>第 17 回日本歌曲コンクール作曲部門 優秀賞(2009)</p> <p>第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(2009)</p> <p>第 15 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 3 位入賞(2008)</p> <p>くまもと未来国体(第 54 回国体)ファンファーレ公募 佳作入選(1997)</p> <p>平成 8 年度文化庁 舞台芸術創作奨励特別賞(最高位)受賞(1997)</p> <p>96 年度 全日本吹奏楽連盟主催 コンクール選曲公募 佳作(1996)</p> <p>稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール 最優秀賞(1994)</p> <p>94 年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞(1994)</p> <p>93 年度全日本合唱コンクール公募佳作入選(1993)</p> <p>第 14 回神奈川県芸術祭創作コンクール 第 1 位入賞(1990)</p>
所属学会	ミュージック エデュケーション メッセ in KANTO 実行委員 日本管楽芸術学会

	国際芸術連盟 21世紀音楽の会 ニュー・サウンド・スケイプ 96'～
専門分野	作曲・編曲・指揮
教育研究概要	(キーワード)作曲・編曲・指揮
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ(教育学部), 音楽文化, 音楽文化 (専門科目)和声学, 対位法, 作曲法, 現代音楽へのいざない, ソルフエージュ, 初等音楽科内容研究, 音楽通論, 卒業研究(教育:4単位), 合奏, 指揮法, 作曲特別演習Ⅱ (大学院科目)作曲・指揮法研究, 初等音楽文化総合研究, 作曲・指揮法演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [音楽資料・単著]「【インターチェンジャブル吹奏楽/オリジナル】ちいさなろうそくが、せかいをてらす TWE-384」, ティーダ出版, (2018年11月)
2. [著書・単著]山口哲人「楽譜出版【インターチェンジャブル6重奏DL】夜想曲第2番(ショパン/山口哲人)TIC6-002DL」, ティーダ出版, (2018年11月)
3. [音楽資料・単著]「楽譜出版【金管5重奏】5つの星のうた(/山口哲人)TBR5-022」, ティーダ出版, (2018年11月)
4. [音楽資料・単著]「楽譜出版【混合6重奏】王宮の花火の音楽(ヘンデル/山口哲人)TKG6-005」, ティーダ出版, (2018年11月)
5. [著書・単著]山口哲人「楽譜出版【バリチューバ4重奏】バリトン・チューバ四重奏“ジャズ組曲”(山口哲人)TLB4-007」, ティーダ出版, (2018年11月)
6. [音楽資料・単著]「楽譜出版【混合4重奏】スラヴ舞曲作品46-2(トヴォルザーク/山口哲人)TKG4-004」, ティーダ出版, (2018年10月)
7. [音楽資料・単著]「楽譜出版【サクソフォン9重奏】リベルタンゴ(ピアソラ/山口哲人)TSX9-002」, ティーダ出版, (2018年10月)
8. [音楽資料・単著]山口哲人「楽譜出版【インターチェンジャブル吹奏楽/オリジナル】ファンタジーの練習帳(山口哲人)TWE-371」, ティーダ出版, (2018年10月)
9. [音楽資料・単著]「楽譜出版【吹奏楽/アレンジ】歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲(B dur・小編成版)(グリーンカ/山口哲人)TWE-370」, ティーダ出版, (2018年06月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [・]「器楽曲 発表「フランドル楽派音楽選集(偽作混入版)」器楽アンサンブルのための」茨城大学美術科教員展+M/2018 茨城県 ひたちなか市[2018年12月24日]

2. [その他・国内会議(共同)] 指揮:山口哲人 Vn.solo:綱島仁美 防衛医大弦楽アンサンブル「管弦楽曲 編曲発表『スペイン交響曲』(作曲:E・ラロ)」所沢市 文化センターミュージズ[2018年12月08日]
3. [その他・国内会議(共同)] 防衛医大弦楽アンサンブル「管弦楽曲 編曲発表『Stardust』(H.Carmichael 作曲)」所沢市 文化センターミュージズ[2018年12月08日]
4. [その他・国内会議(共同)] Pf.田中宏明「器楽曲 発表 ピアノ独奏のための「もののあはれ」」田中宏明ピアノリサイタル水戸芸術館 コンサートホール ATM[2018年11月23日]
5. [その他・国内会議(共同)] Pf.田中宏明「器楽曲 発表 新作発表! 遺稿(偽作)<良い天気になったので「森へゆきましよう」の諸相>」ニュー・サウンド・スケイプ 96 第15回演奏会ムーブ町屋 ムーブホール[2018年06月29日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]第35回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2018年09月)

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室

氏名 田中 宏明

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部 音楽学科ピアノ演奏家コース(日本)[1994年03月卒業] 東京藝術大学大学院 音楽研究科修士課程 器楽(ピアノ)専攻(日本)[1998年03月修了] 藤女子大学 人間生活学部保育学科 非常勤講師(2000年4月～2016年3月) 茨城大学 教育学部学校教育教員養成課程音楽教育教室 准教授(2016年4月～)
学位	修士(音楽)[東京藝術大学]
受賞歴	奨励賞(2003) ピアノ部門ディプロマ賞(1996)
所属学会	全国大学音楽教育学会 日本音楽表現学会 (社)全日本ピアノ指導者協会
専門分野	芸術一般(音楽分野・ピアノ)
教育研究概要	(キーワード)音楽 器楽 ピアノ ピアノ演奏
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 地域志向系科目+ダンス・演劇文化, ダンス・演劇文化 (専門科目)ピアノ, ピアノ, ピアノ, ピアノ, ソルフェージュ演習, 卒業研究, ピアノ, 初等音楽科内容研究, 卒業研究 (大学院科目)器楽研究 I, 初等音楽文化総合研究, 器楽演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 田中宏明「《春がきた》による幻想曲」全国大学音楽教育学会第34回全国大会(仙台)仙台ガーデンパレス[2018年08月25日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]「田中宏明ピアノ・リサイタル」北海道・大空町教育文化会館。(年度不詳～2019年10月)

[芸術活動(単独)]「ピティナ ピアノステップ in 札幌 トークコンサート」(後援:文部科学省)カワイ札幌コンサートサロン・シュシュ。(年度不詳～2019年02月)

[芸術活動(単独)]「ピティナ ピアノステップ in 高崎 トークコンサート」(後援:文部科学省)高崎シューベルトサロン。(年度不詳～2018年12月)

[芸術活動(単独)]「田中宏明ピアノ・リサイタル」水戸芸術館コンサートホール ATM。(年度不詳～2018年11月)

[芸術活動(単独)]NEW SOUND SCAPE '96- 第15回コンサート 没後百年 ドビュッシーへのオマージュ 東京・ムーブ町屋ムーブホール。(年度不詳～2018年06月)

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 毎日新聞社[その他公的社会活動]「全日本学生音楽コンクール審査員」『全日本学生音楽コンクール』(2015年04月～)
2. 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会[その他公的社会活動]「PTNA ピアノコンペティション審査員」(2005年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室	氏名 向野 康江
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>福岡県立筑紫高等学校大学院(日本)[1978年03月卒業]</p> <p>筑波大学大学院 芸術学研究科 芸術学専攻(つくば市)[1994年03月修了]</p> <p>北九州市立大学大学院 社会システム研究科 地域社会システム専攻[2016年03月修了]</p> <p>九州女子高等学校 美術Ⅰ、Ⅱ、工芸Ⅰ 非常勤講師(1988年4月～1989年3月)</p> <p>学校法人岩尾昭和学園昭和女子高等学校 美術、日本史 非常勤講師(1988年4月～1989年3月)</p> <p>茨城大学 大学院教育学研究科 授業担当教員(1995年4月～1996年9月)</p> <p>茨城大学 教育学部・大学院教育学研究科 教授(2015年4月～)</p>
学位	博士(芸術学)[筑波大学] 博士(学術)〈満洲経済史〉[北九州市立大学]
受賞歴	<p>平成25年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞(2013)</p> <p>二零零一年全国中小学優秀美術課課例壺等奨(中国)(2001)</p> <p>中国華東地区首届優秀美術課例壺等奨(中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学芸術教育研究中心)(2001)</p>
所属学会	アジア教育史学会 中国現代史研究会 現近代東北アジア地域史研究会 淡窓研究会 大学美術教育学会 教育史学会
専門分野	近代日中関係史(満洲経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 筑波大学で1つめの博士号(芸術学)を取得して以降、茨城大学では美術教育を担当してきました。廣瀬淡窓の漢詩教育や関衛の児童画研究と向き合ううちに、歴史を学ぶことは非常に大切なことだと痛感しました。いろいろな視点で事象の成立を追究していくと、そこに人間の本質を見出すことができます。そして、人間の本質と経済は切り離すことはできません。特に、近代の満洲における日本人の経済活動史は、近世から近代にかけての人々の考え方を現代人に教えてくれます。2016年3月26日に2つめの博士号(学術)を経済史の分野で取得できたことは、これまで自分がやってきたことと、これから達成させなければならないことを改めて確認させてくれました。応援してくれた人々に感謝を込めながら前進していきたいと思っています。</p> <p>向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究 勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。</p>

	(キーワード) 向野堅一(1868-1931) 研究
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ, 人間と歴史/歴史・考古学【1Q】真実の満洲経済史(つよくやさしい日本人), 歴史・考古学【2Q】真実の満洲経済史(つよくやさしい日本人) (専門科目) 図画工作科内容研究, 美術教育特別演習B I, 図画工作科教育法+ 図画工作科教育法研究+図画工作科教育法研究, 美術教育特別演習B II, 美術 科内容研究, 卒業研究, 工芸科教育法研究 (大学院科目) 美術文化総合研究, 美術教育授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 淡窓研究会, 事務局(2015年06月～)

○ 地域協力活動

1. 向野堅一記念館(2009年09月～)

2. 直方市(2007年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [国際共同研究]「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」, 未詳(年度不詳～)

2. [国内共同研究]「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」, 未詳(年度不詳～)

3. [国際共同研究]「中国人の玉認識アンケート調査について」, 未詳(年度不詳～)

4. [国内共同研究]「平成 21 年度 公開授業研究会 「自分づくり」を支える教育活動の創造(2 年次) - かかわり合いの質を高める - 学習案集」, 未詳(2010 年 01 月～)

5. [国内共同研究]「「自分づくり」を支える教育活動の創造(第 1 年次) - 他とのかかわり合いを通して -」, 未詳(2009 年～)

6. []「茨城大学教育学部附属中学校 かかわりが育む確かな学び(2 年次) かかわりを深める手だての工夫」, 未詳(2003 年 06 月～)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室	氏名 島 剛
---------------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 美術研究科 彫刻[1989年03月修了] 東京芸術大学 美術学部 彫刻[1987年卒業]
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	リサイクルアート展 2016 優秀賞(2016) 第9回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004) 第2回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000) 第6回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999) 第7回日本現代陶彫展'98、大賞(1998) 第2回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995) 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990) 第19回現代日本美術展、大賞(1989) オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988) 第18回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	(研究経歴) 制作研究の序盤 1987年から90年にかけては、彫刻の原則から導かれた『Firework』シリーズを発表した。91年にかけては、海外滞在(ニューヨーク)やヨーロッパ視察を通して、新たな展開に至ったコラージュをベースにした半立体の大型レリーフ絵画(『モンスター』シリーズ、『我は“泉”に立つ』シリーズなど)の制作と発表をする。その後は、モニュメントの建立を目指して野外空間の造形を志向し、96年にはブロンズ製大型モニュメントを完成させたが、その間、素材については陶へ興味を移行させた。近年は大型陶彫の制作研究を展開している。 彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ, 美術文化 (専門科目) 彫刻表現演習 I, デッサンの基礎 I, 素描B, 彫刻 I, デッサンの基礎 II, 彫刻実技概論/立体表現演習 I, 保育内容の研究(表現), 彫刻特別演習, 彫刻表現演習 II, 卒業研究 (大学院科目) 美術文化総合研究, 彫刻演習, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<p>[芸術活動(単独)]コアサンプルワーク-Inward 1702/茨城大学美術科教員展/ギャラリーESPACE /茨城(2018年12月)</p> <p>[芸術活動(単独)]鑄潰しの歴史2/島剛彫刻展/いりや画廊/東京・入谷(2018年06月)</p>

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師, 3(時間/月)(2009年08月～) 2. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年07月～) 3. [兼業] 大阪教育大学・講師(2007年01月～) 4. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2006年07月～) 5. [出前授業] 光洋高校・講師(2006年05月～) 6. [兼業] 桜の牧高校・講師(2005年11月～) <p>○ 講演会・シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「西洋彫刻の本流はギリシア彫刻 そこから見えるロダン作《三つの影》」, 茨城県近代美術時(茨城県近代美術館)[招待講演](2018年07月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ギリシャ アテネ(国立美術館)[資料収集](2018年4月～5月:8日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 片口 直樹

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>金沢美術工芸大学 美術工芸研究科[2002年03月卒業]</p> <p>金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 絵画専攻[2002年]</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003年4月～2006年3月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006年4月～2009年3月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006年4月～2009年3月)</p> <p>茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009年4月～)</p>
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	<p>第22回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005)</p> <p>第20回国際瀧富士美術賞(1999)</p>
所属学会	大学美術教育学会 美術科教育学会
専門分野	芸術一般
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・造形ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目) 大学入門ゼミ(教育学部)/主題別ゼミナール, 美術文化</p> <p>(専門科目) 絵画表現演習 I, 平面表現演習 II/絵画 I, 石膏デッサン, 絵画特別演習, デッサン II/造形実技 II, 絵画表現演習 II, 卒業研究(教育:4単位), 美術館ワークショップ実習, 絵画基礎/平面表現演習 I /絵画実技概論</p> <p>(大学院科目) 絵画研究, 美術文化総合研究, 絵画演習, 研究と教育一知の往還をめぐって一, 美術教育授業設計</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・芸術活動／単独／ワークショップ「東海村アート2018～駅から街へ飛び出そう～」／JR 東海駅前 JR 待合室・東海村産業情報プラザ・東海村立図書館／東海村／2018 ・芸術活動／単独／ワークショップ「空想すいぞくかん～アユってすばらしい～」／アクアワールド茨城県大洗水族館／大洗／2018 ・芸術活動／共同／ワークショップ「金屏風に花が咲く」／茨城県天心記念五浦美術館／北茨城／2018 ・芸術活動／共同／企画展「第10回前田寛治大賞展」／倉吉博物館／倉吉／2018 ・芸術活動／共同／企画展「第10回前田寛治大賞展」／日本橋高島屋／東京／2018 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室

氏名 小口 あや

教員履歴など

現 職	助 教
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ (専門科目)美術教育特別演習AⅠ, 美術教育特別演習AⅡ, 図画工作科内容研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育教室	氏名 金子 一夫
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程美術専攻[1973 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1975 年修了] 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976 年 4 月～1978 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(1978 年 4 月～1985 年 6 月) 茨城大学教育学部助教授(1985 年 7 月～1987 年 7 月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987 年 8 月～1996 年 9 月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996 年 10 月～2016 年 3 月) 茨城大学教育学部附属中学校校長併任(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城大学教育学部特任教授(2016 年 4 月～2018 年 3 月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会 美術科教育学会 大学美術教育学会 美術史学会 美学会 日本美術教育連合 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 研究を始めてみると、この世には解明されていないことだらけであることに気づきます。それを一つ一つ解明していくことに意義があると思います。焦らず、怠けずやっていくことが大事かと思えます。 日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(専門科目)図画工作科教育法/図画工作科教育法研究/図画工作科教育法研究, 美術科教育法 I, 美術科教育法 II+美術科教科論, 図画工作科内容研究 (大学院科目)図画工作教育研究, 美術教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 明治美術学会, 理事(2006 年 10 月～)
2. 明治美術学会, 論文査読委員(2006 年 12 月～2018 年 03 月)
3. 明治美術学会, 会長(2018 年 04 月～)
4. 美術科教育学会, 理事(1982 年 03 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	筑波大学 体育専門学群[1981 年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学[1984 年修了] 大学教育センター・副センター長(教育点検支援部)(2008 年 4 月～2013 年 3 月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2015 年 4 月～2018 年 3 月) 茨城大学教育学部副学部長[附属学校園担当](2018 年 4 月～現在に至る) 茨城大学学長特別補佐(特命担当)(2019 年 4 月～現在に至る)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本バレーボール学会 日本教育工学会 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	(研究経歴) パソコンや IT 機器を用いた使ったバレーボールのゲーム分析を進める中、分析用の専門ソフトを開発して研究を進めた。また小中高のバレーボール授業の教材研究も進め、副読本や指導書を執筆した。 バレーボールの指導法に関する研究 研究は、1)バレーボールの技術指導に関する研究、2)バレーボールのゲーム分析に関する研究、3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。1)は、画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し、バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は、様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。2)は、DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い、競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し、ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し、その要因をもとにして BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。3)は、中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め、その経験をもとに、中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。

	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動, 身体活動 (専門科目)ボールゲーム方法論, 体育科教育法研究, コーチング論Ⅱ, 運動学概論, 卒業研究 (大学院科目)運動方法学特論, 保健体育科学総合研究, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

心と体の健康・スポーツ(共著, 大修館書店, 2019年4月)

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部・強化普及委員(2012年04月～2019年12月)

2. [兼業]

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「茨城県バレーボール協会理事」(2012年04月～)

2. [地域貢献事業]NPO法人 スマイルクラブ(2000年04月～)

3. [地域貢献事業]

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

人間環境教育課程	氏名 吉野 聡
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	大阪教育大学 保健体育[1991 年] 筑波大学大学院 体育研究科 体育方法学[1993 年] 江戸川学園取手中・高等学校 教諭(1996 年 4 月～1999 年 3 月) 筑波大学体育科学系 文部技官(1999 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2001 年 4 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(2006)
所属学会	日本体育学会 日本体育授業研究会 日本体育科教育学会 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	体育カリキュラム研究 体育教師教育 (キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法
担当科目	(専門科目) 卒業研究 (大学院科目) 体育科教育学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・共著] 吉野聡「高等学校学習指導要領解説 保健体育偏 体育偏」, 東山書房, (2019 年 02 月 15 日)</p> <p>2. [単行本(学術書)・共著] 吉野聡「初等体育科教育」, ミネルヴァ書房, 139-146(2018 年 12 月 30 日)</p> <p>3. [単行本(学術書)・共編者] 吉野聡「初等体育授業づくり入門」, 大修館書店, 81-82, 88-90(2018 年 04 月 20 日)</p> <p>4. [研究論文(学術雑誌)] 渡邊綾乃・宮本蘭子・木谷晋平・佐藤道子・吉野聡・上地勝, 宮本 蘭子, 木谷 晋平, 佐藤 道子, 吉野 聡, 上地 勝, Michiko Sato, Satoshi Yoshino, Masaru Ueji「中学校保健体育における関心・意欲を高める保健授業の考案」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 507-517(2019 年 01 月 29 日)</p> <p>5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] 吉野 聡, 金川 瑞希, 飯島 悠輔, 杉江 拓也, 下山田 克也, 稲葉 敬之「休み時間における児童の運動遊びに繋がる体育授業の探索::経験を有する児童及び教員へのインタビューを通して」, 体育学研究, 63, 1, 341-353(2018 年)</p>

研究業績(2) 学会発表など**研究業績(3) 芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 日本体育学会, IJSHS 編集委員 (2019 年 04 月～)
2. 日本体育科教育学会, 理事 (2018 年 04 月～)
3. 日本スポーツ教育学会, 理事 (2011 年 04 月～)
4. 日本学校体育研究連合会, 参与 (2015 年 4 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカオハイオ州立大学での研修 2018 年 4 月から 2019 年 1 月まで

科学研究費補助金などの受領

- (1) 「大学・大学院における体育教師養成カリキュラム及び指導法に関する研究」(平成 13-15 年度、高橋健夫研究代表、吉野聡研究分担者、基盤研究 B、12,800,000 円)
- (2) 「教師養成のための体育授業映像プログラムの開発とその有効性の検討」(平成 16-18 年度、高橋健夫研究代表、吉野聡研究分担者、基盤研究 B、12,600,000 円)
- (3) 「体育科のナショナルスタンダード策定の試みとその妥当性の検証」(平成 19-21 年度、高橋健夫研究代表、吉野聡研究分担者、基盤研究 A、35,900,000 円)
- (4) 「学校体育における球技カリキュラムの構築に向けた基礎的・実践的研究」(平成 26-28 年度、吉野聡研究代表、基盤研究 C、4,030,000 円)
- (5) 「教員養成、現職教員の協働によるアクション・ラーニング研修プログラムの開発」(平成 27 年度-30 年度、佐藤豊研究代表、吉野聡研究分担者、基盤研究 B、8,060,000 円)
- (6) 「体育授業に対するコンサルテーションの在り方とその条件に関する総合的研究」(平成 27 年度-29 年度、細越淳二研究代表、吉野聡研究分担者、基盤研究 B、9,230,000 円)
- (7) 「球技領域における学習者の躓きとその改善のための手立てに関する研究」(平成 29-31 年度、吉野聡研究代表、基盤研究 C、2860,000 円)

学校教育教員養成課程	氏名 渡邊 将司
------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース[2001年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻[2006年03月修了] 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年4月～2007年3月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年4月～2009年3月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年4月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008) Roy Acuff ACSM Abstract Award(2005)
所属学会	スポーツパフォーマンス学会 日本陸上競技学会 American College of Sports Medicine National Strength and Conditioning Association 日本トレーニング科学会 日本成長学会 日本体力医学会 日本発育発達学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動, 大学入門ゼミ, スポーツ文化 (専門科目)陸上競技方法論, 陸上競技/陸上競技指導法, 体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), ソフトボール指導法/ソフトボール/ソフトボール/ソフトボール/ソフトボール指導法/ソフトボール, 保健体育総合演習, 保健体育特別演習Ⅱ, スポーツ心理学, トレーニング法, 測定評価, 子どもの体力と健康, 卒業研究 (大学院科目)形態学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著【依頼/招待】]渡邊将司「ジュニア期のスポーツパフォーマンスと相対年齢効果」, 陸上競技学会誌, 17, 103-105(2019年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]石鍋佑輔, 渡邊将司「足関節捻挫の経験がある競技者の

体力的特徴」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 139-153(2019年01月)

3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]市川麻耶, 渡邊將司「2000m ローイングエルゴメーターパフォーマンスに影響を及ぼす要因に関する単一事例研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 155-174(2019年01月)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]山本恭平, 渡邊將司「一過性運動による足部の形態変化に影響する要因」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 175-186(2019年01月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 渡邊將司「ジュニア期のスポーツパフォーマンスと相対年齢効果」日本陸上競技学会[2018年11月11日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 埼玉県立川口北高等学校・講師, 2(時間/月)(2016年10月)

2. [兼業] 日本陸上競技連盟・普及育成委員(2011年04月～)

3. [兼業] 体育学習アドバイザー・講師(2011年04月～)

4. [兼業] 茨城陸上競技協会・理事(2010年04月～)

5. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師(臨海実習・からだの成長)(2010年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本陸上競技学会, 企画委員(2014年11月～)

2. 日本陸上競技連盟, 普及育成委員(2011年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日立第一高等学校附属中学校 健康教育講座(国内)」, [その他](2018年11月)

2. 「日本陸上競技学会」, [パネリスト](2018年11月)

3. 「平成30年度すぎなみスポーツアカデミーA1指導者養成講習会(国外)」, [その他](2018年07月)

4. 「日本人類動態学会」, [招待講演](2018年06月)

5. 「日本発育発達学会(国外)」, [招待講演](2018年03月)

6. 「平成29年度東海村幼児教育接続・家庭教育推進のための研修会(国内)」, [招待講演](2018年01月)

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「堀原運動公園 ランニング・ジョギング教室」(2018年04月～)

2. [地域貢献事業]「国営ひたち海浜公園 ジョギング・ウォーキング教室」(2011年04月～)

3. [地域貢献事業]「スマイル TOKAI 陸上教室」(2009 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)「どのような要因で幼少期から思春期にかけて体力・身体組成・身体活動が変化するのか」, 390 万円 (2017 年 04 月～2019 年 03 月)
2. [科研費]基盤研究(B)(分担)「運動の「ぎこちなさ」を要因とする書字困難児に対する早期支援プログラムの開発」, 952 万円 (2016 年 04 月～2020 年 03 月)
3. [科研費]基盤研究(C)(分担)「子どもの外遊びを促進するための公園環境の提案」, 468 万円 (2016 年 04 月～2019 年 03 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室

氏名 中嶋 哲也

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	<p>埼玉大学 教育学部 生涯学習課程健康スポーツコース[2005年03月卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻[2011年03月修了]</p> <p>横浜 YMCA スポーツ専門学校 非常勤講師(2006年4月～2011年3月)</p> <p>埼玉大学 非常勤講師(2008年4月～2013年3月)</p> <p>早稲田大学スポーツ科学学術院 助手(2011年4月～2013年3月)</p> <p>鹿児島大学教育学部 講師(2013年4月～2015年4月)</p> <p>鹿児島県立短期大学 非常勤講師(2014年4月～2015年3月)</p> <p>専修大学 兼業講師(2016年4月～)</p>
学位	博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 スポーツ史学会 早稲田文化人類学会 日本武道学会 日本スポーツ人類学会
専門分野	スポーツ人類学 武道論 文化人類学 社会史
教育研究概要	(キーワード)柔道の歴史、古武道の近現代史、古流武術の民族誌
担当科目	<p>(教養科目)身体活動, 身体活動</p> <p>(専門科目)体育科教育法研究, 体育史, 体育学概論, 武道方法論, 柔道指導法+柔道, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)体育史特論, 保健体育科学総合研究, 研究と教育—知の往還をめぐって—</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)書評,文献紹介等単著【依頼/招待】]「石坂友司著『現代オリンピックの発展と危機 1940-2020:二度目の東京が目指すもの』」, 人間福祉学研究, 11, 1, 143-146(2018年12月)
2. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著【依頼/招待】]Tetsuya Nakajima"the establishment and development of the concept of Budo in modern Japan: Epistemological premises of the study of Budo in the contemporary period", The 4th WMC International Academic Conference: Illuminating Ethical Values of Martial Arts, 50-54(2018年11月15日)
3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Tetsuya Nakajima"JAPANESE MARTIAL ARTS AND

THE SUBLIMATION OF VIOLENCE: AN ETHNOGRAPHIC STUDY OF SHINKAGE-RYU”, Martial Arts Studies, 6, 62-74(2018 年 07 月)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 専修大学商学部・(2016 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 清州(忠北大学校) [国際学会出席及び研究成果発表] (2018 年 11 月:4 日間)

ブラジル サンパウロ(ブラジル講道館有段者会) [調査] (2018 年 12 月:4 日間)

中国 大連、丹東、瀋陽(大連現代博物館・大連武術文化博物館、鴨緑江周辺、東北大学) [調査]
(2019 年 3 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室	氏名 大津 展子
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
学歴・職歴	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 学校教育学専攻[2009年03月中退] 筑波大学附属坂戸高等学校(2006年4月～2011年3月) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科(2011年4月～2014年3月) 茨城大学 教育学部(2014年4月～)
学位	修士(体育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ教育学会 体育授業研究会 筑波大学教育学会 日本体育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)体育科教育学 体育授業 教材研究
担当科目	(教養科目)身体活動 (専門科目)ボールゲーム方法論, 体育科教育法研究, ソフトボール指導法/ソフトボール/ソフトボール/ソフトボール指導法/ソフトボール, 保健体育科教育法研究Ⅱ, 卒業研究, 体育科内容研究 (大学院科目)体育科教育学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. [非常勤講師] 白?大学・(2015年04月～)</p> <p>○ 地域協力活動</p> <p>1. [学外審議会・委員会等]「(公社)日本女子体育連盟「女子体育」編集委員会副委員長」(2013年04月～)</p>

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 工藤 雄司

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>広島大学 学校教育学部 中学校教員養成課程 技術専攻[1984年03月卒業] 東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻(電気講座)[1987年03月修了] 学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987年4月～1991年3月) 筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991年4月～2012年3月) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000年4月～2004年9月) 筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論Ⅱ」(2004年4月～) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005年4月～2005年9月) 愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育CⅡ」(2007年12月～2008年3月) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2009年4月～2012年3月) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月～) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010年4月～2012年3月) 茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012年4月～)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(2013)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本工業技術教育学会 日本教科教育学会 日本教育情報学会 筑波大学教育学会 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育
教育研究概要	(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 主題別ゼミナール, 情報処理概論/情報リテラシー (専門科目)基礎情報処理/情報通信ネットワーク演習, 情報科教育法Ⅰ, 技術科教育法Ⅱ, 技術科教育演習, ものづくり体験, 情報処理の基礎技術Ⅰ, 情報システム, 情報教育入門, 情報通信ネットワーク, 情報技術概論+基礎情報処理, 卒業研究, 技術科教育法Ⅴ, 技術科教育法特講Ⅰ, 情報教育研究法, 家庭情報処理, 技術科教育法Ⅵ, 職業指導原論, 家庭電気・機械

(大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科教育特論, 技術科授業設計, 技術科教育演習, 技術科教育演習 I, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]工藤雄司, 山本利一, 本村猛能, 森山潤, 角和博, 滝島聖也

「A proposal for learning of programming focused on IoT」, Proceedings of the 10th Biennial International Design and Technology Teacher's Association Research Conference (DATTArc), Swinburne University of Technology, Hawthorn, Victoria, Australia, 62-68(2018年12月7日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 本村猛能, 山本利一, 森山潤「情報教育の体系化に向けたプログラミングにおける論理回路学習の効果」日本産業技術教育学会第61回全国大会(信州)(信州大学教育学部)[2018年08月25日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 山本利一, 鈴木航平, 滝島聖也, 木村僚, 工藤雄司「統合的な技術による問題の解決」を学習する指導過程の提案ープログラミングを活用したIoT技術を学習する授業実践ー」日本産業技術教育学会第61回全国大会(信州)(信州大学教育学部)[2018年08月25日]

3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 本村猛能, 山本利一, 本郷健, 森山潤「プログラミングにおける論理回路学習の効果を踏まえた情報教育の体系化を考える」日本教育情報学会第34回年会(厚木)(松蔭大学厚木森の里キャンパス)[2018年08月26日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 埼玉大学教育学部・非常勤講師(2012年04月～)

2. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・非常勤講師(2012年04月～)

3. [非常勤講師] 筑波技術大学・非常勤講師(2012年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2016年08月～)

2. 日本教育情報学会, 評議員(2016年08月～)

3. 日本工業技術教育学会, 事務局(1998年07月～)

4. 日本工業技術教育学会, 編集委員(1998年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

オーストラリア メルボルン(スウィンバーン工科大学) [国際学会出席及び研究成果発表] (2018 年 12 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(一般)(研究分担者)「情報教育固有の目標「情報活用能力」を踏まえたカリキュラム体系化と国際比較研究」, 20 万円 (2016 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
2. [科研費]挑戦的研究(萌芽)(研究分担者)「専門高校卒業生の継続的な学びの支援に関する研究」, 25 万円 (2017 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室	氏名 榊 守
---------------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	釧路工業高等専門学校大学院[1983 年卒業] 豊橋技術科学大学 工学部 電気・電子工学課程[1985 年卒業] 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子工学[1987 年修了] 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 4 月～1989 年 3 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 4 月～1996 年 3 月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会 表面技術協会 日本視覚障害理科教育研究会 日本生活支援工学会
専門分野	科学教育 リハビリテーション科学・福祉工学 放電応用
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。研究分野： 科学技術教材および福祉機器の研究開発 (キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 主題別ゼミナール (専門科目)ものづくり体験, 電気の基礎技術, 電気技術/電気工学, 電気技術概論+基礎電気, 卒業研究, 家庭電気・機械 (大学院科目)技術と生活総合研究, 電気工学特論 I, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

スタートアップ型小型色識別装置の白黒判定手法, Japan Assistive Technology Forum 2018 in Tokuyama, 2018/09/08

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

水戸第一高等学校 学校評議員(2018)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 大西 有

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	北海道教育大学 教育学部 技術科[1988年03月卒業] 東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻[2018年03月修了] 根室市立厚床中学校(1988年4月～1994年3月) 上富良野町立上富良野中学校(1994年4月～2000年3月) 旭川市立啓北中学校(2000年4月～2001年3月) 北海道教育大学教育学部附属旭川中学校(2001年4月～2009年3月) 北海道立教育研究所(2009年4月～2013年12月) 北海道教育庁上川教育局(2014年1月～2015年12月)
学位	修士(教育学)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(1)中学校技術科教育に関する指導方法の研究 (2)中学校技術科 生物育成の技術に関わる指導方法の研究 (3)小学校プログラミング教育に関する指導方法の研究 (キーワード) 技術科教育 小学校プログラミング教育
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 文部科学省 , 平成 30 年度 文部科学省委託事業 「平成 30 年度 次世代の教育情報化推進事業(小学校プログラミング教育推進のための指導事例の創出等に関する調査研究)」有識者委員会委員(2018年10月～2019年03月)

2. 茨城県教育委員会, 平成 30 年度茨城県小学校プログラミング教育推進事業委員(2018 年 06 月～2019 年 03 月)
- 地域協力活動
1. 文部科学省委託事業 大日本印刷株式会社[学外審議会・委員会等]「平成 30 年度 文部科学省委託事業 「平成 30 年度 次世代の教育情報化推進事業(小学校プログラミング教育推進のための指導事例の創出等に関する調査研究)」有識者委員会委員」(2018 年 12 月～2019 年 03 月)
 2. 神奈川県秦野市 中学校教育研究会 技術科研究部会[地域貢献事業]「神奈川県秦野市 中学校教育研究会 技術科研究部会「教育講演会」講演講師」(2018 年 11 月～)
 3. 長野県家庭, 技術・家庭科教育研究会[地域貢献事業]「第 57 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会長野大会第 2 分科会指導・助言者」(2018 年 10 月～)
 4. 千葉県総合教育センター[地域貢献事業]「平成 30 年度千葉県総合教育センター中学校技術・家庭科情報教育研修講師」(2018 年 08 月～)
 5. 福井県中学校技術・家庭科研究会[地域貢献事業]「平成 30 年度 福井県中学校技術・家庭科研究会 研修会講演講師」(2018 年 08 月～)
 6. 茨城県教育委員会[地域貢献事業]「平成 30 年度茨城県小学校プログラミング教育推進事業委員及び講師」(2018 年 06 月～2019 年 03 月)
 7. 茨城県教育研究会 家庭, 技術・家庭教育研究部県東ブロック「平成 29 年度 茨城県教育研究会 家庭, 技術・家庭教育研究部県東ブロック中学校技術・家庭科(技術分野)授業研究会 助言者」(2018 年 02 月～)
 8. [地域貢献事業]「茨城大学教育学部附属小学校 小学校プログラミング教育必修化に向けた授業化プロジェクト 第 9 回公開授業研究会 助言者」(2018 年 02 月～)
 9. いばらきものづくり教育フェア実行委員会[地域貢献事業]「平成 29 年度いばらきものづくり教育フェア「児童・生徒作品コンクール」審査員」(2017 年 11 月～)
 10. 茨城県教育研究会家庭, 技術・家庭科教育研究部[地域貢献事業]「平成 29 年度 茨城県教育研究会 家庭, 技術・家庭教育研究部第 2 回研究推進委員研修会講師」(2017 年 08 月～)
 11. 茨城県教育工学研究会[地域貢献事業]「第 11 回茨城県教育工学研究会・D-project 茨城ミニ講演会講師」(2017 年 01 月～)
 12. いばらきものづくりフェア教育実行委員会[地域貢献事業]「平成 28 年度いばらきものづくり教育フェア「児童・生徒作品コンクール」審査員」(2016 年 11 月～)
 13. いばらきものづくりフェア教育実行委員会[地域貢献事業]「平成 27 年度いばらきものづくり教育フェア「児童・生徒作品コンクール」審査員」(2016 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室	氏名 白坂 高司
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科[2007年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科[2011年03月修了]
学位	修士(教育学)[広島大学] 博士(学術)[広島大学]
受賞歴	茨城大学 学長表彰(推奨授業)(2014)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本教科教育学会 日本科学教育学会 日本教育工学会 電気学会
専門分野	教科教育学 木質科学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ, 主題別ゼミナール, 情報リテラシー (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 技術科教育法Ⅱ, 木材加工概論, 木材加工演習, ものづくり体験, 木材加工学, 情報教育入門, 学校教育とプログラミングⅠ, 木材加工の応用技術, 卒業研究 (大学院科目) 技術と生活総合研究, 木材加工学特論, 技術科授業設計, 木材加工学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Kazuki Hosaka, Takashi Usuzaka "Study on "Familiarity" When Reading Using an Electronic Medium", Society for Information Technology & Teacher Education International Conference, 1168-1173(2019年03月18日)
2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]白坂高司, 葛山竣介, 勝二博亮「教示方法の違いがのこぎり引きの切断成績と脳活動に及ぼす影響」, 科学教育研究, 42 , 4, 419-428(2018年12月10日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]齋藤安那, 白坂高司「小学校教員免許取得予定大学生を対象とした技術に関するイメージの調査研究」, 茨城大学教育実践研究, 第37, 129-138(2018年11月)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等
1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Hosaka, K. & Usuzaka, T "Study on "Familiarity" When Reading Using an Electronic Medium" Society for Information Technology & Teacher Education

International Conference[2019 年 03 月 21 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 電気学会, 実践から学ぶ制御技術教育に関する調査専門委員会(2018 年 10 月～2021 年 09 月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育研究会 家庭, 技術・家庭教育研究部[地域貢献事業]「第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科教育研究大会に係る授業研究会」(2018 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ラスベガス(Planet Hollywood Resort & Casino Las Vegas)[国際学会出席及び情報収集]
(2019 年 3 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(代表)「ものづくり教育における教示方法の違いが及ぼす学習効果の脳科学的検証」, 182 万円 (2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育教室

氏名 堤 一郎

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	御礼状(感謝状)(2019) 日本機械学会創立 120 周年記念事業功労者表彰(新企画・事業)(機械遺産委員会)(2017) 第 43 回(2017 年度)交通図書賞(2017) 日本技術史教育学会創立 20 周年記念特別表彰(2016) 「新幹線 50 年史」刊行感謝状(2015)
所属学会	日本交通協会 日本機械学会 日本技術史教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)技術教育、機械工学、教材・教具開発、技術史教育、産業技術史、産業遺産
担当科目	(教養科目)技術と社会 (専門科目)機械の基礎技術、機械工学、製図 I、機械技術概論、機械の応用技術、卒業研究 (大学院科目)機械工学特論、技術と生活総合研究、特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]青木栄一、堤 一郎、大島登志彦「新大牟田市史—テーマ特講編— VIII 近現代、2 近現代遺跡・文化財の調査成果 (1)旧三池炭鉱専用鉄道電気機関車」, 大牟田市／大牟田市市史編さん委員会, p.358, p.367-373(2019 年 03 月 31 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 堤 一郎、池森 寛、緒方正則「戦前期における地方私鉄へのディーゼル動車導入の経過と変遷」日本機械学会九州支部第 72 期総会・講演会九州工業大学(戸畑キャンパス)[2019 年 03 月 14 日]
2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 堤 一郎「機械遺産が語る日本の機械技術史」日本機械学会関東支部シニア会総会講演会東京理科大学森戸記念館[2018

年 09 月 27 日]

3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 堤 一郎「産業革命の原動力、蒸気機関と工作機械」日本工業大学工業技術博物館講演会日本工業大学学友会館[2018 年 06 月 08 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本機械学会, 機械遺産委員会(アドバイザー)(2018 年 09 月～2019 年 08 月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本工業大学工業技術博物館後援会第 28 回総会・講演会(国内)」, 日本工業大学工業技術博物館後援会(埼玉県宮代町)[基調講演](2018 年 06 月)

○ 地域協力活動

1. 中央大学[その他公的社会活動]「中央大学兼任講師(工業技術史)」(2015 年 04 月～2020 年 03 月)

2. サレジオ工業高等専門学校[その他公的社会活動]「サレジオ工業高等専門学校非常勤講師(技術史)」(2015 年 04 月～2020 年 03 月)

3. 国立文化財機構東京文化財研究所[学外審議会・委員会等]「東京文化財研究所客員研究員(保存科学センター)」(2015 年 04 月～2020 年 03 月)

4. 武蔵野美術大学[その他公的社会活動]「武蔵野美術大学非常勤講師(現代科学論)」(2015 年 04 月～2019 年 09 月)

5. 文部科学省文化庁[学外審議会・委員会等]「文化庁文化財審議会専門委員(文化財分科会)」(2015 年 03 月～2020 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 木村 美智子

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学 家政学部 被服学科[1981年03月卒業]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 家政学研究科 被服学[1983年03月修了]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学[1989年03月修了]</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983年4月～1984年3月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987年8月～1988年3月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988年4月～1989年3月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989年4月～1993年3月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990年4月～)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993年4月～1999年3月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995年10月～1999年3月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999年4月～2004年3月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004年4月～2009年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009年4月～2012年3月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010年10月～)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2012年4月～)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	<p>日本環境共生学会発表論文賞(2006)</p> <p>お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(1995)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(1989)</p>
所属学会	日本繊維製品消費科学会 日本家庭科教育学会 日本環境共生学会 日本油化学会 繊維学会 日本家政学会
専門分野	衣・住生活学 家政・生活学一般 教科教育学 科学教育
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 私たちの身体を取り巻き、最も身近な環境を形成している「衣服」。長寿社会・循環型社会の中にあって、健康・快適性・環境共生をキーワードにした衣生活の実現が求められています。このような視点に立ち、環境負荷の少ない、環境と共生する衣生活のあり方や教育について研究しています。</p> <p>環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています</p>

	(キーワード)洗淨科学, 被服学, 生活環境学, 環境教育
担当科目	(教養科目)環境と人間 (専門科目)初等家庭科内容研究, アパレル科学, 被服構成学基礎, 衣生活論, 初等家庭科内容研究, 被服学概論, 被服学演習, 卒業研究, 被服環境学

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著【依頼/招待】]木村美智子「家庭科における被服整理領域の問題と今後の課題」, 第 47 回被服整理学夏季セミナー講演要旨集, 30-35(2018 年 08 月 29 日)
2. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著【依頼/招待】]木村美智子「被洗物の物性・特徴」, 洗淨に関するシンポジウム 50 回記念論文集, 28-33(2018 年 08 月 15 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 木村 美智子「ファインバブルを用いた布の洗淨性」第 50 回洗淨に関するシンポジウム[2018 年 08 月 30 日]
2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 木村 美智子「家庭科における被服整理学領域の問題と今後の課題」日本家政学会第 47 回被服整理学夏季セミナー東京 [2018 年 08 月 29 日]
3. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 木村美智子「ファインバブルによる布の洗淨性」日本学術振興会染色堅ろう度第 134 委員会第 3 回研究発表会東京[2018 年 05 月 28 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「宮城県環境影響評価技術審査会」[審査会委員]
2. 「国際事業委員会」日本学術振興会[面接審査委員・書面評価員]
3. 「特別研究員等審査会」日本学術振興会
4. 「栃木県環境影響評価技術審査会」栃木県[審査会委員]

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 常磐短期大学・(2016 年 04 月～)
2. [非常勤講師] お茶の水女子大学・(2010 年 10 月～)
3. [非常勤講師] 太田看護専門学校・(1990 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本環境共生学会, 理事(2007 年 05 月～)

2. 日本油化学会, 洗剤・洗浄部会幹事(2007 年 04 月～)

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「平成 30 年度免許状更新講習」, 6 時間, ,

○ 講演会・シンポジウム

1. 「洗剤・洗浄部会オープンセミナー(国内)」, 日本油化学会洗剤・洗浄部会(東京)[招待講演]
(2018 年 07 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「消費者市民社会の持続可能性を支える環境意識の形成過程に関する研究」, 455 万円 (2017 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

2. [科研費]基盤研究(A)(分担)「ファインバブル水を活用した次世代型繊維製品処理システムの開発」, 2249 万円 (2017 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 野中 美津枝

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	<p>千葉大学大学院 教育学研究科 家政教育専攻[2001年03月修了]</p> <p>日本女子大学大学院 人間社会研究科 教育学専攻[2017年03月修了]</p> <p>山口県立德佐高等学校・家庭科教諭(1984年4月～1987年3月)</p> <p>山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年4月～1987年8月)</p> <p>三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年4月～1993年3月)</p> <p>千葉商科大学付属高等学校・家庭科教諭(1994年4月～2008年3月)</p> <p>九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年4月～2009年3月)</p> <p>愛媛大学教育学部・講師(2009年4月～2010年11月)</p> <p>愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月～2013年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2013年4月～2017年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2017年4月～)</p>
学位	教育学修士[千葉大学] 博士(教育学)[日本女子大学]
賞歴	なし
所属学会	日本教科教育学会 日本教育工学会 日本消費者教育学会 日本家政学会 日本家庭科教育学会
専門分野	家政・生活学一般 教科教育学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 家庭科は、生涯を通してよりよく生きるために学びます。家庭科授業では、自分のこととして捉え、実生活で生かせる生活課題解決能力を育成しなければなりません。そのための教材開発、学習方法、カリキュラムについて研究しています。</p> <p>(キーワード) 家庭科、消費者教育、食教育、授業研究</p>
担当科目	<p>(教養科目) 公共社会</p> <p>(専門科目) 初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法Ⅱ, 中等家庭科教育法Ⅳ, 中等家庭科教育法Ⅰ, 初等家庭科教育法+初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法Ⅲ, 家庭科教育学演習Ⅱ, 卒業研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]野中美津枝「生活課題解決能力を育成する授業デザインの実証的研究

- 一授業評価・改善に関するモデル」, 福村出版, (2019 年 02 月 28 日)
2. [単行本(学術書)・共著]大竹美登利・鈴木真由子・綿引伴子・石垣和恵・小野恭子・表真美・中山節子・野中美津枝・萬羽郁子・星野洋美「小学校家庭科教育法」, 建帛社, 79-90,135-140(2018 年 04 月 05 日)
 3. [研究論文(学術雑誌)共著【依頼/招待】]野中美津枝、鈴木真由子、鈴木民子、荒井紀子、小川裕子、河野公子、財津庸子、高木幸子、中西雪夫、日景弥生、藤田昌子「学会特別研究委員会報告論文「家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査」シリーズ 3 ー家庭科の意義・役割や生活実態を探る高校生調査および全国調査の総括ー」, 日本家庭科教育学会誌, **61**, 3, 164-171(2018 年 11 月 01 日)
 4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]野中美津枝、高崎 昌己「消費者市民を育成する「すぐろく」の開発と授業実践」, 日本消費者教育学会「消費者教育」第 38 冊, 79-88(2018 年 09 月 30 日)
 5. [研究論文(学術雑誌)共著【依頼/招待】]高木幸子、小川裕子、中西雪夫、財津庸子、荒井紀子、河野公子、鈴木民子、鈴木真由子、野中美津枝、日景弥生、藤田昌子「学会特別研究委員会報告論文「家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査」シリーズ 2 ー全国調査の趣旨および高等学校家庭科男女必修の成果と課題を探る社会人調査(自由記述分析)ー」, 日本家庭科教育学会誌, **61**, 2, 106-113(2018 年 08 月 01 日)
 6. [研究論文(学術雑誌)共著【依頼/招待】]藤田昌子、日景弥生、河野公子、荒井紀子、小川裕子、財津庸子、鈴木民子、鈴木真由子、高木幸子、中西雪夫、野中美津枝「学会特別研究委員会報告論文「家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査」シリーズ1 ー全国調査の趣旨および高等学校家庭科男女必修の成果と課題を探る社会人調査(数量的データ分析)ー」, 日本家庭科教育学会誌, **61**, 1, 37-45(2018 年 05 月 01 日)
 7. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]野中美津枝、亀井佑子、新山みつえ、荒井きよみ、荒井智子、石島恵美子、真田智恵子、高橋礼子、吉野淳子「東京都立高等学校家庭科における班別学習(少人数編成授業)の経緯と実態調査」, 日本家庭科教育学会誌, **61**, 1, 12-22(2018 年 05 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 野中 美津枝、坪内恭子、石引公美、神澤志乃、小清水貴子、小林久美、齋藤美重子、齋藤和可子、新山みつ枝、村上睦美、吉野淳子「ロールプレイングを導入した知識構成型ジグソー法の高校家庭科授業の開発」日本家庭科教育学会 2018 年度例会東京 [2018 年 12 月 09 日]
 2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 野中美津枝「「高校生の生活リテラシーの状況と家庭科で育成する生活リテラシーの検討」」日本家庭科教育学会 2018 年度例会シンポジウム[2018 年 12 月 09 日]
 3. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] 野中美津枝、齋藤和可子「ラウンドテーブル「家庭科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」ー「ロールプレイ

ングを導入した知識構成型ジグソー法」の家庭科授業の開発ー」日本家庭科教育学会第 61 回大会ラウンドテーブル[2018 年 07 月 08 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本家庭科教育学会関東地区会, 会長(2017 年 08 月～2018 年 07 月)
3. 日本家庭科教育学会, 理事(2015 年 06 月～2019 年 06 月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本家庭科教育学会 2018 年度例会シンポジウム(国内)」, 日本家庭科教育学会(東京)[パネリスト](2018 年 12 月)
2. 「日本家庭科教育学会第 61 回大会(国内)」, 日本家庭科教育学会[企画・運営](2018 年 07 月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立太田第一高等学校[地域貢献事業]「高大連携による「大学模擬授業」(2018 年 11 月～)
2. 茨城県技術・家庭教育研究部中央地区研究部[その他公的社会活動]「中学校技術・家庭科(家庭分野)中央地区授業研究会における指導・助言」(2018 年 10 月～)
3. 茨城県教育研究連盟[その他公的社会活動]「第 63 回茨城県教育研究連盟研究集会」(2018 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](代表)「生活課題解決能力を育成する授業改善に関する実証研究」, 208 万円 (2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「家庭科未来プロジェクト(分担)」, 未詳(2015 年 12 月～2018 年 07 月)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 数井 みゆき

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	ノースミシガン大学 文理学部 心理(アメリカ)[1985年卒業] ユタ大学院 心理学科 Developmental Psychology(アメリカ)[1988年修了] メリーランド大学院 Dept. of Psychology, Graduate Program 応用発達心理学(アメリカ)[1991年修了] 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994年4月～1996年3月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996年4月～2005年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006年4月～)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メリーランド大学(アメリカ合衆国)] 心理学修士 (M.S. in Psychology)[ユタ大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998)
所属学会	日本発達心理学会 児童発達研究学会(society of Research in child Development) 日本教育心理学会 アメリカ心理学会(American Psychological Association) 日本心理臨床学会 日本保育学会 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	(研究経歴) 博士論文では、幼児のアタッチメントの状態を、夫婦関係、社会的サポート、ストレスなどの心理社会的変数との関係で検討した。その後、成人愛着面接(Adult Attachment Interview)を行う資格を取り、アタッチメントの日本人母子での世代間伝達の状態について検証した。そのとき、心理社会的な変数も検討したが、母親の現在のアタッチメント表象の個人差が、子どものアタッチメント安定性得点を決めるもっとも重要な要因として見出された。その後、日本でよく言われる「密室育児」についての実態についての研究にも従事した。説明変数として、「密室育児」という言葉が当たり前のように使われるが、その本質は何なのかを定義したものはなかったためである。同じ「密室育児」といっても、ある母親は30分子どもといることがそのように見え、他の母親は1日子どもと二人だけにいる状態をそのように感じていた。過去数年は、被虐待児にかかわる研究を行っていた。1つには、アタッチメント障害とトラウマ反応について、保育士や看護師など、現場でかかわる人たちが使えるわかりやすい尺度を作成することが目的であった。その後、この作成された尺度をもとに、妥当性の検討を行った。現在は男性(父親)のアタッチメントに関して、研究を始めている。 本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現

	<p>状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。</p>
	<p>(キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、男性の養育、アタッチメントと喪失</p>
担当科目	<p>(教養科目)生活・福祉系科目+人間科学, 生活・福祉系科目+人間科学 (専門科目)親子関係学, 中等家庭科教育法Ⅱ, 保育学概論, 保育学演習, 養育環境学, 卒業研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]中尾達馬, 村上達也, 数井みゆき「児童期においてアタッチメント不安とアタッチメント回避を想定する試み ―一児童版ECR-RSの日本語版作成」, パーソナリティ研究, **27**, 3, 179-189(2019年01月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Miyuki Kazui, Kaori Fukuda, Megumi Kitagawa, Shimpei Kudo, Minako Nakajima, Miyuki Ando, & Toshihiko Endo "Qualitative Analyses on the Intergenerational Transmission of Attachment and Fatherhood among Japanese Families" Society for Research in Child Development 2019 Conference Baltimore, USA [2019年03月22日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 数井みゆき, 遠藤利彦, 福田佳織, 中島美那子, 安藤みゆき, 蒲谷慎介, 渡邊茉奈美, 北川 恵, 工藤晋平「子どもを持つ成人の息子は父親との関係をどのようにとらえているのか? 成人アタッチメント面接の内容分析から」日本教育心理学会第60回総会慶応義塾大学日吉キャンパス[2018年09月17日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. いばらきものづくり教育フェア実行委員会(茨城県教育庁学校教育課義務教育課)(2018年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室	氏名 西川 陽子
---------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学 家政学部 食物学科[1993 年卒業]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学専攻 (食物科学)[1998 年修了]</p> <p>お茶の水女子大学大学院人間環境学(1998 年 4 月～2001 年 3 月)</p> <p>ケースウェスタンリザーブ大学, Dr.Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クーブラント)</p> <p>(2001 年 4 月～2002 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育(2002 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育(2007 年 4 月～2018 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育(2018 年 4 月～)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Award for Excellence to Authors Publishing in Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry in 2000(2001)
所属学会	(社)日本ビタミン学会 (社)日本家政学会 (社)日本調理科学会 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	<p>(研究経歴) アスコルビン酸(ビタミン C)が関与する様々な反応, 生体内におけるアスコルビン酸の酸化分解経路の解明やアスコルビン酸が関与するメイラード反応, 食品の調理加工中におけるアスコルビン酸の動態などを主な研究テーマとする。この他、健康、食文化、食環境(食におけるサステナビリティ)を主な視点として食教育の研究を行っている。</p> <p>・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方</p> <p>(キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育</p>
担当科目	<p>(教養科目)大学入門ゼミ, 食生活と環境</p> <p>(専門科目)食物学概論, 食品衛生管理学, 初等家庭科内容研究, 保育内容の研究(健康), 食生活論, 食生活と健康, 栄養学, 食物学演習, 卒業研究,</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・分担執筆](分担単著)西川陽子(茨城大学健康スポーツ教育研究会編)「心と体の健康」,大修館書店,5-6(2019年01月31日)
2. [研究論文(大学,研究機関紀要)共著]西川陽子・上杉望・森三千歌「伝統的食品保蔵手段の栄養学的評価」,茨城大学教育学部紀要(自然科学),68,93-100(2019年01月29日)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
 1. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・講師(2010年04月～)
- 学外教育
 1. [出前授業]「水戸2高 米粉の利用と調理特性について」,3時間,7名出席,西川陽子
- 地域協力活動
 1. 茨城県庁[学外審議会・委員会等]「地域活性化雇用創造プロジェクト協議会」(2017年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室	氏名 石島 恵美子
---------------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学大学院連合学校 学校教育研究科 家政教育[年その他]
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会 日本調理科学会 日本教授学習心理学会 JAPTL 日本消費者教育学会
専門分野	家政・生活学一般 食生活学 教科教育学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 家庭科教育はすべての学びを生活と結びつけ、生きた学びとすることができます。総合的な応用学問である家庭科教育の可能性を語ることでできる教員を目指して、一緒に学びましょう。(研究経歴) 高校生が社会の中で有機的に結びついて家庭生活を送る資質を持つことができることを目標に研究を進めている。高校生の社会参画意識構造を明らかにし、それを基礎資料として高校家庭科の授業を再構築を行っている。</p> <p>高校生の社会参画意識を高める活動を主軸に研究しています。家庭科の授業内での教材や指導法の研究のほか、課外活動の中での可能性を提案しています。茨城県の郷土料理の研究調査を行い、地域活性システムの構築を研究しています。現在、常総市と連携をし、家庭内の食品ロス削減の調査を行っています。食品ロス削減行動を通じた社会参画教育を行っています。</p> <p>(キーワード) 家庭科 調理学 社会参画 食品ロス 授業研究 家庭クラブ 部活動 ホームプロジェクト 郷土料理 消費者市民</p>
担当科目	<p>(専門科目) 初等家庭科内容研究, 中等家庭科教育法Ⅱ, 初等家庭科教育法研究, 初等家庭科内容研究, 初等家庭科教育法+初等家庭科教育法研究, 調理学基礎, 家庭科教育学演習Ⅰ, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 家庭科教育特論Ⅰ, 家庭科教育演習Ⅰ</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [【査読あり】] 石島恵美子「家庭内食品ロス削減行動の規定因」, 日本消費者教育学会, 39, 55-64, (2019)
2. [【査読あり】] 石島恵美子「高校生の社会参画意識向上を目指した講演会の手立ての検討: 講演会で話を聞くことが好きではない生徒の学びに注目して」教授学習心理学研究, 14(2), 57-65,

2019.

3. [【査読あり】]東京都立高等学校家庭科における班別学習（少人数編成授業）の経緯と実態調査

野中 美津枝，亀井 佑子，新山 みつ枝，荒井 きよみ，荒井 智子，石島 恵美子，真田 知恵子，高橋 礼子，吉野 淳子 日本家庭科教育学会誌 61(1), 12-22, 2019

4. 石島恵美子, 他都道府県の著作委員, 伝え継ぐ日本の家庭料理「汁もの」40, 農山漁村文化協会,

2019.

5. 石島恵美子, 他都道府県の著作委員, 伝え継ぐ日本の家庭料理「味噌」40, 農山漁村文化協会, 2019

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・] 石島恵美子「年代別家庭内食品ロス削減意識」日本消費者教育学会全国大会札幌[2019年10月6日]

2. [ポスター発表・(共同)] 飯村 裕子, 渡辺 敦子, 荒田 玲子, 石島 恵美子「茨城県の調査地域における副菜の特徴」大会研究発表要旨集[2019年08月27日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 茨城県エコレシコンクール審査委員長

2. 「文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者(高校家庭)」[委員]

○ 兼業・兼職

1. [公開講座] 茨城大学・ものづくりの学びネットワーク・講師(2018年11月～)

2. [出前授業] 葵陵高等学校・講師(2017年09月～)

3. [公開講座] 茨城大学附属幼稚園・講師(2017年06月～)

4. [兼業] 竜ヶ崎第二高等学校・学力向上委員(2017年04月～2019年03月)

5. [公開講座] 鎌ヶ谷市北部公民館・講師(2017年02月～)

6. [兼業] 文部科学省・文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者(高校 家庭)(2017年01月～)

7. [公開講座] 茨城県立茨城東高等学校・講師(2016年11月～)

8. [その他] 全国家庭クラブ連盟全国研究発表会・来賓(2016年08月～)

9. [兼業] 茨城大学・「おとなの食育」講師(2016年06月～)

10. [兼業] 茨城県竜ヶ崎第二高等学校・いばらき高等学校学力向上推進総合事業に関わる学力向上運営指導委員(2016年06月～)
11. [兼業] 公益社団法人茨城県青少年育成協会・若者チャレンジ社会参画審査員(2016年01月～)
12. [兼業] 文部科学省・学習指導要領実施状況調査 分析委員(2016年01月～)
13. [兼業] 全国高等学校家庭クラブ連盟・全国高校生ホームプロジェクトコンクール審査員(2015年11月～)
14. [兼業] 茨城町・茨城町まち・ひと・しごと創生有識者(2015年04月～)
15. [公開講座] 茨城大学附属図書館・講師(2015年01月～)
16. [その他] 茨城大学附属小学校・指導助言者(2014年01月～)
- 学協会での役職
2. 茨城県教育委員会, 学力向上委員(2017年04月～2019年03月)
3. 全国高等学校家庭クラブ連盟, ホームプロジェクトコンクール審査員(2016年11月～)
4. 茨城町, まち・ひと・しごと創生有識者会議(2015年04月～)
- 講演会・シンポジウム
1. 「茨城県立茨城東高等学校「道徳」および「道徳プラス」, 茨城東高校(茨城東高校)[招待講演](2019年11月)
2. 「水戸葵陵高等学校「Iからはじめよ」(国内)」, 水戸葵陵高等学校(水戸葵陵高等学校)[招待講演](2019年10月)
3. 「茨城県立緑岡高等学校 SSH 研究発表大会 指導助言」, 茨城県(水戸市市)[講師](2019年12月)
- 地域協力活動
1. [学外審議会・委員会等]「まち・ひと・しごと創生有識者会議」(2015年07月～)
2. NPO 法人フードバンク茨城「フードバンク」『食品ロス研修会&サルベージ・パーティ』(2018年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費](代表)「高校家庭科調理実習カリキュラムの開発」, 435万円 (2019年04月01日～2021年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室

氏名 佐藤 裕紀子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政 家庭経営[1991年03月卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間発達学[2004年03月単位取得満期退学]
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会 日本家政学会家族関係学部会 日本家政学会生活経営学部会 日本家族社会学会 日本家庭科教育学会 大学家庭科教育研究会 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	家政・生活学一般
教育研究概要	(キーワード)家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(専門科目)家族とジェンダー、家庭経営学概論、初等家庭科内容研究、家事労働論、現代家族論、卒業研究(教育:4単位)、家庭経営学演習(1単位) (大学院科目)初等生活科学総合研究、家族関係学特論、家族関係学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]日本家政学会編『現代家族を読み解く12章』,丸善出版,pp.10-11(2018年10月30日)
2. [単行本(学術書)・単著](一社)日本家政学会家政学原論部会編『やさしい家政学原論』,建帛社,pp.39-49(2018年05月25日)
3. [研究論文(大学,研究機関紀要)共著【査読あり】]加賀恵子、妹尾理子、大矢英世、檜府暢子、西原直枝、井元りえ、佐藤典子、佐藤裕紀子、志村結美「家庭科の授業をESDとして展開するためのチェックシートの開発と有効性の検討」,『日本家庭科教育学会誌』61, 3, 139-151(2018年11月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

<p>1. 東京家政大学看護学部 非常勤講師(女性と社会生活)(2015年4月～)</p> <p>2. 大成女子高等学校専攻科 非常勤講師 (家族社会学)(2015年4月～)</p> <p>○ 学協会での役職</p> <p>1. 日本家政学会家族関係学部会, セミナー担当委員(2018年10月～2020年10月)</p> <p>2. 日本家政学会家族関係学部会, 編集委員(2016年10月～2020年10月)</p> <p>3. 大学家庭科教育研究会, 事務局庶務担当(2016年10月～2019年09月)</p> <p>4. 日本家庭科教育学会, 編集委員(2015年07月～2019年07月)</p> <p>○ 地域協力活動(行政機関等)</p> <p>1. [学外審議会・委員会等]水戸市子ども・子育て会議 委員(2014年04月～)</p> <p>2. [学外審議会・委員会等]結城市男女共同参画基本計画推進委員会 特別委員(2017年5月～)</p> <p>○ 地域協力活動(その他)</p> <p>1. 第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科教育研究大会 講師(2018年10月30日)</p> <p>2. 茨城県教育研修センター研究発表会 講師(2018年12月26日)</p> <p>3. 茨城県高等学校学校家庭クラブ連盟第66回研発表大会 審査員(2019年1月)</p>

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

<p>○ 競争的資金の獲得</p> <p>1. [科研費](分担)「消費者市民社会の持続可能性を支える環境意識の形成過程に関する研究」, 455万円 (2017年04月01日～2021年03月31日)</p>

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 猪井 新一

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	<p>福島大学大学院 教育学研究科 教科教育(英語)専攻修士課程[1991年03月修了]</p> <p>東北大学大学院 情報科学研究科 人間社会情報科学(後期博士課程)[2008年09月修了]</p> <p>千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年4月～1993年3月)</p> <p>奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年4月～2001年9月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001年10月～2004年3月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004年4月～2005年3月)</p> <p>会津大学短期大学部・教授(2005年4月～2007年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2007年4月～)</p>
学位	博士(学術)[東北大学大学院] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会 全国英語教育学会 全国語学教育学会(JALT) 大学英語教育学会(JACET) 小学校英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略 小学校英語教育 外国語教育
担当科目	<p>(教養科目) Integrated English IIIA</p> <p>(専門科目) 英語科教育法研究 I, 英語科教育法 I, 英語科教育法 I (人文社会学部)、英語科教育法 III, 英語科内容研究, 小学校英語 I A, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 英語科授業設計, 英語教育学特論 I, 英語教育学演習 I, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著] Shin'ichi Inoi "QUALITATIVE ANALYSIS OF PRIMARY SCHOOL ENGLISH LESSONS IN JAPAN IN TERMS OF STUDENTS' ENJOYMENT AND MOTIVATION LEVELS", The Eighth CLS International Conference (ClaSIC2018) Proceeding Papers, 60-71 (2018年12月08日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] "QUALITATIVE ANALYSIS OF PRIMARY SCHOOL ENGLISH LESSONS IN JAPAN IN TERMS OF STUDENTS' ENJOYMENT AND MOTIVATION LEVELS" The Eighth CLS International conference (CLaSIC 2018)Shaw Foundation Alumni House, National University of Singapore[2018年12月06日]
2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 猪井 新一「学級担任主動の英語授業を目指して」茨城大学小学校英語指導講習会茨城大学教育学部[2018年11月13日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議] 「児童の好む英語の授業とはどのような特徴をもつのか」第44回全国英語教育学会京都研究大会京都市(龍谷大学)[2018年08月26日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「児童の高好意度英語授業と低好意度英語授業の比較一振り返り分析を通して」第18回小学校英語教育学会(JES)長崎大会長崎市(長崎大学)[2018年07月29日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 全国英語教育学会, ARELE査読委員(2012年04月～), JACET 教育問題研究会査読委員

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール(シンガポール国立大学)[国際学会出席及び研究成果発表](2018年12月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(分担)「認知処理プロセスを踏まえた小学生における英語読み習得に向けた支援方法の検討」, 377万円(2018年04月01日～2021年03月31日)
2. [科研費]基盤研究(C)(代表)「小学校児童の好む英語の授業と嫌いな英語授業の質的分析」, 182万円(2016年04月01日～)
3. [科研費]基盤研究(c)(分担)「Assessing Foreign Language Activity Assistants' perspectives on primary Foreign Language Activities」, 338万円(2016年04月01日～2020年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室	氏名 君塚 淳一
---------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	中国短期大学英語英文科専任講師(1993年4月～1997年3月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年4月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年3月) 茨城大学教育学部教授(2006年4月～)
学位	
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2004) 第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998)
所属学会	英文学会 黒人研究会 英米文化学会 日本マラマッド協会 アメリカ学会 アメリカ文学会 ポップカルチャー学会 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学・アメリカ文化
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>
	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)Advanced English III B, 人間・文化系科目+コミュニケーションと芸術文化</p> <p>(専門科目)英米文学特講IV/アメリカ社会論, 英米文学概論A/英米文学概論II/アメリカ文学史, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 映像作品と時代そして文</p>

	化的背景, 英米文学演習Ⅳ, 英米文学特講Ⅲ, 言語と文化の諸相, 卒業研究 (大学院科目)英米文学特論Ⅰ, 地域教育資源フィールドスタディ, 英米文学演習 Ⅰ, 言語と文化総合研究, 授業展開ケーススタディ
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 青山学院女子短期大学・非常勤講師(1995年04月～)

○ 学協会での役職

1. 英米文化学会, 理事長(2017年04月～)

2. 多民族研究学会, 副会長(2012年04月～)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立取手第一高校(連携協定あり)(2009年06月～)

2. 茨城県立水戸桜の牧高校(連携協定あり)(2007年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 小林 英美

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	<p>早稲田大学 教育学部 英語英文学科[1990年卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻[2001年修了]</p> <p>法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990年4月～1991年3月)</p> <p>国土舘大学・非常勤講師(1993年4月～1995年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部助手(1994年4月～1996年3月)</p> <p>茨城県立医療大学・非常勤講師(1995年4月～2003年3月)</p> <p>東邦大学・非常勤講師(1996年4月～1997年3月)</p> <p>日本学術振興会特別研究員(1997年4月～1999年3月)</p> <p>学習院大学・非常勤講師(1999年4月～2003年3月)</p> <p>東京国際大学・非常勤講師(2000年4月～2003年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000年4月～)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2003年4月～2015年3月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(面接授業)(2014年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2015年4月～)</p> <p>早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(2015年4月～)</p>
学位	文学士[早稲田大学] 教育学修士[早稲田大学] 学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会 欧米言語文化学会 日本ジョンソン協会 早稲田大学英語英文学会 日本英文学会 イギリス児童文学会 日本イギリス児童文学会 日本カレドニア学会
専門分野	英米・英語圏文学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) 研究分野においては、主に18-19世紀英国の文学と文化を専門としている。特に当時の読者の文学受容の歴史の実態と文学への影響を、予約購読者一覧を利用して明らかにしようとしている。教育分野においては、英文学特に英詩への関心を、音読の実習や、入門としての童謡・童話の授業、映像・音声教材を利用することによって、増幅させようとしている。</p> <p>18-19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。研究においては、18-19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行なっている。教育においては、英詩の魅</p>

	<p>力を、①音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。②伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード) イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本屋、定期刊行物、岡倉覚三(天心)</p>
担当科目	<p>(教養科目) Integrated English II B, 人間と文学・芸術+コミュニケーションと芸術文化, 英語で学ぶ日本文化</p> <p>(専門科目) 英米文学特講 II, 英米文学特講 I, 英米文学概論 B, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学・文化演習(児童文学)+英米文学演習 I, 英米文学・文化演習 B, 言語と文化の諸相, 異文化理解実習(集中), 中等英語科の内容と実践, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 英米文学特論 II, 地域教育資源フィールドスタディ, 英米文学演習 II, 言語と文化総合研究, 研究と教育一知の往還をめぐって一, 特別課題研究</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著] 小林英美「ジョン・マリー社による『東洋の理想』出版の意義」, 五浦論叢, 25, 1-10(2018 年 11 月 30 日)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ ディスカッション(指名)・国内会議(単独)] 小林英美「イギリス・ロマン派と教育」イギリス・ロマン派学会・第 45 回全国大会シンポジウム, 大妻女子大学[2019 年 10 月 19 日]

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 早稲田大学エクステンションセンター, 6(時間/月)(2015 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 早稲田大学教育学部(2007 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 茨城大学教育学部 異文化研究会, 編集委員(2016年04月～)
 2. イギリス・ロマン派学会, 理事(2014年04月～)
 3. 欧米言語文化学会会長(2019年04月～)
- 講演会・シンポジウム
1. 「土曜アカデミー:岡倉天心セミナー(第5回)「世界の“OKAKURA”誕生 岡倉の最初の英語著作と日本趣味」(国内)」, 茨城大学五浦美術文化研究所(茨城大学図書館)[](2018年11月)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス チェルトナム、ロンドン(グロスターシャー・コレッジ、ロンドン市内)[語学研修引率](2019年2月～3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

19世紀英国予約購読形式出版と読書施設の相関が文芸出版文化の興隆に果たした役割
(2019/04/01-2022/03/31)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 齋藤 英敏

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程英文科[1989年03月卒業] Colorado State University Department of English Teaching English as a Foreign/Second Language (Fort Collins, CO, USA) [1994年05月修了] The Ohio State University Department of Educational Studies, College of Education Foreign and Second Language Education (Columbus, OH, USA) [2000年06月修了]</p> <p>立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999年4月～2000年3月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000年4月～2003年3月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004年4月～2006年3月) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006年4月～)</p>
学位	<p>Master of Arts (TESOL)[Colorado State University, Department of English, Teaching English as a Foreign/Second Language Program] PhD[The Ohio State University, Department of Educational Studies, Foreign and Second Language Education Program]</p>
受賞歴	なし
所属学会	全国英語教育学会 National Council on Measurement in Education 全国語学教育学会 大学英語教育学会 日本言語テスト学会 日英・英語教育学会
専門分野	外国語教育 教科教育学
教育研究概要	<p>外国語教育での評価、テスト、外国語学習</p> <p>(キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導、教師教育</p>
担当科目	<p>(教養科目)Integrated English II A (専門科目)英語科教育法Ⅱ/英語科教科論Ⅱ, 英語コミュニケーションD, 英語コミュニケーションXⅡ, 英語科教育法Ⅱ, 英語科教育法研究Ⅱ, 英語科教育法特講, 卒業研究 (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育学特論Ⅱ, 英語教育学演習Ⅱ</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] Saito, H. "Assessing formatively in CLIL-oriented junior high EFL lessons in Japan: A preview." Assessment for learning (AFL) Symposium 東海大学 高輪キャンパス[2018年10月20日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 茨城県立玉造工業高等学校, いばらき高等学校学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員会外部評価者(2016年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「高大接続シンポジウム 英語4技能、どのように学びどのように測るか(茨城大学)(国内)」, (茨城大学)[パネリスト](2018年08月)
2. 「平成30年度道徳科・英語科・情報教育にかかる公開授業研究会(茨城大学附属小学校)「歌」と「読み聞かせ」と「ゲーム活動」は役にたつの?」(国内)」, 茨城大学附属小学校[招待講演](2018年07月)

○ 地域協力活動

1. 「教員免許更新講習講師」(2009年08月～)
2. [地域貢献事業]「教員免許認定講習講師・運営委員」(2016年04月～)
3. [地域貢献事業]「平成30年度茨城県英語インタラクティブフォーラム審査委員長」(2018年08月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

2014年～2018年度 科学研究費補助金(基盤C・課題番号 26381175)「英語ディスカッション力育成のための指導と評価改善のための組織的試み」(代表・齋藤英敏)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室

氏名 安原 正貴

教員履歴など

現職	講師
学歴・職歴	
学位	博士(言語学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	近代英語協会 英米文化学会 英語語法文法学会 筑波英語学会 日本英語学会
専門分野	英語学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)Advanced English II A, 大学入門ゼミ, Advanced English II B (専門科目)英語学概論II, 学校英文法/英文法, 英語学演習A, 英語学概論A+ 英語学概論I, 英語学演習II (大学院科目)英語学特論I, 言語と文化総合研究, 英語学演習I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著【査読あり】]Masaki Yasuhara "A Corpus-based Analysis of Marked Anti-causatives in English", Data Science in Collaboration, 3(2019年12月31日)</p> <p>2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]安原 正貴"Two Types of Small Clauses and Manner/Result Verb Classes", 英米文化, 49, 0, 21-41(2019年04月01日)</p> <p>3. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著【査読あり】]Masaki Yasuhara "Small Clauses Further Specifying Verbal Meaning", JELS, 36, 216-222(2019年03月01日)</p> <p>4. [研究論文(国際会議プロシーディングス)単著【査読あり】]Masaki Yasuhara "Break a Branch off a Tree: An Account Based on Further Specification", JELS, 36, 315-321(2019年03月01日)</p> <p>5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]Naoki Miyamoto and Masaki Yasuhara "An Investigation of English Terminology in Science Textbooks for Elementary School", Research paper (bulletin of university, research institution), 68, 91-102(2019年01月31日)</p>

研究業績(2)学会発表など

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「日本語と英語の反使役動詞について」第7回筑波英語学若手研究会 奈良女子大学[2019年09月02日]</p>

2. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] 「A Corpus-based Analysis of Marked Anti-causatives in English」The 2nd OSU-Tsukuba Joint Linguistics Workshop & Data Science in Collaboration on Language (DaSiC) 2019 筑波大学[2019年07月04日]
3. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] “Two types of anti-causatives in English: A cross-linguistic perspective” ELSJ 12th International Spring Forum 2018[2019年05月02日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
1. 「茨城県教育研究連盟」[監事]
- 地域協力活動
1. [その他公的社会活動]「令和元年度「教員免許状更新講習」」(2018年06月09日)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費]若手研究(B)(代表)「修飾要素を用いた自他交替の対照言語学的研究」, 351万円
(2016年04月01日～2019年03月31日)

学校教育教員養成課程 教科教育コース 英語教育教室	氏名 小林 翔
---------------------------	---------

教員履歴など

現 職	助 教
学歴・職歴	関西大学大学院 外国語教育学研究科 授業実践学専攻[2007年03月修了] 東京都公立高等学校教諭 主任教諭(2007年4月～2018年2月) 明星大学 通信教育部 非常勤講師(2014年4月～2015年3月) ブリティッシュコロンビア大学 東京都教育委員会海外派遣(2017年6月～2017年8月) 茨城大学 教育学部英語教育教室 助教(2018年3月～)
学位	修士(外国語教育学)[関西大学大学院外国語教育学研究科]
受賞歴	読売教育賞・外国語異文化理解部門・優秀賞(2016) 東京書籍教育賞入選(2017) 第26回(平成25年度)英検研究助成・実践部門入賞(2013)
所属学会	児童英語教育学会 英語授業研究学会 小学校英語教育学会 全国英語教育学会 外国語教育メディア学会 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	外国語教育 英語授業実践学 (キーワード)外国語教育 発音指導 ルーブリック SCMC
担当科目	(教養科目)Advanced English IA, Advanced English IB (専門科目)英語科教育法研究Ⅰ, 英語科教育法Ⅱ/英語科教科論Ⅱ, 英語コミュニケーションⅩⅡ, 英語コミュニケーションP+英語コミュニケーションⅢ, 英語科教育法Ⅰ, 小学校英語ⅠB, 英語科内容研究, 英語科の内容と実践, 英語コミュニケーションR (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育学特論Ⅰ, 英語教育学演習Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [映像・共著] 静哲人、正頭英和、小林翔「英語授業の心技愛」, ジャパンライム 映像教材 JLC オンデマンド, (2018年08月)
2. [映像・単著] 小林翔「英語教育達人セミナー 2017冬 in 大阪 授業実践ビデオ」, ジャパンライム 映像教材 JLC オンデマンド, (2017年012月)
3. [映像・単著] 小林翔「英語授業の達人セミナー 『高校英語のアクティブラーニング』授業実践ビデオ」, ジャパンライム 映像教材 JLC オンデマンド, (2017年012月)

4. [著書・単著]小林翔 即興的なスピーキング力を育成するには『英語教育』, (2017年08月)
5. [著書・単著]小林翔「人でできる音読方法-レベル別音読を習慣化して英語表現を定着させる-」, (2018年02月20日)
6. [著書・単著]小林翔「スマホとインデックスカードを活用して語彙力を増強」, (2018年03月20日)
7. [著書・単著]小林翔「校外国語新学習指導要領を実践する-英語の「見方・考え方」を働かせた「深い学び」-「目的・場面・状況を意識させる文法指導の工夫」, (2019年10月01日)
8. [著書・共著]静哲人、正頭英和、小林翔「英語授業の心技愛」, 英語授業の心・技・愛-小中高大で変わらないこと-, (2014年12月01日)
9. [著書・単著]小林翔「英語のアクティブ・ラーニング-成功する指導技術&4技能統合型活動アイデア50」, (2017年02月01日)
10. [著書・単著]小林翔「英語のアクティブ・ラーニング-生徒のやる気を引き出すモチベーションマネジメント50-」, (2018年03月01日)
11. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著【依頼/招待】]小林翔「小中連携における教員意識調査-小学校教員研修 外国語(英語)コア・カリキュラムと中・高等学校教員研修 外国語(英語)コア・カリキュラムの観点から-」, (2019年09月22日)
12. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔「スカイプを用いたオンライン英会話学習によって上級学習者に見られるスピーキング不安と自己効力感の変容-事例研究-」, (2019年08月17日)
13. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔「スカイプを活用したやり取りがスピーキング力と不安に与える効果-準備型と即興型の比較-」, (2019年08月10日)
14. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]Sho Kobayashi “The Effects of Skype-based video chat on Students’ Unwillingness to Speak English in Scripted and Unscripted Lesson Groups”
, (2019年08月06日)
15. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔「小学校英語における国際理解教育を育む教科横断型の実践」, (2019年07月20日)
16. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]荒川智・栗山賢司・君塚淳一・猪井新一・齋藤英敏・小林英美・安原正貴・小林翔・入之内昌徳・虻川幸平「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施」事業成果報告書, 「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施」事業成果報告書, 1-12, (2019年03月20日)
17. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著【依頼/招待】]Sho Kobayashi “The role of a NEST(native English speaking teacher) to integrate language skills: Listening, Reading, Writing, Spoken production and Spoken interaction in the classroom.”, Teaching Communicative English: Integrating Speaking, Listening, Reading and Writing ALT Skills Development Conference, 8 (2018年12月11日)
18. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔「ループブックを活用した生

- 徒による相互評価と教員評価の比較」, (2016 年 08 月 20 日)
19. (MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]東京都研究開発委員会報告書
高等学校外国語, (2016 年 03 月 20 日)
20. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔「発音の誤りへの気づきと修正を取り入れた授業実践とその効果」, (2015 年 08 月 20 日)
21. (MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著] 思考力・判断力・表現力等を育むための話すことを中心としたタスク活動と評価, (2015 年 03 月 20 日)
22. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]小林翔 『個別式発音指導法(グルグルメソッド)を取り入れた授業実践とその効果』, (2014 年 08 月 20 日)
23. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「課題解決型学習が英語学習意欲や態度に及ぼす影響— テキストマイニングによる分析 —」茨城大学教育実践研究紀要, 38, 61-74 (2019 年 10 月 23 日)
24. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小林翔・田淵香奈子「高校生の英語学習に対する協同学習の効果-マシュマロ・チャレンジの実践報告-」, 38, 75-87(2019 年 10 月 23 日)
25. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]笹島大地・小林翔 「Timed Writing 活動がライティング力と意識に与える効果」, 茨城大学教育学部紀要(社会科学), 69, 223-232(2019 年 08 月 30 日)
26. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「協同学習に焦点を当てた PBL の実践報告」, 茨城大学教育学部紀要(社会科学), 69, 233-242(2019 年 08 月 30 日)
27. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「小学校外国語活動に関する中学校教員の意識調査」, 茨城大学教育学部紀要(社会科学), 69, 209-222(2019 年 08 月 30 日)
28. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「即興的スピーキングに対する中学校教員の意識—教員研修後のアンケート結果から—」, 茨城大学教育学部紀要(社会科学) 69, 243-252(2019 年 08 月 30 日)
29. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「ルーブリックの提示順序がスピーキング力・学習意欲に及ぼす効果 — 中学校 1 年生のインタビュー活動を通して —」, 茨城大学教育実践研究紀要, 37, 139-154(2018 年 10 月 24 日)
30. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林翔 「小学校英語の学習指導要領新旧比較および授業実践」, 茨城大学教育学部紀要(社会科学), 68, 187-206(2018 年 08 月 31 日)
31. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著]小林翔 「ICT とルーブリックを活用した主体的・対話的で深い学びの実践」, 第 17 回ちゅうでん教育振興助成, (2018 年 04 月 27 日)
32. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著]小林翔 「小学校英語教科化に向けた英語発音指導の取り組み—スピーキング不安を軽減する手立て—」茨城大学教育学部異文化研究の会, 2, 19-30(2018 年 03 月 31 日)
33. [(MISC)研究論文単著] 小林翔 「生徒の自己発音モニタリングが正確な発音に与える効果」, (2014 年 11 月 27 日)

研究業績(2)学会発表など

- 1.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]英語授業の達人セミナー講師(招待あり)「Sparks Innovation & Motivation with ICT—promotes authentic learning!—」(2020年01月06日)
- 2.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]北茨城市英語科学習指導法研修会 指導講評(招待あり)「自分の思いや考えを英語で表現する活動を通して、クラスメイトと協働して学び合う楽しさや喜びを味わう学習指導の工夫」(2019年12月06日)
- 3.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等] English Special Seminar『英語学習に対する意識改革はじめての第一歩』鈴鹿中等教育学校(招待あり) (2019年11月09日)
- 4.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等] 茨城県教育研修センター主催「令和元年度 思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座」講師(招待あり) (2019年10月24日)
5. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]取手市教育研究会英語研究部会 講演及びワークショップ「小学校と中学校における英語授業実践について」(取手市福祉会館)(招待あり)(2019年08月02日)
6. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]君津地方教育研究会英語部会 四市一斉研修 講演及びワークショップ 小中連携について(君津健康福祉センター)(招待あり) (2019年06月01日)
7. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]青森県JETプログラム外国語指導助手の指導力向上研修 基調講演(招待あり) (2018年12月11日)
8. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]新潟県立大学英語教育セミナー 講演及びパネルディスカッション 英語科における主体的な学びとは一中高大の連携を目指して(招待あり) (2018年11月23日)
9. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]大阪市立高等学校教育研究会 外国語学部 研究発表会 講演(招待あり) (2018年11月16日)
10. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]茨城大学 小学校英語指導講習会 講師(2018年11月13日)
11. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]茨城県教育研修センター主催「思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座」講師(招待あり) (2018年08月27日)
12. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]茨城県高等学校教育研究会英語部指導法研究委員会研修会 講演及びワークショップ
「アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた生徒のやる気を引き出すモチベーション・マネジメントの一工夫」(招待あり) (2018年08月17日)
13. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]「小学校新学習指導要領で求められる外国語活動、外国語の授業について」 講話東京都小平市教育委員会主催(招待あり) (2018年07月17日)
14. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]君津地方教育研究会英語部会 四市一斉研修 講演及びワークショップ「中高連携、アクティブ・ラーニングについて」(招待あり) (2018年06月02日)
15. [教育方法・教育実践に関する発表、講演等]英語授業の達人セミナー講師「4技能5領域統合型授業におけるレベル別指導実践例」(2018年12月26日)

- 16.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]eラーニングアワード 2017 フォーラム講演「4 技能統合型 高校英語のアクティブラーニング 成功する指導技術&活動アイデア 50」(2017 年 10 月 27 日)
- 17.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]大東文化大学外国語学部主催 英語教員志望者対象特別講演「趣味は授業。夢は日本一の英語教師を養成することに魅せられて」(2017 年 10 月 26 日)
- 18.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]英語授業の達人セミナー講師 「高校英語のアクティブラーニング」(2017 年 06 月 04 日)
- 19.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]東京都専門性向上研修「英語で行う英語の授業のねらいと実践」において講演(2015 年 11 月 12 日)
- 20.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]東京都専門性向上研修「JET 等を活用した英語の授業の意図と実践」において講演(2015 年 11 月 02 日)
- 21.[教育方法・教育実践に関する発表、講演等]アルク主催第 47 回英語の先生応援セミナー講師「話す力を育成するためのスピーキング指導」(招待あり) (2015 年 06 月 12 日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
1. 茨城大学茨城学生国際会議専門委員, 茨城大学茨城学生国際会議専門委員(2018 年 10 月～)
 2. 教育実習委員会, 教育実習委員会(2018 年 03 月～)
- 行政機関等での委員就任
- 「文部科学省委託英語教育推進リーダー中央研修還元研修講師」[英語教育推進リーダー]
令和元年度教育学部委託生(後期)の受け入れ(2019 年 10 月 01 日)
- 教員免許状認定講習 英語教育「英語科指導法Ⅲ」講師(2019 年 08 月 20 日)
- 教員免許状更新講習 選択必修 英語教育「英語技能統合型指導」講師(2019 年 08 月 04 日)
- オープンキャンパス 2019 模擬授業 (2019 年 07 月 27 日)
- 茨城大学図書館土曜アカデミー(茨城大学図書館) 楽しく英語を発音しよう「English アイウエオ」日本語ネイティブのための「英語発音講座」(2019 年 06 月 01 日)
- 茨城大学附属中学校主催 第一回授業研究会 共同研究(2019 年 05 月 30 日)
- 平成 30 年度教育学部委託生(後期)の受け入れ(2018 年 10 月 01 日)
- 教員免許状認定講習 英語教育「英語コミュニケーションⅢ」講師(2018 年 08 月 22 日)
- 教員免許状更新講習 選択必修 英語教育「英語コミュニケーション:帯活動について」講師(2018 年 08 月 05 日)
- オープンキャンパス 2018 模擬授業(2018 年 07 月 28 日)

海外出張・海外研修・内地研修など

「カナダブリティッシュコロンビア大学 海外研修」[2017 年 06 月～08 月]

科学研究費補助金などの受領

若手研究 研究代表者 採択 2019 年～2022 年

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室	氏名 荒川 智
------------------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 障害児教育[1980 年卒業] 筑波大学大学院 教育学研究科 教育学[1988 年修了] 日本学術振興会特別研究員(1988 年 4 月～1989 年 3 月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989 年 4 月～1994 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(1994 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2002 年 4 月～)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996)
所属学会	日本特殊教育学会 日本教育学会 教育史学会 日本特別ニーズ教育学会(SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向 (キーワード)
担当科目	(教養科目)大学入門ゼミ, 生活・福祉系科目+公共社会 (専門科目)特別支援教育原論, 障害児教育学特論 I, 障害児教育総論, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 卒業研究 (大学院科目)特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・分担執筆]『『発達保障論の到達と論点』第 1 章「発達保障とは何か」, 全国障害者問題研究会出版部, pp.20-52(2018 年 11 月 01 日)
2. [単行本(学術書)・共編者]荒川智、中村尚子、菌部英夫編著『『全障研 50 年史』第 2 部第 1 章「全障研の結成と全員修学、養護学校義務制」第 4 章「障害者権利条約、インクルーシブな社会と全障研の役割」, 全国障害者問題研究会出版部, pp.54-65, 87-106(2018 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <ol style="list-style-type: none">1. [非常勤講師] 青森県教育委員会・(2006 年 09 月～)2. [非常勤講師] 茨城県教育委員会・(2006 年 08 月～) <p>○ 学協会での役職</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日本特殊教育学会, 代議員、常任編集委員(2013 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

<p>○ 競争的資金の獲得</p> <ol style="list-style-type: none">1. [科研費]基盤研究(B)(一般)(分担)「戦後における重度重複障害児教育実践の創成に関する歴史研究とアーカイブ化」, 962 万円 (2016 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室	氏名 勝二 博亮
------------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1994年] 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 発達支援[1999年] 日本学術振興会 特別研究員(1998年4月～1998年6月) 茨城大学助手教育学部(1998年7月～2000年3月) 茨城大学講師教育学部(2000年4月～2005年9月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004年2月～2005年2月) 茨城大学助教授教育学部(2005年10月～2007年3月) 茨城大学准教授教育学部(2007年4月～2015年3月) 茨城大学教授教育学部(2015年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学] 教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第14回奨励論文賞(2012)
所属学会	日本LD学会 International Society for Brain Electromagnetic Topography 認知神経科学会 日本脳電磁図トポグラフィー研究会 日本生理心理学会 日本臨床神経生理学会 日本特殊教育学会 日本DCD学会 日本聴覚医学会 International Organization of Psychophysiology
専門分野	実験系心理学 特別支援教育 認知神経科学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間科学【1Q】行動の背景にあるものー心理生理学からわかることー, 人間と心/人間科学【2Q】行動の背景にあるものー心理生理学からわかることー (専門科目)障害児生理学特論Ⅰ, 病弱児の心理・生理・病理/病弱児の生理, 知的障害児の生理・病理/知的障害児の生理/障害児の病理, 特別支援教育基礎演習, 重度重複障害児教育論, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児生理演習Ⅱ, 障害児生理学演習Ⅰ, 障害児生理機能評価法+障害児生理心理学, 知的障害児の生理機能評価法, 修了研究, 卒業研究, 障害児生理学演習Ⅱ (大学院科目)特別支援教育課題発見演習Ⅵ, 特別支援教育課題分析演習Ⅵ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]室橋春光・苧阪満里子「生理心理学と精神生理学 第Ⅲ巻 展開」, 北大路書房, 287-298(2018年05月20日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]阿部友子・勝二博亮・尾崎久記「近赤外線光トポグラフィによる超重症児の触感覚受容評価」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 207-215(2019年01月31日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]田原敬・大場郁海・勝二博亮「知的障害児の歩行運動に音楽が及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 275-284(2019年01月31日)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]臼坂 高司, 葛山 竣介, 勝二 博亮「教示方法の違いがのこぎり引きの切断成績と脳活動に及ぼす影響」, 科学教育研究, 42, 4, 419-428(2018年)
5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]矢口 絵里・田原 敬・勝二 博亮「青年期の聴覚障害者における発語明瞭度の評価」, 聴覚言語障害, 47, 2, 71-80(2018年)
6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]長山 芳子, 勝二 博亮「通常の学級と特別支援学級の相互的アプローチによるADHD児への対人関係支援: 受容的な学級雰囲気づくりと特定の子どもの関係づくりを通して」, LD研究, 27, 4, 466-477(2018年11月)
7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]勝二博亮・山本理沙・内田清香「成長曲線からみたダウン症児における肥満とその支援」, 茨城大学教育実践研究, 37, 155-167(2018年11月30日)
8. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤楓佳・田原 敬・勝二博亮「重度・重複障害児の聴覚評価に関する事例的検討」, 茨城大学教育実践研究, 37, 209-223(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 田原敬・勝二博亮・久保愛恵「聴覚障害者のメロディ知覚一調性感に焦点をあてて」第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2018年10月17日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 久保愛恵・田原敬・勝二博亮・原島恒夫「ききとりに困難を示す幼児における雑音下の単語聴取課題成績」第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2018年10月17日]
3. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(共同)] 奥住秀之・鄭仁豪・田炳雲・荒川智・勝二博亮「韓国における特殊教育(特別支援教育)教員養成・育成の現状と課題」日本特殊教育学会第56回大会[2018年09月22日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 久保愛恵・田原敬・勝二博亮・原島恒夫「特別な支援を要する幼児の雑音下单語聴取」日本特殊教育学会第56回大会[2018年09月22日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤佳奈子・田所美沙紀・田原敬・勝二博亮「幼児用協調運動の困難さチェックリストの開発ーDCDが疑われる事例の描線能力ー」日本特殊教育学会第56回大会[2018年09月22日]

6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 佐藤楓佳・田原敬・勝二博亮「重度・重複障害児の聴性行動反応」日本特殊教育学会第 56 回大会[2018 年 09 月 22 日]
7. [ポスター発表・国際会議(共同)] Manae Kubo, Kei Tabaru, Hiroaki Shoji, and Tuneo Harashima "Speech perception of preschool children in real-life classroom noise" 19th World Congress of the International Organization of Psychophysiology[2018 年 09 月 07 日]
8. [ポスター発表・国際会議(共同)] Hiroaki Shoji, Takayuki Sekiguchi, and Kei Tabaru "Neuro-educational approaches on preferential selection in individuals with intellectual disabilities" 19th World Congress of the International Organization of Psychophysiology[2018 年 09 月 07 日]
9. [ポスター発表・国際会議(共同)] Kei Tabaru, Taichi Hirayama, Takayuki Sekiguchi and Hiroaki Shoji "Three-stimulus auditory oddball tasks with environmental sounds" 19th World Congress of the International Organization of Psychophysiology[2018 年 09 月 07 日]
10. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原敬・吉松美穂・久保愛恵・勝二博亮「雑音が課題遂行中の脳活動に及ぼす影響」第 36 回日本生理心理学会大会[2018 年 05 月 27 日]
11. [ポスター発表・国内会議(共同)] 関口貴之・勝二博亮・田原敬「NIRS からみた二者択一の選好判断に関わる脳活動」第 36 回日本生理心理学会大会[2018 年 05 月 27 日]
12. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 伊藤佳奈子・田原敬・勝二博亮「幼児における協調運動チェックリストの開発」第 2 回日本 DCD 学会学術集会[2018 年 04 月 15 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県学校保健主事会・茨城県学校保健主事会 講師(2018 年 10 月)
2. [兼業] 茨城県立北茨城特別支援学校・専門家派遣事業 講師(2018 年 09 月)
3. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県教育職員免許法認定講習講師(重度重複障害領域)(2018 年 08 月)
4. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県教育職員免許法認定講習講師(病弱領域)(2018 年 08 月)
5. [兼業] 茨城県立勝田特別支援学校・専門家派遣講師(ひたちなか市立三反田小)(2018 年 07 月～2018 年 11 月)
6. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県保育技術協議会助言者(2018 年 04 月～2019 年 03 月)
7. [兼業] 那珂市長・那珂市こども発達支援センター 心理相談員(2017 年 04 月～)
8. [兼業] 茨城県立盲学校・学校評議員(茨城県立盲学校)(2016 年 04 月～)
9. [非常勤講師] 聖学院大学・非常勤講師(2013 年 09 月～)
10. [兼業] 茨城県立盲学校・教科用図書選定委員(2012 年 04 月～)
11. [兼業] 茨城大学・講師(教員免許更新制)(2010 年 08 月～)
12. [兼業] 茨城県教育委員会・ICT 活用推進運営協議会(2016 年～2018 年)

13. [兼業] 茨城県立北茨城特別支援学校・専門家派遣講師(2018 年 09 月)

○ 学協会での役職

1. 日本特殊教育学会, 研究委員会(2018 年 12 月～)
2. 日本 LD 学会, 編集委員(2018 年 11 月～)
3. 日本臨床神経生理学会, 代議員(2017 年 11 月～)
4. 日本特殊教育学会, 代議員(2016 年 09 月～)
5. 日本特殊教育学会, 国際化委員会委員(2016 年 09 月～2018 年 08 月)
6. 日本特殊教育学会, 編集委員(2014 年 09 月～)
7. 日本生理心理学会, 編集委員(2018 年 05 月～)
8. 日本生理心理学会, 評議員(2013 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア ルッカ(IMT School for Advanced Studies Lucca)[国際学会出席及び研究成果発表](2018 年 9 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

基盤研究(B)

挑戦的萌芽研究

基盤研究(C)(分担)

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室	氏名 新井 英靖
------------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学大学院 教育学研究科 障害児教育専攻[1998年修了] 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998年4月～2000年9月) 茨城大学教育学部(講師)(2000年10月～) 茨城大学教育学部(准教授)(2007年10月～) 茨城大学教育学部(教授)(2019年4月～)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校ソーシャルワーク学会 日本発達障害学会 日本教育方法学会 日本特殊教育学会 日本特別ニーズ教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	<p>(研究経歴) 1) 英国の特別な教育的ニーズ概念に関する歴史的研究 この研究では、第二次世界大戦前後から英国が通常学校の学習困難児に対する特別な支援をどのように整備して生きたのかを歴史的に検討する中で、英国において特別な教育的ニーズ概念が提起された背景を追究する。 2) 日本の通常学校における学習困難児に対する実態調査研究および支援方法に関する研究 英国の研究を基盤として、日本の通常学校における学習困難児(不登校児・被虐待児・LD児などを含む)の実態を調査し、今後整備すべき支援方法について検討する。近年、日本においても通常学校で特別な支援を提供しようとする枠組みが提起されたこともあり、日本の特別支援教育体制整備との関連についても言及している。 3) 養護学校の教育課程および教授・学習過程の研究 養護学校(主として知的障害児)の授業づくりに関する全般を扱っている。障害児の教育課程論、教授学習論・教材/教具論・授業評価論・教育内容論などを体系的に研究している。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)生活・福祉系科目/人間とコミュニケーション【1Q】異文化としての子ども理解, 生活・福祉系科目+人間とコミュニケーション</p> <p>(専門科目)肢体不自由児の教育方法, 病弱児の教育方法, 障害児教育学特別研究Ⅰ/特別支援教育課題発見演習Ⅱ, 特別支援教育総合研究, 知的障害児の教育方法, 重度重複障害児教育論, 知的障害児教育実践論, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育演習Ⅱ, 障害児教育学特別研究Ⅱ+特別支援教育課題分析演習Ⅱ, 障害児教育学特論Ⅱ, 障害</p>

児教育学演習Ⅱ, 修了研究, 卒業研究, 障害児教育学演習Ⅱ (大学院科目)特別支援教育の理論と実践, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]新井英靖「困った子は困っている子」論を超える. 鈴木庸裕・新井英靖・佐々木千里編『多文化社会を生きる子どもとスクールソーシャルワーク』, かもがわ出版, (2018年07月20日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小里直通・新井英靖「児童の思考の深化を促す教師の指導技術に関する研究—小学校に勤務する4名の教師へのインタビュー調査を通して—」, 茨城大学教育学部(教育科学), 68, 217-224(2019年01月29日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]遠藤貴則・新井英靖「知的障害特別支援学校の授業づくりに関する質的研究—ミドルリーダーの実践知の質的分析を通して—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 225-241(2019年01月29日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]新井英靖・湯浅恭正・福田敦志・吉田茂孝「地域若者サポートステーション利用者の学びと社会的つながり」, 茨城大学教育実践研究, 37, 181-193(2018年11月)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]根矢悠花・新井英靖「イギリスのディスレキシア・フレンドリー・スクールに関する研究—英国ディスレキシア協会の評価項目を中心に—」, 茨城大学教育実践研究, 37, 195-207(2018年11月)
6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]新井英靖・細川美由紀「特別支援教育における若手教師の実践力育成方法に関する検討—実践的科目を受講した大学院生の授業評価アンケートから—」, 茨城大学教育実践研究, 37, 169-180(2018年11月)
7. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]新井英靖「さまざまな生きづらさをかかえる子ども・青年の学び合い—学習困難児の参加と学びにつながる教科指導の方法—」, 『SNEジャーナル』, 24, 9-23(2018年10月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 鹿嶋市・鹿嶋市特別支援教育推進会議委員委員(2007年06月～)

○ 学協会での役職

1. 鹿嶋市教育委員会, 鹿嶋市特別支援教育推進会議委員(2016年04月～2020年03月)

2. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員(2013年04月～2021年03月)
3. 日本特殊教育学会, 編集委員(2013年01月～2020年08月)
4. 日本発達障害学会, 編集委員(2012年04月～2020年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室	氏名 細川 美由紀
------------------------------	-----------

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1996年03月卒業] 茨城大学 特殊教育特別専攻科[1997年03月卒業] 筑波大学大学院 心身障害学研究科 心身障害学専攻[2004年03月修了] 富士常葉大学 保育学部 講師(2006年4月～2008年3月) 茨城キリスト教大学 文学部 講師(2008年4月～2011年3月) 茨城キリスト教大学 文学部 准教授(2011年4月～2015年3月)
学位	心身障害学[筑波大学]
受賞歴	日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会)第1回奨励論文賞(1999)
所属学会	日本LD学会 日本特殊教育学会 日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会) 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 教育心理学
教育研究概要	(キーワード)発達障害/学習障害/読み書き障害/認知心理学/学習支援
担当科目	(教養科目)人間と心/人間科学【1Q】心理学入門 (専門科目)知的障害児の心理, 障害児心理学特別研究 I, 障害児心理学特論 I, 障害児のアセスメント/障害児心理診断法, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児心理演習 I, 障害児心理学特別研究 II, 障害児心理学演習 I, 発達障害児教育概論, 修了研究, 卒業研究, 障害児心理学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]河内美紀・加藤貴子・細川美由紀「幼児期における欺きの意図理解に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 243-255(2019年01月29日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]河西明日香・細川美由紀「教育学部学生における発達障害者への態度に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 257-273(2019年01月29日) [共著]新井英靖・細川美由紀「特別支援教育における若手教師の実践力育成方法に関する検討—実践的科目を受講した大学院生の授業評価アンケートから—」, 茨城大学教育実践研究, 37, 169-180(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・(共同)] 石井咲姫・細川美由紀「小学生におけるローマ字読み習得と音韻処理能力の関連」日本特殊教育学会第 56 回大会[2018 年 09 月 24 日]
2. [ポスター発表・(共同)] 齋藤ゆみ・室谷直子・細川美由紀・井上知洋・前川久男「小学生の読み書き能力に関連する認知的要因(2)―漢字の読み書きに関する検討―」日本特殊教育学会第 56 回大会[2018 年 09 月 24 日]
3. [ポスター発表・(共同)] 室谷直子・齋藤ゆみ・細川美由紀・井上知洋・前川久男「小学生の読み書きに関連する認知的要因(1)―読みの流暢性に関する検討―」日本特殊教育学会第 56 回大会[2018 年 09 月 24 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 井上知洋・室谷直子・細川美由紀・今中博章・大城貴子・佐藤克敏・北村博幸・前川久男「単語音読の流暢さの発達軌跡: 就学後2年間の縦断調査から」日本教育心理学会第 60 回総会[2018 年 09 月 15 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 地域協力活動

1. 日立市立幼稚園・こども園教育研究会[その他公的社会活動]「幼稚園・こども園教育研究会」(2018 年 11 月～)
2. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「茨城県教育職員免許法認定講習講師」(2018 年 08 月～)
3. 全国幼児教育研究協会[その他公的社会活動]「第12回教員免許状更新講習」(2018 年 07 月～)
4. ひたちなか市立幼稚園教育研究会[その他公的社会活動]「ひたちなか市立幼稚園教育研究会主任研修会」(2018 年 07 月～)
5. 茨城県立水戸飯富特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 30 年度特別支援教育専門家派遣事業(水戸市立酒門小学校)」(2018 年 07 月～2019 年 01 月)
6. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成 30 年度読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座」(2018 年 06 月～)
7. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 30 年度茨城県保育技術専門研修(第1回)」(2018 年 06 月～)
8. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 30 年度新規採用教員研修(幼児教育)第 2 回園外研修」(2018 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室

氏名 田原 敬

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	筑波大学 第二学群人間学類 心身障害学専攻[2007年03月卒業] 筑波大学大学院 修士課程教育研究科 障害児教育専攻[2009年03月修了] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程障害科学専攻[2014年03月修了] 筑波大学 人間系 研究員(2014年4月～2015年3月) 筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 助教(2015年4月～2016年3月) 茨城大学 教育学部 講師(2016年4月～)
学位	修士(教育学)[筑波大学] 博士(障害科学)[筑波大学]
受賞歴	茨城大学学長学術表彰(奨励賞)(2018) 第15回一般社団法人日本聴覚医学会奨励賞(2017) 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科障害科学専攻長賞(2014)
所属学会	日本特殊教育学会 日本聴覚言語障害学会 日本聴覚医学会 日本心理学会 日本生理心理学会 日本臨床神経生理学学会 日本重症心身障害学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学
教育研究概要	(キーワード)特別支援教育/聴覚障害児教育/聴覚活用/オーディオロジー
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目/人間科学【1Q】ことばの発達と障害, 生活・福祉系科目+人間科学 (専門科目)障害児生理学特論Ⅱ, 特別支援教育研究法, 感覚障害児の教育, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児生理演習Ⅰ, 障害児生理学演習Ⅱ, 聴覚障害児の心理・生理・病理+聴覚言語病理, 感覚障害児の生理機能評価法, 修了研究, 感覚障害児の教育, 卒業研究, 障害児生理学演習Ⅰ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [著書・分担執筆]四日市章, 鄭 仁豪, 澤 隆史, ハリー・クノールス, マーク・マーシャーク「聴覚障害児の学習と指導—発達と心理学的基礎—」, 明石書店, 149-153(2018年09月)
- [単行本(学術書)・分担執筆]「よくわかる! 大学における障害学生支援」, ジアース教育新社,

(2018 年 06 月)

3. [研究論文(学術雑誌) 【査読あり】]井口 亜希子, 原島 恒夫, 田原 敬「聴覚障害幼児の言語獲得における指文字の役割に関する文献的考察:一指文字獲得過程と語彙獲得の側面から」, 障害科学研究, **43**, 1, 137-148(2019 年 03 月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]田原敬・大場郁海・勝二博亮「知的障害児の歩行運動に音楽が及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 275-284(2019 年 01 月)
5. [研究論文(学術雑誌) 共著 【査読あり】]矢口 絵里・田原 敬・勝二 博亮「青年期の聴覚障害者における発語明瞭度の評価」, 聴覚言語障害, **47**, 2, 71-80(2018 年 11 月)
6. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]佐藤楓佳, 田原敬, 勝二博亮「重度・重複障害児の聴覚評価に関する事例的検討」, 茨城大学教育実践研究, 37, 209-223(2018 年 11 月)
7. [研究論文(学術雑誌) 共著 【査読あり】]佐々木 銀河, 田原 敬, 五味 洋一, 青木 真純, 宮内久絵, 岡崎 慎治, 野呂 文行, 竹田 一則「オーストラリアの大学における固有の必要条件の調査: 障害学生に対する合理的配慮の提供プロセスの明確化に向けて」, 特殊教育学研究, **56**, 3, 157-168(2018 年 10 月)
8. [研究論文(学術雑誌) 共著 【査読あり】]井口 亜希子, 原島 恒夫, 田原 敬, 堅田 明義「特別支援学校(聴覚障害)幼稚部におけるコミュニケーションの手段に関する研究: 手指の使用に関する質問紙調査を通して」, コミュニケーション障害学, **35**, 2, 64-72(2018 年 08 月)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 久保愛恵, 田原 敬, 勝二博亮, 原島恒夫「ききとりに困難を示す幼児における雑音下の単語聴取課題成績」第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2018 年 10 月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 小林優子, 田原 敬「補聴器装用児と人工内耳装用児の環境音聴取の特徴」第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2018 年 10 月]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 田原 敬, 勝二博亮, 久保愛恵「聴覚障害者のメロディ知覚一調性感に焦点をあてて」第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2018 年 10 月]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 井口亜希子, 原島恒夫, 田原 敬, 堅田明義「言語獲得期の聴覚障害児に対する手指の使用に関する研究一発達段階に応じた指文字の使用特徴」日本特殊教育学会 第 56 回大会[2018 年 09 月]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 佐藤楓佳, 田原 敬, 勝二博亮「重度・重複障害児の聴性行動反応」日本特殊教育学会 第 56 回大会[2018 年 09 月]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤佳奈子, 田所美沙紀, 田原 敬, 勝二博亮「幼児用協調運動の困難さチェックリストの開発ーDCD が疑われる事例の描線能力ー」日本特殊教育学会 第 56 回大会[2018 年 09 月]
7. [・国内会議(共同)] 田原 敬, 塚本明美, 小林優子, 茂木成友「聴覚障害者の環境音認知に関

- する評価法の検討-擬音語の回答に基づいた評価の試み-」日本特殊教育学会 第 56 回大会 [2018 年 09 月]
8. [ポスター発表・国内会議(共同)] 久保愛恵, 田原 敬, 勝二博亮, 原島恒夫「特別な支援を要する幼児の雑音下单語聴取」日本特殊教育学会 第 56 回大会 [2018 年 09 月]
9. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(単独)] 田原 敬「聴覚障害者の環境音認知に関する研究の動向及び今後の展望」日本特殊教育学会 第 56 回大会 [2018 年 09 月]
10. [ポスター発表・国際会議(共同)] Tabaru, K., Hirayama T., Sekiguchi, T., and Shoji, H. "Three-stimulus auditory oddball tasks with environmental sounds" 19th World Congress of Psychophysiology [2018 年 09 月]
11. [ポスター発表・国際会議(共同)] Shoji, H., Sekiguchi, T., and Tabaru, K. "Neuro-educational approaches on preferential selection in individuals with intellectual disabilities" 19th World Congress of Psychophysiology [2018 年 09 月]
12. [ポスター発表・国際会議(共同)] Kubo, M., Tabaru, K., Shoji, H., and Harashima, T. "Speech perception of preschool children in real-life classroom noise" 19th World Congress of Psychophysiology [2018 年 09 月]
13. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬, 吉松美穂, 久保愛恵, 勝二博亮「雑音が課題遂行中の脳活動に及ぼす影響」第 36 回日本生理心理学会 [2018 年 05 月]
14. [ポスター発表・国内会議(共同)] 関口貴之, 勝二博亮, 田原 敬「NIRS からみた二者択一の選好判断に関わる脳活動」第 36 回日本生理心理学会 [2018 年 05 月]
15. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 伊藤佳奈子, 田原 敬, 勝二博亮「幼児における協調運動チェックリストの開発」第 2 回日本 DCD 学会学術集会 [2018 年 04 月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「目黒区東根小学校きこえとことばの教室 顧問」(2015 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア ルッカ (IMT School for Advanced Studies Lucca) [国際学会出席及び研究成果発表] (2018 年 9 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 障害児教育教室	氏名 東條 吉邦
------------------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	<p>東京学芸大学 教育学部[1975年卒業]</p> <p>東京教育大学大学院 教育学研究科 実験心理学専攻[1978年修了]</p> <p>国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979年10月～1992年9月)</p> <p>国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月～1999年3月)</p> <p>国立特殊教育総合研究所分室長(1999年4月～2004年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2004年4月～2017年3月)</p> <p>放送大学客員教授(2006年4月～2011年3月)</p> <p>茨城大学名誉教授(2017年4月～)</p> <p>茨城大学教育学部特任教授(2017年4月～)</p>
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 日本自閉症スペクトラム学会 日本特殊教育学会 日本生理心理学会 日本教育心理学会
専門分野	発達心理学 臨床心理学 実験心理学 教育心理学 特別支援教育
教育研究概要	<p>私は、大学院生の頃から現在までの40年間、自閉症(現在は、自閉スペクトラム症と呼ばれている)の基礎研究と臨床実践・臨床研究を続けている。最近、特に興味をもっている研究課題は、自閉スペクトラム症やADHD(注意欠如・多動症)などの発達障害のある幼児・児童・生徒が急増している現象の実態について分析し、急増の原因を解明するとともに、発達障害の発症率を低下させる方策と症状改善のための方策を確立するという課題である。さらに、「繰り返しや規則的な要素が強いと同時に社会的随伴性のない情報過剰環境に対応(適応)しようとする乳幼児の自発的な行動が、自閉スペクトラム症の発症の原因となっている可能性がある」という私の仮説(JSPS 科研費 JP26590250 の研究成果報告書</p> <p>(https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-26590250/26590250seika.pdf)</p> <p>および編著書『自閉スペクトラムの発達科学、日本発達心理学会編、新曜社、2018年刊』を参照いただきたい)の検証を目的とした研究の推進である。この仮説(試論)を実証することができれば、自閉スペクトラム症の発症の敏感期(好発期)と考えられる早期幼児期(0歳から3歳頃まで)の乳幼児には、繰り返しや規則的な要素が強いと同時に社会的随伴性のない情報過剰環境に適応しようとする自発的な行動を惹起させやすいタブレットやスマホ(これらは、乳幼児でも簡単に操作ができ、満足感を手軽に</p>

	<p>得やすい機器)に見入らせない・聴き入らせない・没頭させないという対処が有効であると提言することができると考えている。また、ADHDや学習障害(限局性学習症:SLD)の好発期と考えられる幼児期(6~7歳頃まで)においても、上記とは若干異なる理由から、タブレットやスマホ(スマートフォン)には見入らせない・さわらせないという対処が有効であると提言することができると考えている。しかしながら、このような対処は、現実的にはかなり難しいので、こうした試みは、医療機関や大学などの専門家の助言をもとに、自治体が主導して地域を定めて実施し、その効果や問題点などを検証することが必要であろうと考えており、共同研究を計画したいと考えている。</p> <p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「発達障害児教育概論」、「特別支援教育特論」、「障害児発達臨床学」、「障害児心理学特論Ⅱ」、「障害児心理学演習Ⅱ」、「知的障害児の病理」、「障害児心理学研究法」などの授業を担当し、これらのコース・専攻科の学生・院生の論文指導にあっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物-心理-社会の統合的アプローチから、自閉スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1)自閉スペクトラムにおける社会性の発達、2)自閉スペクトラム症の発症メカニズムと環境要因、3)アセスメント技法の開発、4)大脳における言語・認知機能発達の研究、5)自閉症児教育に関する研究などを展開している。</p>
	<p>(キーワード)自閉症、自閉スペクトラム症、発達障害、発達環境、社会性の発達、生物-心理-社会アプローチ、臨床発達心理学、認知神経科学</p>
担当科目	<p>(専門科目)障害児心理学特論Ⅱ, 特別な支援を必要とする子どもの教育/特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児心理学演習Ⅱ, 障害児心理演習Ⅱ, 修了研究 (大学院科目)特別支援教育特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Akechi, H., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Hakarino, K., Hasegawa, T. "Mind perception and moral judgment in autism.", *Autism Research*, **11**, 9, 1239-1244 (2018年09月13日)
- [研究論文(大学紀要)共著] 藤野博・山本祐誠・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎, 「自閉スペクトラム症の児童における読書の傾向と心の理論との関係」, *東京学芸大学紀要総合教育科学系 I*, **70**, 479-488. (2019年02月28日)

研究業績(2)学会発表など

- [ポスター発表・国際会議(共同)]Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y., Hakarino, K.

- “ Understanding of indirect replies in children with Autism Spectrum Disorders.” The 2nd Experimental Pragmatics in Italy Conference (XPRAG.it 2018), Pavia (Italy) [2018 年 05 月 31 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)]明地洋典・菊池由葵子・浅田晃佑・東條吉邦・計野浩一郎・長谷川寿一「自閉症者における文脈的情報性に基づく語の意味の推論」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)]浅田晃佑・明地洋典・板倉昭二・大神田麻子・森口佑介・計野浩一郎・東條吉邦・長谷川寿一「自閉スペクトラム症者による他者の行為に対する説明への評価」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)]菊池由葵子・明地洋典・計野浩一郎・東條吉邦・長谷川寿一「自閉症児における顔への注意と手の模倣」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)]高木望帆・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児は ASD 者が作ったストーリーを理解しやすいか?—幾何図形アニメーション解釈課題での検討—」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)]寺田祥子・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における分配行動の特徴と発達」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
7. [ポスター発表・国内会議(共同)]藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「学齢期の ASD 児における心の理論の発達的变化—縦断的調査のデータから—」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
8. [ポスター発表・国内会議(共同)]増山沙織・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児の記憶における自己関連付け効果に関する研究」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]
9. [ポスター発表・国内会議(共同)]松井智子・内田真理子・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児の音韻知覚の特性について」日本発達心理学会第 30 回大会(早稲田大学)[2019 年 03 月 17-19 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市教育支援委員会委員(2017 年 05 月～2020 年 05 月)
2. [兼業] 東洋大学大学院・非常勤講師(2018 年 04 月～2019 年 03 月)

○ 学協会での役職

1. 日本自閉症スペクトラム学会, 理事(2017 年 09 月～2020 年 08 月)
2. 日本自閉症スペクトラム学会, 常任編集委員(2015 年 08 月～2020 年 08 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部教育保健教室(2011年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学] 保健学博士[女子栄養大学大学院]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(2010) 日本公衆衛生学会 優秀演題賞(2009)
所属学会	日本成長学会 日本健康学会 日本健康相談活動学会 日本学校健康相談学会 日本発育発達学会 日本人類学会 日本小児保健学会 中国・四国学校保健学会 日本公衆衛生学会 日本養護教諭教育学会 日本看護研究学会 日本教育 カウンセリング学会 日本思春期学会 日本学校保健学会
専門分野	地域看護学
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 下肢長 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)健康の科学 (専門科目)学校救急看護, 学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 臨床医学・看護学臨床実習, 卒業研究 (大学院科目)学校救急看護学特論, 養護学総合研究, 学校救急看護学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書・分担執筆]「学校における養護活動の展開 改訂5版」, ふくろう出版, (2018年04月01日)
2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Misaki Katsuyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara, Kazuhiro Kogawa"Immune status of representative infectious diseases among Japanese female university students", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **30**, 2(2018年)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa"Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **30**, 1(2018年)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]湯原裕子 斉藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵「心に問題を

抱え保健室に頻回来室する児童への養護活動ー養護教諭に対するフォーカスグループインタビューの分析からー」, 日本養護教諭教育学会誌, **22**, 1, 41-49(2018 年 09 月)

5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Chizuru Mukouyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara"Transitional changes in the prevalence of dental caries in children and preventive strategies: a review of nationwide annual surveys in Japan", Oral Health and Preventive Dentistry, **16**, 2, 107-111 (2018 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 栗野智美, 廣原紀恵「教育学部学生の性に関する知識と指導に対する考えについて」日本学校保健学会第 65 回学術集会[2018 年 12 月]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 奥田紀久子, 大坂京子, 棟方百熊, 廣原紀恵, 郷木義子「喫煙防止教育後の中学生の喫煙に対するイメージの実態」日本学校保健学会第 65 回学術集会[2018 年 12 月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本小児保健学会, 代議員(2012 年 05 月～)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「平成 29 年度新規採用養護教諭研修講座」(2017 年 08 月～)
2. [その他公的社会活動]「平成 29 年度中堅教諭等資質向上研修講座」(2017 年 08 月～)
3. 茨城県教育委員会[学外審議会・委員会等]「県立高等学校において実施するデュアルシステムにおける運営指導員」(2017 年 04 月～)
4. [その他公的社会活動]「高大連携 模擬授業」(2016 年 09 月～)
5. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成28年度10年経験者研修講座(養護教諭)」(2016 年 07 月～)
6. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成27年10年経験者研修講座(養護教諭)」(2015 年 07 月～)
7. [その他公的社会活動]「いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)」(2012 年 03 月～)
8. 「茨城小児保健協会 理事 事務局」(2011 年 08 月～)
9. 日本小児保健協会 評議員(2012 年 04 月～)
10. 茨城県教育研究連盟(2011 年 10 月～)
11. 日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員(2011 年 04 月～)

12. 茨城大学教育学部附属特別支援学校 学校長(2018 年 4 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「養護教諭養成における「学校看護」の教育プログラムの構築」,
468 万円 (2015 年 04 月～2018 年)

養護教諭養成課程	氏名 斉藤 ふくみ
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>北海道教育大学 教育学部旭川分校 養護教諭養成課程[1981年03月卒業]</p> <p>愛知教育大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻学校保健学専修[1983年03月修了]</p> <p>広島大学大学院 保健学研究科 保健学専攻[2006年03月修了]</p> <p>熊本大学教育学部講師(2000年9月～2006年3月)</p> <p>熊本大学教育学部助教授(2006年4月～2007年3月)</p> <p>熊本大学教育学部准教授(2007年4月～2008年3月)</p> <p>茨城大学教育学部准教授(2008年4月～2014年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2014年4月～)</p>
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教師教育学会 日本学校健康相談学会 日本健康相談活動学会 日本養護教諭教育学会 日本学校保健学会
専門分野	教育学 教育学
教育研究概要	<p>3大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較ーテキスト・マイニング手法を用いてー 本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できるとと思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究</p>
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール/大学入門ゼミ, 身体・行動系科目+スポーツ文化, スポーツ文化

(専門科目)養護実践論, 健康相談活動/健康相談活動(健康コース)/健康相談活動(心理コース), 養護活動演習Ⅱ, 養護活動演習Ⅰ, 養護学概論, 卒業研究 (大学院科目)養護教諭論特論, 養護学総合研究, 養護教諭論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など**研究業績(2)学会発表など****研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭教育学会, 編集委員会事務局(2012年04月～)
2. 日本養護教諭教育学会, 理事(2012年04月～)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立太田第一高等学校(連携協定あり)(2016年11月～)
2. 福島県立湯本高等学校(2015年10月～)
3. 茨城県立牛久栄進高等学校(連携協定あり)(2015年08月～)
4. 茨城県立中央高等学校(2013年11月～)
5. 茨城県立水戸第三高等学校(2012年12月～)
6. 茨城県立水戸第二高等学校(2012年10月～)
7. 福島県立いわき光洋高等学校(2012年10月～)
8. 茨城県立日立北高等学校(2012年07月～)
9. 茨城県立水戸第三高等学校(2011年12月～)
10. 福島県立いわき光洋高等学校(2011年11月～)
11. 大成女子高等学校(連携協定あり)(2011年06月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東洋大学 文学部 教育学[1985年卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学[1992年修了] 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月～1992年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	博士(教育学)[東京大学] 博士(医学)[大阪大学] 教育学修士[東京大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006) 日本公衆衛生学会奨励賞(1999) 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994)
所属学会	日本医史学会 日本衛生学会 日本教育学会 日本公衆衛生学会 日本生活指導学会 日本学校保健学会 日本健康教育学会 日本在宅ケア学会 日本教育保健学会 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(教員からのメッセージ) 公衆衛生学、衛生学、学校保健概論などを担当しています。どちらかというと理論的、歴史的、政策論的アプローチを主体としています。ライフワークとしては、日本および関連諸文化における健康思想の変遷を課題としています。とりわけ、「養生論」を中心とした健康文化体系の理論的、実践的特質と、これを視座とした「ケア」の文化を探求しています。著書『健康文化論』『養生論の思想』は比較的引用もされており、現時点での主著と考えています。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と歴史+歴史・考古学, 人間と歴史+歴史・考古学 (専門科目)精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 保健福祉論, 衛生学, 学校保健概論, 学校環境衛生, 養護活動と関連法規, 卒業研究 (大学院科目)教育保健経営特論, 養護学総合研究, 教育保健経営演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単著【依頼/招待】]瀧澤利行「研究デザインと研究方法 ―在宅ケアの研究に取り組むための基本的姿勢―」, 日本在宅ケア学会誌, 22, 2, 42-49(2019年03月31日)

2. [単著【依頼/招待】] 瀧澤利行「学校保健安全活動における実践倫理的課題 学習権保障と健康権保障の関係から」, 公衆衛生, **83**, 3, 190-195(2019年03月15日)
3. [単著【依頼/招待】] 瀧澤利行「知識基盤社会を生き抜く保健の知識とは何か 一身に付けるべき保健の知識を中心とした視点から」, 学校保健研究, **60**, 6, 317-320(2019年02月20日)
4. [単著【依頼/招待】] 瀧澤利行「在宅ケア研究における研究倫理の原則」, 日本在宅ケア学会誌, **22**, 1, 49-56(2018年09月)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

- [その他(単独)] 第 28 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2016 年 07 月)
- [その他(単独)] 第 24 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(2012 年 07 月)
- [その他] 第 19 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(2007 年 07 月)
- [その他] 第 18 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2006 年)
- [その他] 第 12 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2000 年)
- [その他(単独)] 第 17 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(1999 年 07 月)
- [その他] 全日本剣道連盟杖道教士 7 段(1998 年)
- [その他] 第 9 回東京都杖道大会 6 段の部第二位(1997 年)
- [その他(単独)] 第 7 回東京都杖道大会 6 段の部準優勝(1995 年 07 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 放送大学・客員教授, 2(時間/月)(2004年04月～)
2. [兼業] 国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師・(2006年04月～)
3. [兼業] 東洋大学大学院非常勤講師・(2009年04月～)
4. [兼業] 慶応義塾大学非常勤講師・(1999年04月～)
5. [兼業] 國學院大學非常勤講師・(1993年04月～)
6. [兼業] 東京都中央区協働推進会議会長・(2005年06月～)
7. [兼業] 茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長・(2005年04月～)
8. [兼業] 東京都練馬区協働推進会議副座長・(2010年04月～)
9. [兼業] 公益財団法人日本学校保健会・会報編集委員(2010年06月～)

○ 学協会での役職

1. 日本医史学会, 理事(2017年05月～)
2. 日本高齢者虐待防止学会, 理事(2011年07月～)
3. 日本医史学会, 代議員(2011年06月～)
4. 日本教育保健学会, 副理事長(2011年04月～)

5. 日本生活指導学会, 会計監査(2010 年 09 月～)
6. 日本衛生学会, 倫理委員会委員(2008 年 04 月～)
7. 日本在宅ケア学会, 倫理委員長(2007 年 03 月～)
8. 日本教育保健学会, 常任理事(2002 年 03 月～)
9. 日本在宅ケア学会, 理事(2001 年 03 月～)
10. 日本衛生学会, 評議員(2000 年 03 月～)
11. 日本学校保健学会, 理事(1998 年 11 月～)
12. 日本健康教育学会, 評議員(1996 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 古池 雄治
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	防衛庁 防衛医科大学校 医学部 医学科[1990年03月卒業] 防衛庁 防衛医科大学校大学院 医学研究科 成長発達臨床医学[2001年10月修了] 防衛医科大学病院(1990年6月～1992年7月) 防衛医科大学病院(1994年8月～1996年7月) 防衛医科大学医学研究科(1997年10月～2001年9月) 陸上自衛隊第4師団(2001年10月～2003年9月) 自衛隊中央病院(2003年10月～2006年12月) 国立病院機構災害医療センター(2007年1月～2014年3月) 茨城大学教育学部(2014年4月～)
学位	医学博士[学位授与機構]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会 日本小児保健協会 日本小児内分泌学会 日本小児科学会
専門分野	小児科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)健康の科学 (専門科目)臨床医学概論, 母性・小児系臨床医学・看護学, 感覚器系臨床医学・看護学, 精神医学, 外科系臨床医学・看護学, 内科系臨床医学・看護学, 臨床医学・看護学臨床実習, 卒業研究 (大学院科目)教育保健医学特論, 養護学総合研究, 教育保健医学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 笹谷知花、古池雄治「音楽経験と大学での適応行動に関する調査」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 2, 1-8(2019年03月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 斉藤ふくみ、古池雄治、堀江直子、鈴木彩羅、松田芽生「小学校養護実習におけるウェルカムボード(掲示物)作成の効果と課題」, 茨城大学教育実践研究, 37, 225-231(2018年) [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】] 古池雄治「学校における内科的

症状に対するアセスメントと対応」, 学校教育看護研究, **11**, 1, 37-43(2018 年)

4. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著]古池雄治、外赤優奈「学校における性教育と小児科医の責務」, 小児科, **59**, 1, 89-95(2018 年)

5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Misaki Katsuyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara, Kazuhiro Kogawa "Immune status of representative infectious diseases among Japanese female university students", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **30**, 2, 20160038(2018 年)

6. [(MISC)研究論文共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa "Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **30**, 1, 20150121(2018 年)

7. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Chizuru Mukouyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara "Transitional changes in the prevalence of dental caries in children and preventive strategies: A review of nationwide annual surveys in Japan", Oral Health and Preventive Dentistry, **16**, 2, 107-111(2018 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 古池雄治「学校における内科的症状に対するアセスメントと対応」徳島県教職員団体連合会養護教員部研修会徳島県徳島市 [2018 年 11 月 10 日]

2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 古池雄治、秋林雅也、横内裕佳子、藤塚 聡「スギ花粉症に対するアレルギー免疫療法(シダトレン)の併用によりバセドウ病が再燃した 1 例」第 52 回日本小児内分泌学会学術集会東京 [2018 年 10 月 04 日]

3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 古池雄治「心肺蘇生と気道異物の除去の演習」平成 30 年度茨城県特別支援学校連絡協議会第 1 回研修会茨城県鹿嶋市 [2018 年 07 月 25 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 国立病院機構災害医療センター・小児科非常勤医師(2014 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 成長科学協会, 地区委員(成長障害の専門医)(2017 年 07 月～)

2. 日本小児保健協会, 代議員(2016 年～)

3. 茨城県小児保健協会, 会長(2014 年～)

4. 日本小児内分泌学会, 評議員 (2012 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	群馬大学 工学部[1994年03月卒業] 群馬大学大学院 工学研究科[1996年03月修了] 東北大学大学院 薬学研究科[2000年03月修了] 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999年4月～2007年3月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007年4月～2008年3月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008年4月～2009年3月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009年4月～) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 教授(2017年4月～)
学位	博士(薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外(国際学会)派遣(2005) 財団法人 薬学研究奨励財団 海外(国際学会)派遣(2005) 日本薬学会 東北支部 奨励賞(2004)
所属学会	日本再生医療学会 日本学校保健学会 International Eosinophil Society アレルギー・好酸球研究会 日本薬学会 日本アレルギー学会
専門分野	再生医療教育 アレルギー
教育研究概要	(キーワード)再生医療 アレルギー 好酸球 気管支喘息
担当科目	(教養科目)健康の科学 (専門科目)免疫学Ⅱ, 生化学, 解剖生理学概論Ⅰ/解剖生理学, 薬理学, 免疫学Ⅰ, 解剖生理学概論Ⅱ+解剖生理学演習, 卒業研究 (大学院科目)学校安全特論, 養護学総合研究, 学校安全演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]石原研治, 海老沢幸恵「アレルギー性鼻炎理解のための罹患者と健常者のコミュニケーションの在り方」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, **68**, 379-386(2019年01月29日)

研究業績(2)学会発表など

石原研治「教育現場から理解する再生医療」第18回日本再生医療学会総会 シンポジウム「オールジャパンで進めるヒトづくり～企業・教育機関・行政の立場から～」(2019年03月23日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <ol style="list-style-type: none">1. [兼業] 江戸川学園取手高等学校・(2016 年 09 月～)2. [兼業] 江戸川学園取手高等学校・(2015 年 09 月～)3. [非常勤講師] 東京学芸大学・非常勤講師(2011 年 10 月～) <p>○ 学協会での役職</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日本再生医療学会, 代議員(2018 年 11 月～) <p>○ 講演会・シンポジウム</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「第 18 回日本再生医療学会「中高生のためのセッション」(国内)」, [司会・議長・コンビーナ・コーディネータ, 企画・運営](2019 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部大学院[年] 東京大学大学院 教育学研究科 修士課程[年] 東京大学大学院 教育学研究科 博士課程[年] 公益財団法人 労働科学研究所(2005年～2007年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師(2007年～2008年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授(2008年～2013年) 茨城大学教育学部 准教授(2013年～) 茨城大学教育学部 教授(2019年～)
学位	修士(教育学)[東京大学] 博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本時間生物学会 日本学校保健学会 日本発育発達学会 日本公衆衛生学会 日本健康教育学会 日本小児保健学会 茨城県小児保健協会
専門分野	環境生理学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)生体リズム、心身機能評価
担当科目	(教養科目)健康の科学(ライフスタイルと健康) (専門科目)保健科教育法Ⅰ, 保健科教育法Ⅱ, 保健科教育法Ⅲ, 保健科教育法Ⅳ, 保健体育科教育法研究Ⅲ, 保育内容の研究(健康), 体育科内容研究, 小児・思春期保健学, 保健学演習, 教職実践演習(養護教諭), 教職実践演習(教諭), 卒業研究 (大学院科目)ヘルスプロモーション論特論, ヘルスプロモーション論演習, 養護学総合研究, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [その他・]文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編」, 東山書房, (2019年02月) 2. [単行本(学術書)・分担執筆]瀧澤利行(編著)「新版 基礎から学ぶ学校保健(第2版)」, 建帛社, 81-89(2018年04月) 3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]岩崎未来, 青柳直子「中学校に

における部活動の研究 — 養護教諭の役割と保健室の機能に着目して —, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 365-378(2019年01月31日)

4. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]山田美咲, 青柳直子「HPV 感染に関するがん教育の在り方」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 353-363(2019年01月31日)
5. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]大澤愛海, 青柳直子「児童期における男女交際の実態と恋愛観」, 茨城大学教育実践研究, 37, 287-302(2018年11月30日)
6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]西嶋紗英, 青柳直子「中学生における朝の部活動に関する意識調査」, 茨城大学教育実践研究, 37, 273-285(2018年11月30日)
7. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]菊地さおり, 青柳直子「規範意識と主体性を関連させた保健指導の在り方」, 茨城大学教育実践研究, 37, 257-272(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 佐藤亜純, 青柳直子, 瀧澤利行「男性の化粧行動に対する印象と性役割の関連」第 65 回日本学校保健学会[2018年12月]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 青柳直子「幼児期における生活習慣と保護者の認識との関連」第 27 回日本健康教育学会[2018年06月]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭養成大学協議会, 教育課程(カリキュラム)検討委員会及び養成制度(法制度)検討委員会 委員(2018年～)
2. 茨城大学, 茨城大学科学研究費助成事業 申請助言者(2016年～)
3. 日本学校保健会, 学校保健委員会に関する調査委員会 委員(2015年～)
4. 日本学術振興会, 科学研究費委員会専門委員 第1段(書面)審査委員(2015年～)
5. 日本学術振興会, 科学研究費委員会専門委員 第1段(書面)審査委員(2014年～)
6. 日本小児保健学会, 代議員(2014年～)
7. 日本学術振興会, 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会 書面審査員(2013年～)
8. 日本教育大学協会全国養護部門研究委員会, 委員(2013年～)
9. 茨城県小児保健協会, 理事・事務局(2013年～)
10. 日本時間生物学会, 評議員(2010年～)

○ 地域協力活動

1. 「教員免許状更新講習(幼稚園教諭)研修講師」(2016年04月～2019年)

2. 「教員免許状更新講習(養護教諭)研修講師」(2015 年 04 月～2019 年)
3. 「茨城県新規採用研修講座(養護教諭)研修講師」(2014 年 04 月～2019 年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

1. 茨城大学教育学部附属連携研究費補助金（研究代表者）「知的障害児の生活習慣と保護者の健康認識との関連」
2. 茨城大学教育学部研究費特別配分（研究代表者）「通園手段の変更に伴う幼児の生活・運動習慣の変化 ―幼児の生活実態をふまえた運動遊びプログラムの提案―」

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 村野井 均
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>東京教育大学 教育学部 心理学科(東京都文京区)[1978年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 心理学研究科(茨城県つくば市)[1984年単位取得満期退学]</p> <p>弘前学院大学一般教育部 講師(1984年4月～1987年3月)</p> <p>弘前学院大学一般教育部 助教授(1987年4月～1988年3月)</p> <p>福井大学教育学部 助教授(1988年4月～1999年3月)</p> <p>福井大学教育地域科学部 助教授(1999年4月～2004年3月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004年4月～2004年12月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005年1月～2005年9月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005年10月～)</p> <p>茨城大学大学院 学校臨床心理専攻 協力講座教員(2006年4月～2017年3月)</p> <p>茨城大学教育学部附属教育実践総合センター センター長(2010年4月～2012年3月)</p> <p>茨城大学教育学部附属小学校 校長(2012年4月～2015年3月)</p> <p>放送大学学園 放送大学茨城学習センター 放送大学茨城学習センター 客員教授(2016年3月～2020年3月)</p>
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	<p>福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002)</p> <p>福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001)</p>
所属学会	<p>日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本発達心理学会 日本教育心理学会</p> <p>日本心理学会</p>
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) テレビ理解の研究をしています。文字の読み書きと同じように、映像を理解し(読み)、制作する(書き)力を育てるべきだと思っています。理解研究だけでなく、児童・生徒・学生が制作した映像作品をみんなで見る場作り、つまり放送をしています。子どもの絵は、ショッピングセンターや郵便局に張り出して、みんなで見て楽しんでいます。映像作品もみんなで見て、子どもの発達を楽しむ文化を作りたいと思っています。</p> <p>子どものテレビ理解 (ストーリー理解、映像文法の理解、放送技術の理解) 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品を学校と協力して放送する試みと学校への信頼感</p>

	(キーワード) 子どものテレビ理解 メディア・リテラシー テレビ理解 テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送 高齢者のテレビ理解 ザッピング 映像文法 映像の時制表現 子どものテレビ視聴 音と映像の組み合わせ 催眠 暗示とコマーシャル 虚構と現実の区別
担当科目	(専門科目) 子どもの発達, 幼児心理学, 幼児理解の理論と方法, 子どもの発達を知る, 生涯学習とメディア, 教育実践科学研究, 発達の理解 II + 発達の理解 B, メディアと子ども, 発達心理学特講, 卒業研究 (大学院科目) 子どもの発達と学習の過程, 課題発見実習, 学習指導・授業づくりの課題と実践

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [ポスター発表・(単独)] 村野井均「「さわやか 3 組」の時制表現と段落分けの手がかり」日本発達心理学会代 30 回大会東京、戸山[2019 年 03 月]</p> <p>2. [・] 首藤沙耶、村野井均「テレビ番組『逃げるは恥だが役に立つ』のネット戦略に対する若者の評価」日本教育メディア学会代 25 回年次大会鹿児島[2018 年 11 月]</p> <p>3. [・] 村野井 均・藤井 とし子「幼児教育番組における 2次元と3次元の混合の実態」日本教育心理学会第 60 回総会神奈川県日吉市[2018 年 09 月 16 日]</p>

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. [出前授業] 県立伊奈高等学校・茨城県立伊奈高等学校 講師(2017 年 12 月～)</p> <p>2. [出前授業] 茨城県立土浦第二高等学校・茨城県立土浦第二高等学校模擬授業(2017 年 11 月～)</p> <p>3. [出前授業] 茨城県立藤代高校・茨城県立藤代高校模擬授業(2017 年 10 月～)</p> <p>4. [出前授業] 茨城大学・水戸葵陵高等学校模擬授業(2017 年 09 月～)</p> <p>5. [出前授業] 茨城大学・福島県立いわき総合高校講師(2017 年 09 月～)</p> <p>6. [公開講座] 茨城大学・茨城大学公開講座講師(2017 年 07 月～)</p> <p>7. [出前授業] 栃木県立烏山高等学校・(2017 年 06 月～)</p> <p>8. [出前授業] 茨城県立佐竹高等学校・茨城県立佐竹高等学校模擬授業(2017 年 06 月～)</p> <p>9. [出前授業] 茨城県立 伊奈高等学校・茨城県立 伊奈高等学校, 3(時間/月)(2009 年 11 月～)</p> <p>10. [出前授業] 福島県立 白河高等学校・福島県立白河高等学校, 2(時間/月)(2009 年 10 月～)</p>

11. [出前授業] 茨城県立 石岡高等学校・茨城県立石岡高等学校講師, 2(時間/月)(2009年10月～)

12. [出前授業] 学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)・学校法人尚志学園 尚志高等学校, 2(時間/月)(2009年10月～)

13. [出前授業] 青森県青森東高等学校・講師, 2(時間/月)(2007年11月～)

14. [その他] 水戸市教育委員会・講師, 3(時間/月)(2007年03月～)

○ 学協会での役職

1. 独立行政法人 日本学術振興会, 科学研究費委員会専門委員(2017年12月～2018年11月)

2. 日本教育メディア学会, 編集委員(2010年～)

3. 日本教育メディア学会, 常任理事(2006年10月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「映像理解を捉え直すー学習と教育をめぐってー(国内)」, 日本教育心理学会第60回総会(慶応大学)(神奈川県日吉市)[基調講演, パネリスト, 企画・運営](2018年09月)

○ 地域協力活動

1. 茨城高等学校教育研究会 衛生看護部会[地域貢献事業]「神秘現象へ関心を持つ青年たちとつき合うためにー催眠実習ー」『茨城高等学校教育研究会衛生看護部会年次大会』(2016年02月～)

2. 茨城県立清松高等学校(2010年03月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(c)(分担)「メディアインフォメーションリテラシーの構成要素に基づく教育プログラムの開発と評価」, 18万円(2017年04月01日～2020年03月31日)

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 望月 厚志
-----------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	立教大学 文学部 教育学科教育学専攻課程[1978年卒業] 立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻[1987年単位取得満期退学]
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>I. 教育活動 1. 授業関係 ①学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。②大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究Ⅱ, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。2. 学生指導 ①2005年度入学生学年担任, ②委託生指導, ③全学就職センター相談員。3. 学外関係 ①社会教育主事講習(文部科学省), ②栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), ③10年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), ④社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), ⑤茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), ⑥高校での大学模擬授業, 担当。II. 研究活動 ①「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。②「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。③「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。</p>
	(キーワード)
担当科目	(専門科目)中等教育教師論, 生涯学習概論, 生涯学習論, 教育実践科学研究, 卒業研究, 社会教育演習, 卒業研究 (大学院科目)課題発見実習, 地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 小川 哲哉
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1983年03月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1985年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1988年09月中退] 広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻[2005年03月修了] 九州産業大学 教授(2001年4月～2004年3月) 九州産業大学大学院 教授(2004年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部 教授(2010年4月～)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育メディア学会 日本道德教育学会 日本道德教育方法学会 日本ペスタ ロッチャー・フレーベル学会 日本教育学会 教育哲学会
専門分野	教科教育学 教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目+人間とコミュニケーション (専門科目)学校と不登校問題, 教育の本質と理念, 公共性と教育+教育哲学特 講, 教育の本質と理念, 教育実践科学研究, 教育文化の歴史, 卒業研究 (大学院科目)教師のライフステージと資質向上, アクティブ・ラーニングの理論と実 践, 課題発見実習, 校内研修の企画・立案と実践, 学校教育総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・共著]小川哲哉編著「学校現場の理解が深まる教育実習－教え, 教えられる実習のあり方－」, あいり出版, (2019年03月25日)
2. [単行本(学術書)・共著]「教育的関係論の解釈学」, 東信堂, 191-209(2019年03月20日)
3. [単行本(学術書)・単著]小川哲哉「主体的・対話的なく学び>の理論と実践－「自律」と「自立」を目指す教育－」, 青簡舎, (2018年07月18日)
4. [研究論文(学術雑誌)共著]小川哲哉, 石井純一, 長島利行, 渡邊哲郎, 宮本夏海「教科横断型的な教育活動による道德実践に関する研究－茨城県の高校道德の事例を中心に－」, 茨城大学教育実践研究, 37, 303-314(2018年10月24日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] コーディネーター:小川哲哉 登板者:真栄城善之助、古見豪基、杉中康平、柳沼良太「「考え、議論する道德」授業をどのように行うかー深く考える学びのプロセスに向けた多様な方法ー」日本道德教育方法学会第 24 回研究発表大会シンポジウム(琉球大学)那覇市[2018 年 06 月 10 日]
2. [口頭発表(一般)・] 小川哲哉(茨城大学)、石井純一(茨城県教育庁)、宮本夏海(茨城県立小瀬高等学校)、渡邊哲郎(茨城県教育庁)、長島利行(茨城県教育庁)「各教科等との横断的な教育活動を考慮した高校道德の実践」日本道德教育方法学会 第 24 回研究発表大会(琉球大学)[2018 年 06 月 10 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 関東甲信越地区中学校道德教育研究大会 茨城大会, 道德教育スーパーバイザー(2017 年 04 月～)
2. 茨城町総合計画審議会, 委員(2017 年 02 月～)
3. 茨城町都市計画審議会, 委員(2016 年 12 月～)
4. 笠間市教育委員会外部評価委員会, 外部評価委員長(2016 年 10 月～)
5. 茨城県教育委員会, 新しいばらき教育プラン策定懇話会委員(2015 年～)
6. 茨城県, 茨城県総合計画審議会委員(2015 年～)
7. 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会, 理事(事務局長)(2015 年 04 月～)
8. 茨城県教育委員会, 道德教育推進委員会委員長(2014 年～)
9. 日本道德教育方法学会, 理事(研究委員長)(2013 年～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日立市教育委員会 夏季教職員研修会 講話:考え、議論する道德の授業モデル(国内)」, (日立市消防本部)[招待講演](2018 年 08 月)
2. 「行方市教育委員会 なめかた未来塾:道德の教科化に係る研修 講話:考え、議論する小学校道德科授業の在り方(国内)」, (行方市北浦庁舎)[招待講演](2018 年 08 月)
3. 「茨城県教育委員会 高校教育課主催:道德プラスセミナー(第 2 回) 講話:「道德プラス」授業実践の分析 (国内)」, (茨城県教育研修センター)[招待講演](2018 年 08 月)
4. 「土浦市教育委員会 土浦市道德研修講座 講話:「特別の教科 道德」における問題解決的な学習(国内)」, (土浦市二中地区公民館)[招待講演](2018 年 08 月)
5. 「那珂市教育委員会 道德授業づくり研修会 講話:特別の教科 道德の趣旨を生かした授業づくりについて(国内)」, (那珂市役所瓜連支所分庁舎)[招待講演](2018 年 08 月)

6. 「茨城県立鉾田第一高等学校 GSNP(学校の先生になろうプロジェクト)企画 講話:教員養成教育と教師の魅力(国内)」, (茨城県立鉾田第一高等学校)[招待講演](2018年07月)
7. 「つくば市教育委員会 つくば市道徳研修会 テーマ:考え、議論する道徳授業を体験してみよう(国内)」, (つくば市総合教育研究所)[招待講演](2018年06月)
8. 「茨城県教育委員会 高校教育課主催:道徳プラスセミナー(第1回) 講話:道徳プラスの授業のあり方(国内)」, (茨城県教育研修センター)[招待講演](2018年05月)
9. 「茨城町教育委員会「ともそだち塾」 講話:「特別の教科 道徳」の指導について(国内)」, (茨城町役場)[招待講演](2018年02月)
10. 「那珂市教育委員会「特別の教科 道徳」に関する研修会 講話:小学校の検定教科書を使った授業(国内)」, (那珂市中央公民館)[招待講演](2018年02月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(c) (代表)「教師・生徒の言説分析による高等学校討議型道徳授業の理論構築と授業開発」, 364万円 (2017年06月23日～2020年03月31日)

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 佐藤 環
-----------------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	慶應義塾大学 文学部 史学科国史学専攻[1984年03月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1992年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1995年03月単位取得満期退学] 茨城大学教育学部・教授(2012年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	茨城近現代史研究会 中等教育史学会 日本教育史研究会 全国地方教育史学会 教育史学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)藩校教育史, 武芸, 弓術, 試験制度, 近代中等教育史
担当科目	(教養科目)人間と歴史/歴史・考古学【2Q】義務教育だから学校に行かなければならないのか (専門科目)学校教育課程論, 学校と不登校問題, 学校教育課程論, カリキュラム設計, 教育実践科学研究, 幼児教育課程論, 学校外教育・学習活動の理論と実践, 学校教育課程論, 卒業研究 (大学院科目)教育課程編成の計画と実践, 教材研究と授業設計 I, 学校教育と現代社会, 課題発見実習, 学校教育総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤環「昭和戦前期における中等学校弓道教育の実態—『全国中等学校ニ於ケル弓道薙刀ニ関スル調査』の分析を中心に—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 387-402(2019年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤環「学社連携による郷土教育の実践—水戸市立千波小学校制作「千波かるた」の事例—」, 茨城大学教育実践研究, 37, 315-326(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城町立青葉中学校学校評議員」茨城町教育委員会
2. 「水戸市社会教育委員」
3. 「水戸家庭裁判所委員会委員」
4. 「茨城町立青葉中学校学校関係者評価委員」茨城町立青葉中学校長 鈴木純一

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2014年04月～)

○ 学協会での役職

1. 茨城町立青葉中学校, 茨城町立青葉中学校学校関係者評価委員(2017年04月～)
2. 茨城県近現代史研究会, 副会長(2016年04月～)
3. 水戸家庭裁判所, 水戸家庭裁判所委員会委員(2015年11月～2019年10月)
4. 水戸市教育委員会, 水戸市社会教育委員会委員(2015年07月～)
5. 全国地方教育史学会, 常任幹事(2011年05月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [学内共同研究]「茨城県教育の近代化を推進した女性教員の功績に関する教材作成－教育研究機関との連携協力による黒澤止幾と豊田英雄の教育実践の解明－(代表)」, 12万円(2018年09月～2019年03月)

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 神永 直美
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 幼稚園教員養成課程[1983年03月卒業] 東京学芸大学大学院 学校教育学専攻 幼児教育額講座[1991年03月修了] 在アルジェリア日本国大使館附属日本人学校教諭(1983年4月～1985年3月) 茨城大学教育学部附属幼稚園教諭・研究主任・園内教頭(1985年4月～2006年3月) 茨城女子短期大学 保育科(2006年4月～2017年3月)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本乳幼児教育学会 日本ペスタロッチー・フレーベル学会 日本保育者養成教育学会 日本音楽療法学会 日本子ども社会学会 絵本学会 日本保育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 幼児教育 保育 遊び 環境 教育課程 保育者研修 子育て支援
担当科目	(専門科目) 子どもと人間関係, 幼児教育の内容と方法, 保育内容の研究(環境), 保育内容の研究(健康), 保育内容の研究(言葉), 保育内容の研究(人間関係), 保育内容の研究(表現), 教育実践科学研究, 家庭教育と子ども, 卒業研究 (大学院科目) 子ども研究の基礎, 現代教育実践課題, 学校教育総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [教科書・共著]「現代保育者入門ー保育者をめざす人たちへー(改訂版)」, 大学図書出版, pp44-53(2018年04月01日)</p> <p>2. [教科書・共著]「[新版]新しい保育原理」, 大学図書出版, pp51-61 pp103-113(2018年04月01日)</p> <p>3. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著]神永 直美「提案 幼児教育における教育思想の役割 (シンポジウム 教員養成における教育思想の役割)」, 人間教育の探究 : 日本ペスタロッチー・フレーベル学会紀要 = Research on education of man : Bulletin of Japan Society for the Study of Pestalozzi and Frobel, 30, 35-39(2018年)</p> <p>4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]木村由希・中島美那子「ノーバディーズ・パーフェクト・プログラムを用いた園内研修プログラムの検討ーアウトリーチ型参加者対象プログラムの実施からー」, 茨</p>

城大学教育実践研究 37, 37, 327-336(2018 年 11 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)]「保育者・子ども・保護者を大事にする園運営ー園長・管理職へのインタビューから見えてきてこと②ー」第3回日本保育者養成教育学会研究大会東北福祉大学 [2019年03月02日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「保育者・子ども・保護者を大事にする園運営ー園長・管理職へのインタビューから見えてきたこと①ー」第3回日本保育者養成教育学会研究大会東北福祉大学 [2019年03月02日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「関係性を深め、自己省察を生み出す研修の必要性(2)ーリフレクティング・チーム・アプローチの手法を用いてー」日本保育学会 第71回大会宮城学院女子大学 [2018年05月12日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「関係性を深め、自己省察を生み出す研修の必要性(1)ーノーバディーズ・パーフェクトの手法を用いてー」日本保育学会 第71回大会宮城学院女子大学 [2018年05月12日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「東海村子ども・子育て会議」[委員長]
2. 「茨城県就学前教育・家庭教育推進協議会」委員

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「同僚および自己との対話による研修プログラム開発とその効果の検討」2015-10-21-2019-03-31
 「『子育ての社会化』を実現する地域包括支援プログラムの開発とその実践・普及」 2019-04-01-2022-03-31

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 今泉 友里
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	助 教
学歴・職歴	<p>東京大学 教育学部[2006年03月卒業]</p> <p>東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻[2008年03月修了]</p> <p>東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻[2016年03月単位取得満期退学]</p> <p>神奈川大学 経営学部 非常勤講師(2013年～2017年)</p> <p>東京大学 高大接続研究開発センター 特任研究員(2016年11月～2018年2月)</p> <p>横浜国立大学 教育人間科学部 非常勤講師(2016年～2018年3月)</p> <p>和光大学 非常勤講師(2016年～2018年3月)</p> <p>茨城大学 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室 助教(2018年3月～)</p>
学位	修士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)教師教育 教師教育史
担当科目	<p>(教養科目)大学入門ゼミ</p> <p>(専門科目)教育実践と教師, 教師のキャリアデザイン, 学校・地域社会・保護者の連携, 教育実践科学研究</p> <p>(大学院科目)茨城の教育改革と開かれた学校づくり, 校内研修の企画・立案と実践, 学校教育総合研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○学協会での役職

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ アトランタ、ステートカレッジ(シェラトンアトランタホテル、ペンシルバニア州立大学) [国際学会出席及び情報収集、調査] (2019 年 2 月:7 日間)

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	<p>東京芸術大学 美術学部 芸術学科[1976年] 東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1978年] 若関酒造株式会社(1979年4月～1984年3月) いわき市立美術館学芸員(1984年4月～1989年9月) 若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年4月～1991年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年4月～1993年6月) 郡山市立美術館主任学芸員(1993年7月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月) 東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年4月～2002年3月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年4月～) 茨城大学教授(現在に至る)(2000年4月～) 愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年4月～) 茨城大学教育学部附属中学校長(2011年4月～2014年3月) 茨城大学教育学部副学部長(2014年4月～) 茨城大学教育学部附属幼稚園長(2015年4月～)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟 文化資源学会 大学美術教育学会 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的、理論的研究を行うとともに、現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)大学入門ゼミ, 人間と文学・芸術/歴史・考古学【1Q】日本近代美術と西洋, 人間と文学・芸術/歴史・考古学【2Q】日本近代美術と西洋, 人間と文化+楽しい博物館—MUSEUM 入門—+楽しい博物館—MUSEUM 入門— (専門科目)日本美術史特別演習 I, 美術批評論, 日本美術史 I / 日本美術史 / 日本美術史 I / 日本美術史 I / 日本美術史 I, 博物館学Ⅲ(資料論), 表象文化論, 特別演習 I, 美術概論, 美術史概論, 保育内容の研究(表現), 日本美術史</p>

	<p>II, 情報文化論, 博物館実習 II, 情報文化論, 日本美術実地研究, 日本美術史特別演習 II, 古美術実地研究, 情報文化論, 博物館実習 I (校内実習), マルチメディア表現の理論及び演習</p> <p>(大学院科目) 日本美術史研究, 地域教育資源フィールドスタディ, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC) 研究論文単著【依頼/招待】] 小泉晋弥「路傍ノート:「照明用ガス」と「落ちる水」」, ドキュメント 川嶋清 彫刻の黙示 路傍・測・水量, 4-7(2018年)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県立高等学校入学者選抜協議会」茨城県教育委員会高校教育課
2. 「宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会」宇都宮市[副委員長]
3. 「栃木県立美術館作品等収集評価委員会」栃木県立美術館長
4. 「茨城県近代美術館美術資料収集委員会」委員長[委員長]
5. 「日立市博物館美術品収集審査委員会」日立市教育委員会

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県鹿行生涯学習センター・県民大学後期講座講師(2018年10月～2018年12月)
2. [兼業] 日立市・日立風流物展示施設等整備検討委員(2018年07月～2018年12月)
3. [兼業] 公益財団法人 常陽藝文センター・藝文学苑水戸教室講師(2018年06月～)
4. [兼業] さくら市ミュージアム新井寛方記念館・講演会講師(2018年05月)
5. [兼業] 茨城県教育庁高校教育課・高校教育改革に係る県高等学校審議会委員(2017年12月～)
6. [兼業] 茨城県近代美術館・茨城県近代美術館美術資料収集委員会委員長(2017年10月～)
7. [兼業] 栃木県立美術館・栃木県立美術館美術資料選考評価委員会副委員長(2016年12月～)
8. [兼業] 茨城県商工労働観光部観光局観光物産課・茨城県伝統工芸士認定制度検討会委員(2015年06月～)
9. [兼業] 茨城県立笠間高校・学校評議員(2015年06月～)
10. [兼業] 公益財団法人 日本美術院・大臣賞選考に関する外部委員(2012年05月～)
11. [その他] 宇都宮市美術館・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会(2012年04月～2019年)

03 月)

12. [非常勤講師] 多摩美術大学・非常勤講師(2008 年 11 月～2019 年 03 月)

13. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007 年 07 月～)

14. [非常勤講師] 東京芸術大学美術学部・非常勤講師, 8(時間/月)(2006 年 10 月～2019 年 03 月)

15. [非常勤講師] 愛知県立芸術大学美術学部・非常勤講師(2004 年 04 月～2019 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	大阪大学 文学部 哲学科 哲学 哲学史[1977 年卒業] 大阪工業大学 工学部 建築学科[1990 年卒業] 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 生活環境学[2000 年単位取得満期退学]
学位	学術博士[大阪市立大学] 工学修士[京都工芸繊維大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会 日本都市計画学会 日本家政学会 日本建築学会
専門分野	都市計画・建築計画 衣・住生活学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会と人間/公共社会【1Q】戦後昭和の都市と農村, 社会と人間+公共社会 (専門科目)保育内容の研究(環境), 初等家庭科内容研究, 住環境計画学, 住居学概論/住居計画学, 特別演習 I, 初等家庭科内容研究, 初等家庭科内容研究, 住居環境学, 居住地計画演習, 設計製図 I, 住居学演習, 卒業研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本建築学会, 建築社会システム本委員会幹事(2016 年 04 月～2018 年 03 月)
2. 日本建築学会, 関東支部茨城支所常任幹事(2002 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「住宅地における建築協定に関する研究」, 未詳(年度不詳～)
2. [学内共同研究]「都市近郊農村の景観に関する研究」, 未詳(年度不詳～)

情報文化課程	氏名 島田 裕之
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>茨城大学 教育学部 美術[1980年卒業]</p> <p>東京芸術大学大学院 美術研究科 形成デザイン[1988年修了]</p> <p>茨城県取手市立第二中学校教諭(1980年4月～1984年3月)</p> <p>茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984年4月～1986年3月)</p> <p>東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988年4月～1990年3月)</p> <p>桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990年4月～1993年3月)</p> <p>茨城大学講師 教育学部(1993年4月～1995年3月)</p> <p>茨城大学助教授 教育学部(1995年4月～2004年9月)</p> <p>茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004年10月～)</p>
学位	芸術学修士
受賞歴	<p>かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999)</p> <p>第7回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞(1989)</p> <p>第66回二科展商業美術部特選賞(1981)</p> <p>第64回二科展商業美術部特選賞(1979)</p>
所属学会	日本デザイン学会 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	<p>(教員からのメッセージ) デザインをはじめとする美術の世界は、作品を作ることによってそこに込められたテーマや作者のこころなどを見せていくものだと考えています。広告のキャッチ・コピー的に言うならば「見えるものを作り、見えないものを見せる」ということです。近代デザインの歴史は、19世紀末のウィリアム・モリスからはじまります。その後、アール・ヌーボーやアール・デコ、バウハウス、モダンデザイン等時代とともにデザインは進化してきました。現在巷では「日本の独自の文化はマンガとアニメ」などとも言われます。そんな、モリスからジャパニメーションまで、視覚伝達デザインやイラストレーション、CGなどのさまざまな「見せるもの」と映画や広告、マンガ、アニメーションなどの「見えるもの」の面白さを研究しています。</p> <p>イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作</p> <p>(キーワード) 平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)</p>
担当科目	<p>(教養科目) 大学入門ゼミ, 美術文化【2Q】世界のアニメーション文化, 美術文化</p> <p>(専門科目) デザイン表現演習 I, 図画工作科内容研究, 映像工房プロジェクト</p>

	<p>I, 子ども文化プロジェクト I, 特別演習 I, デザイン特別演習, Illustrator で DTP (初級), デザイン実技概論+視覚コミュニケーション演習, デザイン I + デザイン史演習, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 図画工作科内容研究, 図画工作科内容研究, 静止画像処理+静止画像処理(中級), 卒業研究, デザイン表現演習 II</p> <p>(大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, デザイン演習 I</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(共同)]水戸市市制施行 130 周年記念事業ロゴマーク選定(2018 年 12 月)
- [芸術活動(共同)]第 8 回茨城大学美術科教員展(2018 年 12 月)
- [芸術活動(共同)]茨城県美術館協議会(2018 年 11 月)
- [芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール審査員(2018 年 10 月)
- [芸術活動(共同)]警察官採用パンフレット作成業務委託に係る総合審査委員会(2018 年 07 月)
- [芸術活動(共同)]水戸市芸術祭美術展審査員(2018 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	北海道大学 理学部 物理学[1981年] 北海道大学大学院 工学研究科 生体工学[1984年] 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年3月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年4月～2004年9月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会 人間工学会 日本特殊教育学会 計測自動制御学会 日本機械学会 バイオメカニズム学会 電子情報通信学会 日本ロボット学会 日本音響学会 日本 ME 学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)美術文化 (専門科目)情報処理技術/感覚の科学, 情報処理の基礎技術Ⅱ, 特別演習Ⅰ, 情報教育入門, 情報技術演習, 卒業研究 (大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	中央大学 文学部 哲学科・社会学専攻[1982年]
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会 日本社会学会 日本マス・コミュニケーション学会 日本タイ学会 情報通信学会
専門分野	社会情報論、メディア社会学、マス・コミュニケーション論
教育研究概要	地域情報化、地域メディアに関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(専門科目)地域メディア論, マス・コミュニケーション論, 社会文化情報演習Ⅱ, 社会学概論/社会学特講/情報社会論, 特別演習Ⅰ, メジャー基礎ゼミナールⅡ【現代社会学科】, メディアと市民社会, フィールドワークの科学, メディア・リテラシーⅡ, プロジェクト実習(スタッフ編)B, プロジェクト実習(リーダー編)B, プロジェクト実習(メンター編)B, 卒業研究, インターンシップ (大学院科目)社会・文化総合研究Ⅱ, 社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]岩佐淳一「茨城県における有線放送電話の展開」, 茨城県近現代史研究, 第2, 88-101(2018年05月18日)

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 日本社会情報学会, 学会誌(和雑誌)担当編集委員(2010年05月～)

○ 地域協力活動

1. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2016年04月～)

2. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2015 年 04 月～)
3. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2014 年 04 月～)
4. NPO 法人ふるさと元気塾(2004 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク(チュラロンコーン大学)[資料収集及び研究打合せ](2018 年 9 月:6 日間)

タイ バンコク(チュラロンコーン大学)[研究打合せ及び調査](2019 年 3 月:7 日間)

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東北大学 工学部 機械工学第二[1983 年卒業] 東北大学大学院 工学研究科 機械工学第二[1985 年修了]
学位	工学修士[東北大学] 博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会 日本産業技術教育学会 日本金属学会 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。(2) 中学校技術科教育・教材に関する研究 (キーワード)
担当科目	(基盤教育科目)大学入門ゼミ, 情報リテラシー (専門科目)製図Ⅱ, 金属加工概論, 金属加工学, 金属加工演習, 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, 金属加工の応用技術, 学校教育とプログラミングⅡ, ものづくり体験, シミュレーション技法, 現代教育の実践的課題, 教職実践演習(教諭), 特別演習Ⅰ, 建築材料学基礎, 卒業研究 (大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 金属工学特論, 金属工学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]松本亮, 佐久間博志, 小祝達朗, 野崎英明「技術科における製作品の丈夫さに関する学習のための光弾性教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育学), 68, 403-416(2019 年 01 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
1. [・] 坂口竜之介, 小祝達朗, 野崎英明「中学校技術科における最適化を考慮した問題解決学習—C エネルギー変換の技術に着目して—」日本産業技術教育学会 第 30 回関東支部大会(宇都宮)栃木県宇都宮市[2018 年 12 月 09 日]
 2. [・] 小祝達朗, 大谷忠, 野崎英明, 坂本智「技術科金属加工学習における汎用的な能力の育成につながる技能学習の検討」日本産業技術教育学会 第 30 回関東支部大会(宇都宮)栃木県宇都宮市

宮市[2018年12月09日]

3. [・] 小祝達朗, 大谷忠, 野崎英明, 坂本智「技術科金属加工学習における技能の指導内容と汎用的な能力の育成との関連について」日本産業技術教育学会 技術教育分科会研究発表会 2018 静岡県静岡市[2018年11月10日]

4. [・] 小祝達朗, 大谷忠, 野崎英明, 坂本智「技術科金属加工学習における汎用的な能力の育成に繋がる技能の指導内容の検討」日本産業技術教育学会 第 61 回全国大会(信州)長野県長野市[2018年08月26日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2011年04月～)
2. 日本産業技術教育学会, 関東支部会理事(2011年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程		氏名 甲斐 教行
教員履歴など		
現 職	教 授	
学歴・職歴	<p>早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1985 年卒業] 早稲田大学 第二文学部 美術専修[1987 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1990 年修了] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1997 年単位取得満期退学] 東京芸術大学 美術学部 非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月) 大妻女子大学 非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月) 都留文科大学 文学部 非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月) 順天堂大学 スポーツ健康科学部 非常勤講師(1997 年 10 月～1998 年 3 月) 青山学院大学 文学部 非常勤講師(1998 年 4 月～2000 年 3 月) 千葉大学 文学部ほか 非常勤講師(1999 年 10 月～2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 助教授(2007 年 4 月より職名変更—准教授)(2000 年 4 月～2011 年 3 月) 青山学院大学 文学部 非常勤講師(2001 年 4 月～2009 年 3 月) 実践女子大学 文学部 非常勤講師(2007 年 4 月～2008 年 3 月) フィレンツェ大学 中世ルネサンス研究所 客員教授(2009 年 5 月～2009 年 11 月) 放送大学 教養学部 非常勤講師(2010 年 10 月～2011 年 3 月) 茨城大学 教育学部 教授(2011 年 4 月～) マックス・プランク財団フィレンツェ美術史研究所 Dipartimento Alessandro Nova 客員研究員(2016 年 5 月～2017 年 1 月)</p>	
学位	博士(文学)[千葉大学] 芸術学修士[東京芸術大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日伊協会 中世哲学会 地中海学会 日本ワグナー協会 美学会 美術史学会	
専門分野	美術史	
教育研究概要	<p>l'Artista 誌学術編集委員(イタリア)(研究経歴) 1994-2000 フェデリコ・バルocchi 研究 1995-1996 ロレンツォ・ロット研究 1999-2005 サンティ・ディ・ティート研究 2005-08/2012-13 アレッサンドロ・フランキ研究 2009 マッテオ・ボネキ研究 2009-2017 コッラード・ヴィーニ研究 2015-現在 バッチョ・バンディネリ研究 近世イタリアの宗教画研究/ファシズム期具象彫刻研究 イタリア美術史、とくに画像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで 16 世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルocchi、サンティ・ディ・ティート、19 世紀後半に活躍した画家アレッサンド</p>	

	ロ・フランキ、20 世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究を行ってきた。現在、16 世紀フィレンツェの彫刻家バッチョ・バンディネッリの研究に取り組んでいる。
	(キーワード) イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バロッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ, 人間と文学・芸術+コミュニケーションと芸術文化, 人間と文学・芸術+コミュニケーションと芸術文化 (専門科目) 図画工作科内容研究, 西洋美術史 I, 西洋美術史特別演習 I, 表象文化論, 特別演習 I, 美術作品論Ⅲ+西洋美術史Ⅱ+西洋美術史Ⅱ, 保育内容の研究(表現), 図画工作科内容研究, 図画工作科内容研究, 西洋美術史特別演習Ⅱ, 卒業研究 (大学院科目) 美術文化総合研究, 造形芸術学, 美術教育授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単訳] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ『ミケランジェロ研究』」, 中央公論美術出版, (2018 年 08 月 25 日)
2. [単行本(学術書)・分担執筆] 喜多崎親(編)、佐藤直樹、尾関幸、山口恵里子、堀川麗子、松原知生、甲斐教行「前ラファエッロ主義——過去による 19 世紀絵画の革新」, 三元社, 247-286(2018 年 05 月 31 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「バッチョ・バンディネッリのアカデミア——シエナ個人蔵板絵とバンディネッリ氏家系伝承」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 25, 111-185(2018 年 11 月 30 日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ヴェリズモ論」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所), 25, 299-354(2018 年 11 月 30 日)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ピエロ・デッラ・フランチェスカと偶有性」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所), 25, 287-198(2018 年 11 月 30 日)
6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「展覧会評「フィレンツェの十六世紀——『マニエーラ・モデルナ』と対抗宗教改革」展」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所), 25, (11)-(17)(2018 年 11 月 30 日)

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県美術館協議会」[委員]

○ 学協会での役職

1. 地中海学会, 『地中海学研究』査読委員(2018年05月～2018年05月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(国内)」, 茨城県県南生涯学習センター(茨城県土浦市)
[招待講演](2018年02月)2. 「茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(国内)」, 茨城県県南生涯学習センター(茨城県土浦市)
[招待講演](2018年01月)3. 「茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(国内)」, 茨城県県南生涯学習センター(茨城県土浦市)
[招待講演](2018年01月)

○ 地域協力活動

1. 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室紀要編集委員会(2011年04月～)

2. 水戸市芸術文化活性化事業実行委員会(2011年04月～)

3. 茨城県近代美術館友の会(2010年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア フィレンツェ(フィレンツェ美術史研究所)[資料収集](2018年7月～9月:55日間)

イタリア、オーストリア フィレンツェ、ウィーン(フィレンツェ美術史研究所、ウィーン美術史美術館)[資料収集](2019年3月～4月:20日間)

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>福島大学大学院 地域政策科学研究科[1997 年修了]</p> <p>京都大学大学院 工学研究科 環境地球工学専攻[2000 年修了]</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000 年 4 月～2004 年 3 月)</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004 年 4 月～2006 年 9 月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2006 年 10 月～2011 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2011 年 4 月～)</p>
学位	博士(工学)[京都大学] 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	<p>5～10 年後の社会が求める、暮らしに関するサービスデザイン/優秀賞(2020)</p> <p>令和元年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2020)</p> <p>第 16 回インテリアデザインコンペ 2019/審査員特別賞(2019)</p> <p>減災デザイン&プランニングコンペ 2019/入賞(2019)</p> <p>第 6 回キッズデザインアイデアコンテスト/特別賞(2019)</p> <p>マジックテーブルアイデアコンテスト 2018/入賞(2019)</p> <p>マジックテーブルアイデアコンテスト 2018/入賞(2019)</p> <p>平成 30 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2019)</p> <p>平成 30 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2019)</p> <p>第 15 回インテリアデザインコンペ 2018/入選(2018)</p> <p>第 14 回インテリアデザインコンペ 2017/入選(2017)</p> <p>第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/優秀賞(2017)</p> <p>第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/特別賞(2017)</p> <p>平成 28 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2017)</p> <p>第 13 回インテリアデザインコンペ 2016/入選(2016)</p> <p>平成 27 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2016)</p> <p>第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/最優秀賞(2015)</p> <p>第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/奨励賞(2015)</p> <p>第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/入選(2015)</p> <p>第 19 回手帳大賞・商品企画部門/最優秀賞(2015)</p> <p>染め Q DIY デザイン 2015/大賞(2015)</p> <p>染め Q DIY デザイン 2015/染め Q 賞(2015)</p> <p>平成 26 年度キッチン空間アイデアコンテスト/奨励賞(2015)</p> <p>第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/奨励賞(2014)</p>

	第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/入選(2014) 第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/奨励賞(2013) 第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/入選(2013) 第 9 回インテリアデザインコンペ 2012/入選(2012) 第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(1) (2011) 第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(2) (2011) 第 7 回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞(2010) かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞(2005) かわさき産業デザインコンペ 2005/佳作(2005) 第 1 回札幌国際デザイン賞/佳作(1992) 住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88/インテリア産業協会会長賞〔一般の部〕(1988) 第 1 回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(1988)
所属学会	日本建築学会 日本リハビリテーション工学協会
専門分野	デザイン学 リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	①生活環境のユニバーサルデザインの研究 ・プロダクト(福祉工学, プロダクトデザイン) ・建築, インテリア(建築計画, 建築デザイン, インテリアデザイン) ②デザイン思考の実践的研究 (キーワード)デザイン思考, 福祉工学, 建築計画, ユニバーサルデザイン(プロダクト, インテリア, 建築)
担当科目	(専門科目)デザイン理論, 特別演習 I, 図学演習, 卒業研究 (大学院科目)美術文化総合研究, デザイン演習 II, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「PDCA によるアクティブラーニングの授業改善(2)」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 431-442(2019年01月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「PDCA によるアクティブラーニングの授業改善(1)」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 417-430(2019年01月)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]today me(2019年3月)

[芸術活動(共同)]顔を見せない気楽なお見舞い(2019年3月)
 [芸術活動(共同)]おみまいマネージャー(2019年3月)
 [芸術活動(共同)]HIMITSUKITCHI(2019年2月)
 [芸術活動(共同)]KEM プロジェクト(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]単語帳付箋(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]ストレスゼロメモ(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]書覚(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]ステーplラーペット(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]おひとり様用デジタル文具(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]ストレッチ定規(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]いろばくだん(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]衛生害虫コンセントカバー(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]テリトリーマット(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]キッズ・コーナー&ソファ(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]かるすぼふた(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]まちなみ冒険カバー(2019年1月)
 [芸術活動(共同)]デザインフリーマジック(2018年12月)
 [芸術活動(共同)]FMC(2018年12月)
 [芸術活動(共同)]持ち手ヘルパー(2018年12月)
 [芸術活動(共同)]Animal Face(2018年12月)
 [芸術活動(共同)]4way 猫マット(2018年12月)
 [芸術活動(共同)]週末イクメンキッチン(2018年11月)
 [芸術活動(共同)]キッチン × 薬局ー 食事制限でつながる患者の輪(2018年11月)
 [芸術活動(共同)]独身社会人のための週末キッチン(2018年11月)
 [芸術活動(共同)]KEM(キッチン× エクササイズ× メディカル)プロジェクト(2018年11月)
 [芸術活動(共同)]「つなぐ」リノベーション仮設住宅(2018年08月)
 [芸術活動(共同)]我が家のコミュニティスペース～食で広がる地域の輪(2018年08月)
 [芸術活動(共同)]縁側のある仮設住宅(2018年08月)
 [芸術活動(共同)]体重・体型が見える化スタンプ(2018年05月)
 [芸術活動(共同)]2年カレンダーアルバム(2018年05月)
 [芸術活動(共同)]SEKITORIー関取で席取りマナー向上へ(2018年05月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2008年04月～)
2. [非常勤講師] 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校・非常勤講師

(2008 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本リハビリテーション工学協会, SIG 姿勢保持世話人(2001 年 08 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「2018 年 SIG 姿勢保持講習会(国内)」, 日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持(埼玉県)
[企画・運営](2018 年 08 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学部 小学校教員養成課程[年]
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(2007)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 全国大学書写書道教育学会 全国教育大学協会書道教育部門会 全日本書写書道教育研究会
専門分野	
教育研究概要	<p>小中学校国語科書写における授業研究や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。また、書字における幼小連携が円滑に行なわれるための支援方法の検討や教材開発に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード) 書写書道教育 書字 手書き文字</p>
担当科目	<p>(教養科目) 人間と文学・芸術/美術文化【2Q】仮名の書に親しむ, 人間と文学・芸術+美術文化</p> <p>(専門科目) 書道史, かな書法研究/筆による表現, 書道科教育法研究Ⅰ, 表象文化論, 保育内容の研究(言葉), 書道Ⅲ, 書道Ⅰ, 子ども文化プロジェクトⅠ, 特別演習Ⅰ, 初等書写内容研究, 初等書写内容研究, 小学校の書字指導, 書道Ⅱ, 子ども文化プロジェクトⅡ, 初等書写内容研究, 鑑賞, 書論, 初等書写内容研究, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 言語文化総合研究, 初等国語教育授業設計, 書写書道教育研究, 書写書道教育演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著] 齋木久美「書字における幼小連携を推進するための一考察—幼児期における書字支援の実情と課題を見据えて—」, 茨城の国語教育, **16**, 57-64(2019年03月)
 2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】] 齋木久美「幼稚園成立時における文字の扱いに関する研究」, 書写書道教育研究, **33**, 65-70(2019年03月31日)
 3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)単著【依頼/招待】] 齋木久美「自分の名前をかつこよく書きたい?子どもたちの思いを発見学習に?」, 教室の窓, **56**, 28-29(2019年01月)
 4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著] 齋木久美「幼児への書字支援における姿勢(立腰)指導」,

茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 443-454(2018 年 10 月)

研究業績(2) 学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・(単独)]「小学校教員養成における書写授業に関する改善の試み」全国大学書写書道教育学会第 33 回(滋賀)大会滋賀大学教育学部[2018 年 09 月 29 日]
2. [口頭発表(一般)・(単独)]「幼稚園成立期における文字の扱いに関する研究」全国大学書写書道教育学会第 33 回(滋賀)大会滋賀大学教育学部[2018 年 09 月 29 日]

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]岡橙里の歌(2018 年 09 月)

[芸術活動(単独)]和歌二首(2018 年 08 月)

[芸術活動]漢詩(2018 年 07 月)

[芸術活動(単独)]第 34 回王朝継ぎ紙合同作品展(2018 年 05 月～2018 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本教育大学協会書道教育部門関東地区, 代表(2016 年 04 月～)
2. 全国大学書写書道教育学会, 常任理事(事務局長)(2016 年 04 月～)
3. 社団法人日本書写技能検定協会, 硬筆書写検定・毛筆書写検定茨城県審査委員(2009 年～)
4. 全日本書写書道教育研究会, 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「東京都小学校書写研究会 授業研究会(国内)」, 東京都小学校書写研究会[その他](2018 年 11 月)
2. 「第 33 回公文書写指導者研究大会(国内)」, 公文エルアイエル(グランドプリンスホテル新高輪 [招待講演](2018 年 10 月)
3. 「日立市国語夏季研修会(国内)」, [] (2018 年 08 月)
4. 「かさまこども園家庭教育学級(茨城大学連携事業・保護者研修会)」, 笠間市立かさまこども園[] (2018 年 06 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](分担)「運動の「ぎこちなさ」を要因とする書字困難児に対する早期支援プログラムの開発」, 1625 万円 (2016 年 04 月 04 日～2019 年 03 月 20 日)
2. [科研費](代表)「読み書き指導に関する幼・小連携カリキュラム開発」, 429 万円 (2016 年 04 月 04 日～2019 年 03 月 20 日)

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	早稲田大学 教育学部 教育学科[1985 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学[1987 年修了]
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	コンテンツ文化史学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会 日本発達心理学会 日本理科教育学会
専門分野	社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)統計の初歩, メジャー基礎ゼミナール I【現代社会学科】, 特別演習 I, ウェブ制作(初級)a, 社会臨床演習 I, メジャー基礎ゼミナール II【現代社会学科】, 子供文化論, 社会臨床演習 II, 特別演習 II, 卒業研究, ウェブ制作(初級)b, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, メジャー専門ゼミナール I【現代社会学科】・メジャー専門ゼミナール II【現代社会学科】, 社会臨床演習【現代社会学科】

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【査読あり】]林 延哉「紙芝居は何だったのか：近年刊行の何冊かの本で考える」, 社会臨床雑誌, 26, 3, 89-96(2019 年 03 月 31 日)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]林 延哉「『シン・ゴジラ』はどのように観られたのか — レビュー記事の計量的分析による検討 —」, 茨城大学教育学部紀要. 人文・社会科学・芸術, 68, 115-125(2019 年 01 月 29 日)</p>

研究業績(2)学会発表など

--

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 学協会での役職</p> <p>1. 水戸市地域福祉推進委員会, 委員(2017 年 10 月～2019 年 10 月)</p> <p>○ 地域協力活動</p>

1. 千葉県立中央博物館(年度不詳～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 小林 祐紀
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	三重県立津西高等学校[1999年03月卒業] 金沢大学 教育学部 人間環境課程教育情報システムコース[2002年03月卒業] 金沢大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻[2004年03月修了] 石川県金沢市内公立小学校・教諭(2008年4月～2015年3月) 金沢大学非常勤講師共通教育科目「教師入門」(2009年～2014年)
学位	修士[金沢大学]
受賞歴	第30回学習デジタル教材コンクール「学情研賞」(2014) 第9回著作権教育実践事例募集「優秀賞・モデル教育賞」(2014) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2014) 第29回学習デジタル教材コンクール「優良賞」(2013) 第7回著作権教育 実践事例募集「優良賞」(2013) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2012) 第23回メディア教育コンテスト「金沢市教育委員会賞」(2006)
所属学会	AI時代の教育学会 日本STEM教育学会 情報処理学会 コンピュータと教育研究会 日本デジタル教科書学会 日本協同教育学会 日本教育メディア学会 日本教育工学会
専門分野	教育工学 教育学
教育研究概要	・授業におけるICT活用や情報モラル教育について、研究会を主宰したり、指導・助言を行ったりしています。・急速に学校現場に普及しつつあるタブレット端末の活用について研究活動を行っています。・教師のストラテジーに着目した授業研究やコミュニケーション力を育む授業について研究活動を行っています。 (キーワード)教育工学 教育学
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)社会と文化Ⅰ, 統計学の基礎, 社会文化情報演習Ⅰ, 特別演習Ⅰ, 社会調査の基礎, ICT演習, 教育の方法と技術, 情報教育論, ICT教育と学力, 社会と文化Ⅱ, 情報教育入門, 卒業研究 (大学院科目)教育評価の方法, 教育カウンセリング実践と事例研究, 学習指導・授業づくりの課題と実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [教科書・分担執筆]小川哲哉編著 打越正貴, 昌子佳広, 五島浩一, 小林祐紀, 東小川昌夫, 長島利行, 柴原宏一著「学校現場の理解が深まる教育実習」, あいり出版, (2019年03月28日)
2. [単行本(一般書)・編者]小林祐紀・兼宗進・中川一史「小学校プログラミング教育の研修ガイドブック」, 翔泳社, (2019年03月22日)
3. [教科書・分担執筆]稲垣忠 編著「教育の方法と技術 主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン」, 北大路書房, 第7章 pp83-94, 第11章 pp143-156(2019年03月20日)
4. [単行本(一般書)・共著]NHK for School×タブレット端末活用研究プロジェクト「タブレット端末を授業に活かす NHK for School 実践事例 62」, NHK 出版, 14-18(2018年06月25日)
5. [単行本(一般書)・共著]小林祐紀, 兼宗進, 白井詩沙香, 白井英成「これで大丈夫! 小学校プログラミングの授業 3+αの授業パターンを意識する[授業実践 39]」, 翔泳社, (2018年04月09日)
6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]完田八郎(鳥取大学附属小学校)・小林祐紀(茨城大学)「問題解決能力を育成するプログラミング教育?プログラミング的思考の5つの手順の活用?」, 鳥取大学附属小学校研究紀要, 91-95(2019年03月)
7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]小林 祐紀「我が国における小学校プログラミング教育の位置づけに関する検討」, 茨城大学大学院教育学研究科 教育実践高度化専攻(教職大学院)年報, 3, 39-50(2019年03月15日)
8. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]小林祐紀(茨城大学)中川一史(放送大学)「小学校プログラミング教育を継続して実践している教員が認識している成果と授業設計の視点」, 日本STEM教育学会2019年3月拡大研究会予稿集, 32-35(2019年03月10日)
9. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]反田任(同志社中学校)小林祐紀(茨城大学)中川一史(放送大学)「映像制作における学校放送番組の活用の効果」, 日本STEM教育学会2019年3月拡大研究会予稿集, 26-27(2019年03月10日)
10. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]小林祐紀「「スタート! プログラミング教育」の冊子発行」, INPUT/OIUTPUT, 6(2019年01月)
11. [(MISC)その他記事単著]小林祐紀「デジタル思考ツールの活用可能性-プログラミング教育の必修化を目前に授業アイデアをあたためよう?」, 学習情報研究, 266, 10-11(2018年12月10日)
12. [(MISC)研究論文共著]岩崎有朋(岩美町立岩美中学校)・小林祐紀(茨城大学)・中川一史(放送大学)「新学習指導要領を志向したタブレット端末上で操作するグルーピングソフトウェアを活用した理科の教育実践」, 茨城大学教育実践研究, 37, 337-352(2018年11月30日)
13. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]佐藤幸江(金沢星稜大学)村井万寿夫(北陸学院大学)中川一史(放送大学)小林祐紀(茨城大学)「児童の新聞に対するイメージ調査(2)」, 日本教育メディア学会第25回年次大会発表集録, 12-13(2018年11月24日)
14. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]岡田雅子(淡路市立津名東小学校)小林祐紀(茨城大学)「特別支援学級における<学びに向かう力、人間性等>に着目したプログラミン

- グ教育の実践」, 全日本教育工学研究協議会全国大会 川崎大会 F-3-12, (2018 年 11 月 10 日)
15. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 高橋千絵(小松市教育研究センター) 宮嶋悦子(小松市教育研究センター) 小林祐紀(茨城大学) 「科学館と連携した小学校プログラミング教育に資する授業パッケージの開発と運用・評価」, 全日本教育工学研究協議会全国大会 川崎大会 C-1-2, (2018 年 11 月 10 日)
16. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 増子 知美(淡路市立津名東小学校)・小林 祐紀(茨城大学)・中川 一史(放送大学) 「小学校第 2 学年図画工作科におけるプログラミング教育の実践と評価」, 日本 STEM 教育学会 第 1 回年次大会 R06, (2018 年 10 月 13 日)
17. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 新宅直人(杉並区立天沼小学校) 小林祐紀(茨城大学) 中川一史(放送大学) 「教師の発問及び学校放送番組と児童の発話の相互関係の分析」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
18. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 藤木謙壮(備前市立日生西学校) 小林祐紀(茨城大学) 中川一史(放送大学) 「対話スキル修得のために学校放送番組を活用した教育実践と評価」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
19. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 郡司竜平(北海道立札幌養護学校) 小林祐紀(茨城大学) 中川一史(放送大学) 「タブレット端末による学校放送番組の視聴, 自分たちの運動の録画・視聴を取り入れたストレッチ運動の実践と評価」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
20. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 小田部明香(茨城県立大洗高等学校) 小林祐紀(茨城大学) 田部成孝(Sky 株式会社) 「文章構成の意図の理解を目指すタブレット端末を利用した実践と評価」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
21. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 川澄陽子(那珂市立横堀小学校) 小林祐紀(茨城大学) 「論理的思考力を具体的に想定した小学校プログラミング教育の年間指導計画の開発」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
22. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 木村了士(那珂市立額田小学校) 臼井英成(鹿嶋市立中野東小学校) 小林祐紀(茨城大学) 「小学校第 5 学年算数科におけるプログラミング教育の授業開発」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
23. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 中澤啓子(茨城県立大洗高等学校) 小林祐紀(茨城大学) 田部成孝(Sky 株式会社) 「タブレット端末上で操作するマッピングを用いたライティング指導の実践と評価」, 日本デジタル教科書学会第 7 回年次大会(富山大会) 発表予稿集, (2018 年 08 月 18 日)
24. [研究論文(国際会議プロシーディングス) 共著 【査読あり】] Terashima, K., Nakagawa, H., Murai, M., & Yuki Kobayashi “Teachers’ Technology Acceptance in a One-to-one Tablet PC Integration

- Across Entire Cities: Three-year surveys”, International Conference for Media in Education 2018 (ICoME2018)(Cheongju, Korea: Chungbuk National University, August 16, 2018), (2018 年 08 月 16 日)
25. [(MISC) 総説・解説(その他) 単著] 小林祐紀「小学校プログラミング教育の道しるべ」, 「情報教育セミナー2018」資料, 6-7(2018 年 07 月 27 日)
26. [(MISC) 研究発表要旨(全国大会, その他学術会議) 共著] 小林 祐紀(茨城大学) 中川 一史(放送大学) 村井 万寿夫(村井万寿夫) 佐藤 幸江(金沢星稜大学)「小学校プログラミング教育に資する組み合わせ活用できる研修パッケージの構想」, 情報教育セミナー2018 全国実践発表会レジュメ, No21(2018 年 07 月 27 日)
27. [研究論文(国際会議プロシーディングス) 共著 【査読あり】] Hitoshi Nakagawa; Masuo Murai; Yukie Sato; Yuki Kobayashi; Atritomo Iwasaki; Naruyoshi Tabe; Taiga Maruyama “Application Development for Education Comparing the Image Pictures and Data by Superimposing”, EdMedia + Innovate Learning 2018, 2422-2424(2018 年 06 月 25 日)
28. [研究論文(国際会議プロシーディングス) 共著 【査読あり】] Yuki Kobayashi; Susumu Kanemune; Shizuka Shirai; Hidenari Usui; Takumi Shimizu” Three Types of Practical Examples of Programming Education at Elementary Schools in Japan”, EdMedia + Innovate Learning 2018, 461-466(2018 年 06 月 25 日)
29. [(MISC) 総説・解説(商業誌) 単著] 小林 祐紀「タブレット端末の活用で実現する学習者主体の授業」, タブレット端末活用実践事例集 2018, 10-13(2018 年 04 月)
30. [(MISC) 講演資料等(セミナー, チュートリアル, 講習, 講義他) 単著]「学習者主体の授業を紐解くー生徒の考える力を信じること・待つことを是とする岩崎実践を通してー」, 一般社団法人日本教育情報化振興会主催 情報教育対応教員研修全国セミナー タブレット端末活用セミナー2018 新学習指導要領に対応した ICT 環境・活用を考える, 80-83(2018 年 04 月 21 日)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 情報処理学会 コンピュータと教育研究会, 運営委員(2018 年～)
2. 茨城県立大洗高等学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)
3. 茨城県立古河中等教育学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)

4. 茨城県立並木中等教育学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員 (2016 年～2018 年)
 5. 茨城県立日立第一高等学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員 (2016 年～2018 年)
 6. 一般社団法人 モバイルコンテンツ審査・運用監視機構, 基準策定委員 (2016 年～2018 年)
 7. 茨城県立佐和高等学校, 学力向上対策推進事業・情報化推進事業に係る運営指導委員 (2016 年～2018 年)
 8. 日本教育メディア学会, 国内研究委員 (2016 年～2018 年)
 9. 日本教育メディア学会, 企画委員 (2016 年～2018 年)
- 地域協力活動
1. [地域貢献事業]「茨城県立勝田特別支援学校 校内研修 講師」(2017 年 07 月～)
 2. [地域貢献事業]「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017 年 07 月～)
 3. [地域貢献事業]「千葉県野田市立北部小学校 校内研修 講師」(2017 年 06 月～)
 4. 「石川県小松市芦城中学校 校内研修 講師」(2017 年 06 月～)
 5. [地域貢献事業]「茨城県立大洗高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017 年 06 月～)
 6. 「水戸生涯学習センター市民講座「学びを支えるICT」」(2017 年 06 月～)
 7. [地域貢献事業]「宮城教育大学附属特別支援学校 学校放送番組を活用した校内研究授業 講師」(2017 年 06 月～)
 8. [地域貢献事業]「ルビィのぼうけんで体験する小学校プログラミング教育 第 2 部 教員セミナー 講師」(2017 年 06 月～)
 9. [地域貢献事業]「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017 年 05 月～)
 10. 「文京区立茗台中学校 校内研修 講師」(2017 年 05 月～)
 11. 「第 8 回教育 IT ソリューション EXPO, Sky ブースによる招待プレゼンテーション 今求められる ICT を活用した学習活動～主体的・対話的で深い学びの実現のために～」『第 8 回教育 IT ソリューション EXPO』(2017 年 05 月～)
 12. [地域貢献事業]「茨城県立日立第一高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017 年 05 月～)
 13. [産学連携活動]「第 8 回教育 IT ソリューション EXPO, CoNETS ブースによる招待プレゼンテーション 小学校で始まるプログラミング教育ははじめの一步」『第 8 回教育 IT ソリューション EXPO, CoNETS ブース』(2017 年 05 月～)
 14. [地域貢献事業]「茨城県立佐和高等学校 授業力向上研修会 講師」(2017 年 05 月～)
 15. [地域貢献事業]「平成 29 年度 情報教育対応教員研修全国セミナー 一般社団法人日本教育情報化振興会主催 タブレット端末活用セミナー2017 新学習指導要領を見据えた「授業づくり」「ICT 環境づくり」」(2017 年 04 月～)
 16. [地域貢献事業]「横浜市情報・視聴覚教育研究会 講師」(2017 年 04 月～)
 17. [地域貢献事業]「一般社団法人デジタル表現研究会 (D-project) 公開研究会 講師」(2017 年 03 月～)

18. [その他公的社会活動]「石川県中能登町立鹿島小学校 校内研修会 講師」(2017 年 03 月～)
19. [その他公的社会活動]「第 4 回古河市 ICT フォーラム 講師」(2017 年 02 月～)
20. [その他公的社会活動]「宮城教育大学附属特別支援学校 学校放送番組を活用した校内研究授業 講師」(2017 年 02 月～)
21. [その他公的社会活動]「大阪府堺市 タブレット端末活用研究会 講師」(2017 年 02 月～)
22. [その他公的社会活動]「石川県宝達志水町 ICT 活用講演会 講師」(2017 年 02 月～)
23. 「石川県羽咋市立羽咋小学校 研究発表会 講師」(2017 年 02 月～)
24. [その他公的社会活動]「那珂市 ICT 活用推進研修会 講師」(2017 年 02 月～)
25. [その他公的社会活動]「渋谷区立代々木山谷小学校研究授業 講師」(2017 年 02 月～)
26. 「茨城県立水戸聾学校 校内研修会 講師」(2017 年 01 月～)
27. [その他公的社会活動]「第 6 回沖縄離島 ICT シンポジウム in 宮古島」(2017 年 01 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
 - 1) [科研費以外] (代表)「科学館の専門家と連携して進める小学校プログラミング教育に資する授業パッケージの開発」, 7.3 万円 , 平成 30 年度研究推進経費(若手教員研究費支援)(2018 年 04 月～2019 年 03 月)
 2. [科研費]基盤研究(C)(代表)「小学校プログラミング教育に資する組み合わせて活用できる研修パッケージの開発, 基盤研究(C)」, 442 万円 (2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)
 - 3) [科研費以外] (代表)「小学校プログラミング教育に関する教員用研修パッケージの開発」, 91.4 万円 , (公益財団法人日本教育公務員弘済会)(2018 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
- 共同研究・受託研究
 1. [企業からの受託研究]「小中学校における本質的なプログラミング学習(代表)」, 未詳(2018 年 06 月～2019 年 03 月)
 2. [企業からの受託研究]「小学校プログラミング教育に関わる授業開発(代表)」, 未詳(2018 年 05 月～2020 年 03 月)
 3. [企業からの受託研究]「タブレットPCで活用する学習者用デジタル教材の開発(代表)」, 未詳(2017 年 01 月～2018 年 12 月)

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学[1983年03月修了] 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年4月～1984年3月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年4月～1988年3月) 茨城大学教養部講師(1988年4月～1989年3月) 茨城大学教養部助教授(1989年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年12月) 茨城大学教育学部教授(2003年1月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動, 身体活動 (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 救急処置法, 卒業研究, 運動障害救急法, スキー指導法 (大学院科目)バイオメカニクス特論, 保健体育科学総合研究, バイオメカニクス演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部専門委員 総務委員会委員

- 長 安全対策委員会副委員長」(2018 年 07 月～2020 年 07 月)
2. [その他公的社会活動]「日本スキーパトロール協議会(理事長)」(2013 年 07 月～)
 3. [学外審議会・委員会等]「全国スキー安全対策協議会(調査委員会委員)」(2013 年 03 月～)
 4. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部専門委員(安全対策部)」(2012 年 09 月～)
 5. 「財団法人茨城県体育協会評議員」(2012 年 04 月～)
 6. [ボランティア活動]「赤十字救急法奉仕団(救急法指導員)」(2011 年 04 月～)
 7. 茨城県教育庁学校教育部保健体育課(2018 年 10 月)
 8. 茨城県赤十字血液センター(2018 年 09 月)
 9. 水戸看護福祉専門学校(2018 年 09 月)
 10. 茨城県教育研修センター(2018 年 08 月)
 11. 茨城県教育研修センター(2018 年 08 月)
 12. 茨城県立水戸特別支援学校(2018 年 08 月)
 13. 茨城県教育研修センター(2018 年 08 月)
 14. 茨城県教育研修センター(2018 年 07 月)
 15. 水戸市新荘市民センター(2018 年 07 月)
 16. 茨城県立水戸飯富特別支援学校(2018 年 07 月)
 17. 日本赤十字社茨城県支部(2018 年 07 月)
 18. 水戸市立飯富小学校(2018 年 06 月)
 19. 茨城大学教育学部附属特別支援学校(2018 年 06 月)
 20. 茨城大学(2018 年 03 月)
 21. 水戸市新荘市民センター(2018 年 02 月)
 22. 水戸市立飯富小学校(2018 年 02 月)
 23. リリー保育福祉専門学校(2018 年 01 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 伊藤 孝
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	山形大学 理学部 地球科学[1987 年卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 地質学[1993 年修了]
学位	博士(理学)[筑波大学大学院] 理学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	日本地質学会第 124 年学術大会(愛媛大会)優秀ポスター賞(2017) 第 26 回高知出版学術賞(2016) 平成 16 年度茨城大学大学教育研究開発センター推奨授業表彰(2005)
所属学会	日本地学教育学会 資源地質学会 日本地球化学会 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)科学入門【1Q】地球科学の見方・考え方, 環境変動適応・防災論, 身近な生物学+環境と人間 (専門科目)岩石学, 地学概論, 気象学, 地学実験, 総合演習, 環境特別演習 II, 生活の中の環境問題, 環境地球科学, 初等地学, 環境特別演習 I, 地学演習 I (2単位), 地学演習 II (4単位) (大学院科目)地学特論, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 孝・伊藤 開「日本とフィリピンにおける若者の雷経験・雷理解:災害文化としての雷」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 463-482(2019 年 01 月 29 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [・] 伊藤 孝「日本およびフィリピンの若者にとっての月」文化地質研究会 第2回総会・研究発表会大谷大学慶問館4階[2019 年 03 月 02 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤 孝・伊藤 開「災害文化としての雷:日本とフィリピンにおける若者の雷理解・雷経験」日本地学教育学会全国大会茨城大会筑波大学[2018 年 08 月 25 日]
3. [ポスター発表・国内会議(単独)] 伊藤 孝「自然現象・自然災害としての雷理解および雷との付

き合い方:スカイプを活用したフィリピン・ヴィサヤ地域在住の若者への聴き取り調査結果」日本地球惑星科学連合 2018 年大会[2018 年 05 月 20 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

北西オーストラリア地域における地質学的研究(2001 年)

琵琶湖における硫黄・ストロンチウム同位体地球化学的研究(1998 年)

北関東における地質学・地球化学的研究(1995 年)

北西太平洋, フィリピン海における海洋底マンガニ鉱床の研究(1987 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本地学教育学会, 常務委員長(2016 年 07 月～2019 年 06 月)

2. 日本地学教育学会, 評議員(2008 年 04 月～2019 年 06 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ガーナ アクラ(ガーナ大学)[調査及び研究打合せ](2018 年 8 月～9 月:6 日間)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 阿部 信一郎
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	
学位	水産学博士[東京水産大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本水産増殖学会 日本珪藻学会 日本藻類学会
専門分野	生態・環境
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)環境と人間【自由履修】サステイナビリティ学入門, 地域志向系科目, 身近な生物学/科学入門【2Q】生物とはなにか, 環境と人間 (専門科目)生物学実験, 保育内容の研究(環境), 環境科学実験, 水環境論, 総合演習, 環境特別演習Ⅱ, 卒業研究, 生活の中の環境問題, 生物学実験, 保全生物学, 地球環境論, 環境特別演習Ⅰ, 卒業研究 (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ, 地域生態学特論, 初等理科内容特論, 初等自然科学総合研究, 中等自然科学総合研究, 研究と教育—知の往還をめぐって—, 地域生態学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]青山大地・阿部信一郎「生物多様性の保全活動に関わる自然保護団体への寄付金額と日本国内の景気との関係」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 68, 113-118(2019年01月01日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小堀智幸・阿部信一郎「側線上方横列鱗数による高梁川の天然・放流アユの判別」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 68, 107-111(2019年01月01日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]高木克輝・阿部信一郎「水戸市森林公園内のトウキョウサンショウウオ *Hynobius tokyoensis* の産卵場における卵嚢分布」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 68, 101-106(2019年01月01日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小林尚・中野繭・阿部信一郎・高田啓介「木曾川水系一支流におけるアジメドジョウ *Niwaella delicata* の生息環境」, 信州大学理学部紀要, 48, 1-10(2019年01月01日)
5. [研究論文(学術雑誌)共著]用田悠介・鹿野雄一・阿部信一郎・井口恵一朗・棗田孝晴「河川工作

物による環境変化が淡水魚類群集に及ぼす影響」, 応用生態工学, **21**, 1, 17-28(2018 年 09 月 01 日)

6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]阿部信一郎・棗田孝晴・黒田暁・堀江哲也・井口恵一朗「奄美大島を流れる役勝川における付着藻類生産力の流程変化」, 藻類, **66**, 105-110(2018 年 07 月 10 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 阿部信一郎・合屋国裕・福原叶恵・山田陽人・横田康平・竹門康弘・井口恵一朗「天然河川でのアユの採食が付着藻類の群落構造に及ぼす影響」日本藻類学会第 43 回大会京都 2019 京都大学吉田南構内[2019 年 03 月 17 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 高梁川生態系回復に向けた検討会, 検討委員(2016 年 04 月～)
2. 日本藻類学会, 庶務幹事(2013 年 01 月～2018 年 10 月)
3. 日本珪藻学会, 編集委員(2011 年 01 月～2019 年 01 月)

○ 学外教育

1. [出前授業]「持続可能な社会とは～環境問題を考えよう～」, 2 時間, 78 名出席, 茨城大学教育学部附属中学校

○ 地域協力活動

1. 岡山県内水面漁業協同組合連合会[地域貢献事業]「高梁川生態系回復に向けた検討会」(2016 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	琉球大学 教育学部 中学校教員養成課程保健体育科専攻[1992年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科[1995年修了] 筑波大学大学院 医学研究科[1999年修了] 茨城県立中央看護専門学校非常勤講師(1996年4月～1999年3月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997年4月～2000年3月) 筑波大学 社会医学系 助手(1999年4月～2001年9月) 茨城大学助教授教育学部(2001年10月～2007年3月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002年4月～2011年3月) 茨城大学准教授教育学部(2007年4月～2018年3月) 水戸看護福祉専門学校 看護学科 非常勤講師(2015年4月～) 茨城大学 教育学部 教授(2018年4月～)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院] 体育学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	日本学校保健学会 2014年度学会賞(2015) ひたちなか市市制 20周年表彰(2014) ひたちなか保健所長賞(2014)
所属学会	日本学校保健学会 日本健康学会 日本疫学会 日本公衆衛生学会 日本教育保健学会 日本健康教育学会 日本保健科教育学会 日本体育学会
専門分野	疫学・予防医学 衛生学・公衆衛生学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)身体活動 (専門科目)学校保健概論, 陸上競技方法論, 陸上競技/陸上競技指導法, 体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 健康調査解析法, 総合演習, 健康特別演習Ⅱ, 衛生公衆衛生学概論, 健康特別演習Ⅰ, 卒業研究, 健康施設実習 (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC)書評,文献紹介等単著【依頼/招待】]「書評:最新 Q&A 教師のための救急百科 第2

版」, 英語教育, **67**, 5, 91(2018 年 08 月 01 日)

2. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]上地勝「解説:高等学校学習指導要領改定と学校健康教育」, 学校保健, 331, 6-7(2018 年 07 月 01 日)

3. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著【依頼/招待】]杉崎弘周, 上地勝「EBM からみた保健の「実践研究」の意義と課題」, 体育科教育, **66**, 7, 34-37(2018 年 07 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 高倉実, 宮城政也, 小林稔, 上地勝, 栗原淳, 喜屋武亨「学校力は高校生の性行動における社会格差を緩衝するか?」第 27 回日本健康教育学会学術大会姫路市[2018 年 07 月 08 日]

2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 宮本蘭子, 上地勝, 山田浩平, 植田誠治「保健授業における協調学習の効果と課題」第 27 回日本健康教育学会学術大会姫路市[2018 年 07 月 08 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城町長生大学」茨城町健康増進課[講師]

2. 「平成 30 年度 健康教育指導者養成研修 健康コース」独立行政法人教職員支援機構[講師]

3. 「いきいき茨城ゆめ大会選手団サポートボランティア養成協力校連絡会議」茨城県国体・障害者スポーツ大会局[委員]

4. 「ひたちなか市元気アップ事業」ひたちなか市健康推進課

○ 学協会での役職

1. 日本健康教育学会, 学術委員会委員(2018 年 08 月～2020 年 07 月)

2. 日本健康学会, 評議員(2003 年 01 月～)

○ 地域協力活動

1. 東海村消防本部(連携協定あり)(2007 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	京都大学 理学部[1992 年卒業] 京都大学大学院 理学研究科[1994 年 03 月修了] 京都大学大学院 理学研究科[1998 年 07 月単位取得満期退学] 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 8 月～2003 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 4 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本環境教育学会 子どもと自然学会 日本霊長類学会 日 本人類学会 日本環境共生学会
専門分野	科学教育 自然人類学
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究して います。 2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について 実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化につ いて研究しています。 (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(専門科目)中等理科教育法Ⅱ, 環境教育演習, 環境教育論, 総合演習, 環境特 別演習Ⅱ, 生活の中の環境問題, 中等理科教育法Ⅰ, 情報化社会の諸問題, 環 境特別演習Ⅰ, 卒業研究 (大学院科目)サステナビリティ教育特論Ⅱ, 中等理科授業設計, 中等理科教育 学演習, 初等理科教育学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県中学生向け環境プログラム検討会」茨城県県民生活環境部環境政策課[検討委員]
2. 「水戸第二高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会」茨城県教育委員会[委員]
3. 「ミュージアムパーク茨城県自然博物館助言者会議」茨城県自然博物館[助言者]
4. 「いばらき理科教育振興事業に係る表彰校選定委員会」茨城県教育委員会[委員]

○ 兼業・兼職

1. [公開講座] 茨城大学生涯学習教育研究センター・茨城大学偕学苑一般公開講座講師
2. [兼業] 茨城県教育研究連盟・助言者
3. [兼業] 茨城大学教員免許状更新講習専門委員会・教員免許状更新講習講師
4. [兼業] 茨城県教育委員会・いばらき理科アイテム活用・開発モデル中学校公開授業研究会助言者
5. [兼業] 茨城県教育委員会・科学自由研究の指導(活用・発展)(ミニ博士によるミニ学会)助言者
6. [兼業] 水戸市立上大野小学校・学校へようこそ親子体験活動講師
7. [兼業] 行方市立北浦小学校・学習発表会における講演会講師

○ 学協会での役職

1. 茨城県シェアリングネイチャー協会 理事

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

人間環境教育課程	氏名 関 友作
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	一橋大学 社会学部 社会理論課程 (社会言語学)[1987 年卒業] 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 システム科学専攻[1996 年修了] 日本鉱業 株式会社(現・JXTG エネルギー(株))(1987 年 4 月～1990 年 3 月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 テクニカル コミュニケーター協会 教育システム情報学会 ヒューマンインタフェース学会 日本認知科学会
専門分野	教育工学 認知科学 ヒューマンインターフェース・インタラクション
教育研究概要	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書情報の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目)情報リテラシー (専門科目)情報編集法, データ解析法, 心理学文献講読Ⅲ (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ, 認知学習心理学

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等 1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]関友作「大学での情報教育と言語表現教育のかかわり」, 茨城大学教育実践研究, 37, 353-361(2018 年 11 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室

氏名 篠田 明音

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	東京女子体育大学 体育学部 体育学科[1999年03月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 生活健康系コース (保健体育)[2003年03月修了] 東京都渋谷区 青山サンクラブ(体操クラブ)(1999年4月～2000年3月) 栃木県黒磯市 東那須野中学校(保健体育)非常勤講師(2003年4月～2004年3月) 創志学園 愛媛女子短期大学(2004年4月～2007年3月) 白百合学園 仙台白百合女子大学(2007年4月～2009年3月) 朴沢学園 仙台大学(2009年4月～2011年3月)
学位	修士(教育学)
受賞歴	1.第9回全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸コンクール部門<大学の部>創作作品名「阿吽(あうん)」NHK 賞受賞.(1996年8月) 2.第11回全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸コンクール部門<大学の部>創作作品名「瞳(ひとみ)」特別賞受賞.(1998年8月)
所属学会	運動伝承研究会、日本体育・スポーツ哲学会、日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会、日本スポーツ運動学会、体育授業研究会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	実技では、ダンス・身体表現。講義では、スポーツ運動学を基礎に置き、指導に当たっている。自分の体を思う様に動かすことができない学生が増える中、自分の体と相談して自分に適した動きを導き出すことの大切さを伝えたいと活動している。 (キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	(教養科目)身体活動(コンディショニング・ダンス), 大学入門ゼミ (専門科目)保育内容の研究(健康), 保育内容の研究(表現), 体育科教育法研究, スポーツ特別演習Ⅰ, スポーツ特別演習Ⅱ, 健康特別演習Ⅰ, 健康特別演習Ⅱ, トレーニング法, コーチング論Ⅰ, ダンス・身体表現方法論, ダンス・身体表現, ダンス・身体表現指導法, 卒業研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]神永直美,篠田明音ほか 14名「保育内容研究と指導法の

- 実践的課題 第 1 章 領域「健康」, 茨城大学教育学部 幼児教育実践研究会, 8-10(2019年01月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]神永直美, 篠田明音ほか 14 名「保育内容研究と指導法の実践的課題 第 5 章 領域「表現」, 茨城大学教育学部 幼児教育実践研究会, 61-67(2019年01月31日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「小学校教員養成における体育科教育法の授業設計」, 茨城大学 教育学部紀要(教育科学), 67, 299-312(2018年08月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「茨城大学学生体力・運動能力の現状と課題-第1報 20年間の変化および全国平均値との比較-」, 茨城大学 全学教育機構論集大学教育研究(茨城大学全学教育機構), 1,33-41(2018年03月)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「茨城大学学生体力・運動能力の現状と課題-第2報 学部間の変化および経年変化-」, 茨城大学 全学教育機構論集大学教育研究(茨城大学全学教育機構), 1,43-51(2018年03月)
6. [研究論文(体育授業研究会)共著]「創作ダンスの導入場面におけるフロー(床面)を活用するための教材の検討」, 体育授業研究, 第 23 巻. (※現在、印刷中。)

研究業績(2)学会発表など

なし

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(共同)]「ことばあそび」(2011年01月)
- [芸術活動(単独)]「potential～私の隠れた可能性」(2010年01月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学 保育内容(健康)・4(時間/月)(2018年10月～2019年03月)
2. [兼業] 第 74 回 国民体育大会 茨城県準備委員会 式典専門委員会 式典演技部会委員・(2017年06月～2020年03月)
3. [兼業]茨城県教育委員会主催 学校体育実技指導者講習会 小学校・義務教育学校(前期)部会
- 【表現運動】(2019.8)
- 4.[兼業]茨城県教育委員会主催 学校体育実技指導者講習会 中学校・義務教育学校(後期)・中等教育学校・高等学校部会【ダンス】(2019.8)
5. 「兼職」全学教育機構 心と体の健康部会長(2019.4)
- 講演会・シンポジウム
1. 「子どもの「健康」を考える(国内)」, 茨城大学教育学部附属幼稚園(茨城大学教育学部附属幼稚園 プレイルーム)[招待講演](2018年10月)
- 地域協力活動

- | |
|---------------------------------------------------------------------|
| 1. 茨城大学 教育学部附属幼稚園(連携協定あり)(2018年10月) |
| 2. いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会 式典前演技 出演「茨城大学 ダンスを愛する仲間たち」学生・教員15名(2019.9) |

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

なし

科学研究費補助金などの受領

- | |
|-------------------------------------------------|
| 1.2019 年度「研究復帰支援制度」助成金額 220,000 円 茨城大学ダイバーシティ制度 |
|-------------------------------------------------|

学校臨床心理専攻	氏名 正保 春彦
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	早稲田大学 文学部 人文専攻[1982年] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学専攻[1988年] 筑波大学(1988年6月～1990年3月) 明海大学(1990年4月～1995年3月) 明海大学(1995年4月～2000年9月) 茨城大学(2000年10月～2009年9月) 茨城大学教授(2009年10月～2012年3月) 茨城大学大学院(2012年4月～) 茨城大学(2015年4月～2018年3月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会 日本人間性心理学会 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(教養科目)健康の科学【1Q】人間関係と自己理解の心理学 (専門科目)カウンセリング心理学論, 入門人間科学, グループアプローチ特講, ころを育てるグループワーク, 心理学基礎論+心理学基礎論Ⅱ(臨床心理学概論), 卒業研究 (大学院科目)臨床心理実習Ⅰ, 臨床心理実習A, 臨床心理実習E, 健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理基礎実習A, 臨床心理実習C, 臨床心理学面接特論A, 社会病理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開), 産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開), 臨床心理基礎実習B, 臨床心理実習Ⅱ, グループアプローチ特論, 臨床心理実習B, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]濱田つぐみ・正保春彦「精神科ショート・ケアへのサイコロドラマ導入の試み ?インプロ・ゲームを活用して? 」, 茨城大学心理臨床研究, 10,11, 3-10(2018 年)

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

[その他]「授業評価」を受けて(1993 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師, 5(時間/月)(2005 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県ピアサポーター養成研修会(国内)」, 茨城県庁保健福祉部(茨城県笠間市)[招待講演](2018 年 11 月)
2. 「日立市青少年相談員研修会(国内)」, 日立市教育委員会(茨城県日立市)[招待講演](2018 年 11 月)
3. 「富山県総合教育センター(国内)」, 富山県教育委員会(富山県富山市)[招待講演](2018 年 09 月)
4. 「茨城県校長会給与厚生委員会(国内)」, 茨城県教育委員会(茨城県阿見町)[招待講演](2018 年 08 月)
5. 「茨城県教育研修センター(国内)」, 茨城県教育委員会(茨城県笠間市)[招待講演](2018 年 07 月)
6. 「茨城県児童館連絡協議会スキルアップ研修会(国内)」, 茨城県児童館連絡協議会(茨城県大洗町)[招待講演](2018 年 01 月)

○ 地域協力活動

1. 茨城いのちの電話(年度不詳～)
2. 筑波大学附属病院(年度不詳～)
3. 社会福祉法人同仁会(2007 年 02 月～)
4. 水戸家庭裁判所(2006 年～)
5. 水戸市教育委員会(2006 年～)
6. 日立市教育委員会(2006 年 08 月～)
7. 茨城県教育委員会(2006 年 05 月～)
8. 水戸家庭裁判所(2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>神奈川県立横浜翠嵐高等学校大学院[1991年卒業]</p> <p>早稲田大学 第一文学部 哲学科心理学専修[1996年卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 文学研究科 心理学専攻[1999年修了]</p> <p>筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生命システム医学専攻[2017年満期退学]</p> <p>東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997年4月～2003年3月)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003年2月～2012年9月)</p> <p>茨城県スクールカウンセラー(2004年4月～)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科 准教授(2012年10月～)</p>
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会 The International Transactional Analysis Association 日本心理臨床学会 日本心理学会 日本遊戯療法学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	<p>(研究経歴) 1999年4月～2003年1月 東久留米市教育センター心理相談員 教育委員会が運営する教育相談室の相談員として、地元のスクールカウンセラーと常に連携をしながら心理臨床活動を実践し、その成果を主に集団対応の視点からまとめた。2003年2月～現在 茨城大学大学院教育学研究科専任講師「学校臨床心理専攻」の専任教員として将来スクールカウンセラーや心の教室相談員となる人たちの教育をしながら、主に小中学生とその親を対象とした心理臨床の技法について研究を行ってきた。また児童臨床研究の基礎として乳児のアタッチメントに関して、共同研究者として研究を実行中である。2003年2月～現在 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 心理教育相談室相談員 大学附属の地域住民を対象とした外来の相談室の相談員を兼任し、カウンセリングを担当しながら描画テスト、スーパービジョンについて研究を行ってきた。2004年4月～現在 茨城県公立中学校スクールカウンセラー 特に初心のスクールカウンセラーが自分一人でケースを抱え込まないよう、県内の他のリソースを具体的かつ詳細に知るための集まりや印刷物、インターネット上の情報等を集約したハンドブック作りを進行中。</p> <p>子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践</p>

	(主として Transactional Analysis (交流分析) および 投射描画法テストバッテリー)
	(キーワード) 交流分析 (TA), 親子の臨床心理学的問題, 投射描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(教養科目) 健康の科学【2Q】人生をラクにするメンタルヘルス学 (専門科目) 入門人間科学, 心理学基礎論+心理学基礎論Ⅱ (臨床心理学概論) (大学院科目) 臨床心理実習Ⅰ, 臨床心理実習A, 臨床心理実習E, 学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開), 健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理実習C, 臨床心理学面接特論B, 臨床心理査定演習A, 臨床心理実習Ⅱ, 心理療法特論, 臨床心理実習B

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 委員

茨城県いじめ問題調査委員会・自殺調査委員会

茨城県自殺対策連絡協議会

桜川市いじめ問題調査委員会

茨城県特別支援教育推進会議

小美玉市いじめ問題調査委員会

潮来市いじめ問題調査委員会

茨城県教育委員会コンプライアンス推進委員会

茨城県教育委員会特別支援教育支援体制充実事業専門家会議

北茨城市教育委員会教育支援委員会

海上保安庁第三管区海上保安部心の健康対策ネットワーク委員会

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー, 32(時間/月) (2004年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

児童養護施設の新任スタッフ離職防止プログラムの開発(分担, 科学研究費基盤 C)

学校臨床心理専攻	氏名 地井 和也
----------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	<p>学習院大学 文学部 心理学科[2003年03月卒業]</p> <p>学習院大学大学院 人文科学研究科 心理学専攻[2005年03月修了]</p> <p>学習院大学大学院 人文科学研究科 心理学専攻[2014年03月単位取得満期退学]</p> <p>学習院大学 文学部心理学科 助教(2014年4月～2017年3月)</p> <p>京都女子大学 大学院こころの相談室 主任相談員(2017年4月～2018年3月)</p> <p>茨城大学 大学院教育学研究科 講師(2018年4月～)</p> <p>学習院大学 文学部心理学科 非常勤講師(2019年4月～)</p>
学位	修士(心理学)[学習院大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本遊戯療法学会 茨城県臨床心理士会 日本臨床心理士会 日本芸術療法学会 日本情動学会 日本箱庭療法学会 日本ユング心理学会 日本心理臨床学会 日本心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)イメージ 表現 箱庭療法
担当科目	<p>(専門科目)心理学基礎論+心理学基礎論Ⅱ(臨床心理学概論)</p> <p>(大学院科目)臨床心理実習Ⅰ, 臨床心理実習A, 臨床心理実習E, 臨床心理学特論B, 健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理基礎実習A, 臨床心理実習C, 臨床心理査定演習B, 箱庭療法特論, 臨床心理研究法演習, 臨床心理基礎実習B, 臨床心理実習Ⅱ, 臨床心理実習B</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)その他記事単著]地井和也「心理臨床家への道のり」, 茨城大学大学院教育学研究科心理臨床研究, 10・11, 19-22(2019年03月31日)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など** 兼業・兼職

1. [兼業] 学習院大学人文科学研究所・客員所員(2017年04月～)

 学協会での役職 地域協力活動

1. 茨城大学教育学部[地域貢献事業]「キャンパスエイド活動支援」『茨城県立結城第二高等学校キャンパスエイド』(2018年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領** 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「運要因から原因帰属理論を再考する(分担)」, 未詳(2018年04月～・受入研究員:10名)

学校臨床心理専攻	氏名 大島 聖美
----------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	新潟大学 人文学部[年卒業] お茶の水女子大学大学院[年修了] お茶の水女子大学大学院[年修了] 広島国際大学(2013年4月～2017年3月) 茨城大学(2017年4月～)
学位	人文科学[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家族社会学会 日本家族心理学会 日本発達心理学会 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	青年期の家族に関する研究を行っていますが、このテーマはクライアントさん達とお話しをする中で生まれたものです。日々勉強です。 青年期の家族関係に関する研究を行っています。最近では親準備教育などにも関心を持っています。 (キーワード) 青年 家族
担当科目	(教養科目)健康の科学【1Q】他者と自己に出会うコミュニケーション (専門科目)心理学基礎論+心理学基礎論Ⅱ(臨床心理学概論), 心理査定論(心理学的アセスメント) (大学院科目)臨床心理実習Ⅰ, 臨床心理実習Ⅱ, 臨床心理実習A, 臨床心理実習B, 臨床心理実習C, 臨床心理実習D, 臨床心理実習E, 健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理学特論A, 臨床心理査定演習A, 臨床心理査定演習B, 発達心理学特論, 地域支援心理学特論(家族関係・集団・地域社会における, 心理療法特論, 投映法特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単著]「カウンセリングとの出会いから茨城大学着任まで」, 心理臨床学研究, 10・11 合併, 23-25 (2019年03月31日)
2. []渡辺 綾子, 大島 聖美, 田中 秀樹「地域の両親学級における妊婦に対する単発の睡眠教育が, 睡眠, 抑うつに与える効果」, Journal of Health Psychology Research, 31, 1, 61-68(2018年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 「夫婦はどのように育児・家事分担を行うのか？」第 30 回日本発達心理学会[2019 年 03 月 19 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

臨床心理相談室にて地域の人への相談・コンサルテーション業務(週に3~4回, 1回 50分)[2017 年 4 月~]

海外出張・海外研修・内地研修など

International Society for the study of behavioral development regional workshop[2019 年 06 月 27 日]
(旅費と宿泊費は主催者から支給された)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]挑戦的萌芽研究(分担)「絵本の読み聞かせにみる父親の育児参加の意識と実際」, 351 万円 (2016 年 04 月 01 日~2019 年 03 月 31 日)
2. [科研費]若手研究「夫婦間コペアレンティングの実践に必要な要因の検討」, 234 万円 (2019 年 04 月 01 日~2022 年 03 月 31 日)

教育実践高度化専攻	氏名 坂場 克身
-----------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(大学院科目)教師のライフステージと資質向上, 茨城の教育改革と開かれた学校づくり, 学校運営課題研究 I /学校運営課題研究 III, 課題発見実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

教育実践高度化専攻	氏名 藤田 達人
-----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程美術科(日本)[1978年03月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻芸術系コース美術(日本)[1996年03月修了] 稲敷郡茎崎村立茎崎中学校(1978年4月～1983年3月) 茨城県教育庁(2001年4月～2005年3月) 大洗町立南中学校(2005年4月～2007年3月) 茨城県教育庁(2007年4月～2009年3月) ひたちなか市立高野小学校(2009年4月～2010年3月) 茨城県教育研修センター(2010年4月～2012年3月) 大洗町立南中学校(2012年4月～2016年3月)
学位	修士(教育学)[上越教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	美術教育実践学会 美術科教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	主に学校運営、学校教育全般について実践的な研究を行っています。 (キーワード)学校運営 教育実践
担当科目	(大学院科目)茨城の教育改革と開かれた学校づくり, 学校運営課題研究Ⅰ/学校運営課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 学校運営課題研究Ⅱ+学校運営課題研究Ⅳ, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習Ⅰ, 学校運営開発実習Ⅱ, 学校運営実践研究Ⅰ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

教育実践高度化専攻	氏名 生越 達
-----------	---------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	東京大学 法学部[1984年03月卒業] 東京大学 教育学部 学校教育学科[1986年] 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1992年] 茨城大学教育学部教授(2004年4月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会 社会臨床学会 日本人間性心理学会 日本教育方法学会 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法、教育的関係論特講、子ども関係といじめ、生活指導の方法、卒業研究 (大学院科目)子ども理解にもとづく学習指導、人間形成の現代的課題と学習指導、教育方法開発課題研究Ⅰ、教育方法開発課題研究Ⅲ、課題発見実習、子ども理解と学習支援、教育方法開発課題研究Ⅱ、教育方法開発課題研究Ⅳ、教育方法開発実習Ⅰ、教育方法開発実習Ⅱ、教育方法開発実践研究Ⅰ、教育方法開発実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 水海道第一高等学校・(2007年11月～)

2. [出前授業] 中央高等学校・(2007 年 10 月～)
3. [出前授業] 牛久栄進高等学校・(2007 年 10 月～)
4. [出前授業] 日立第一高等学校・(2007 年 10 月～)
5. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2007 年 07 月～)
6. [非常勤講師] 看護協会 教育原理・(2007 年 07 月～)
7. [出前授業] 鉾田第一高等学校・(2007 年 07 月～)
8. [公開講座] 実践心理教育相談講座(初級)・(2007 年 05 月～)
9. [出前授業] 茨城県土浦湖北高等学校・(2006 年 11 月～)
10. [出前授業] 茨城県下館第一高等学校・(2006 年 10 月～)
11. [出前授業] 茨城県土浦第二高等学校・(2006 年 08 月～)
12. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2006 年 07 月～)
13. [出前授業] 茨城県総和高等学校・(2006 年 07 月～)
14. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2006 年 05 月～)
15. [兼業] NPO 法人すだち理事・(2006 年 04 月～)
16. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2005 年 09 月～)
17. [その他] 水戸市立第五中学校学校評議員・(2004 年 04 月～)
18. [その他] 茨城県カウンセリングアドバイザー・(2002 年 04 月～)
19. [兼業] 茨城県スクールカウンセラー・(1996 年 04 月～)

○ 地域協力活動

1. 大子町(年度不詳～)
2. 東海村(年度不詳～)
3. いわき市(年度不詳～)
4. 茨城県青少年アドバイザー(年度不詳～)
5. 茨城県カウンセリングアドバイザー(年度不詳～)
6. NPO 法人すだち(年度不詳～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 三輪 壽二
-----------------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	一橋大学 経済学部[1985年卒業] 千葉大学大学院 教育学研究科 学校教育[1991年修了] 医療法人厚生協会 東京足立病院(1991年4月～2000年11月) 茨城大学(2000年12月～2011年3月)助教授・准教授 茨城大学(2011年3月～)教授
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会 日本カウンセリング学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)空想、適応、主題統覚法検査、コンサルテーション
担当科目	(専門科目)学校教育相談、相談の理論と技法、学校教育相談、心理臨床検査法演習、心理臨床援助法実習Ⅰ、心理臨床援助法実習Ⅱ、卒業研究 (大学院科目)児童生徒支援課題研究Ⅰ/児童生徒支援課題研究Ⅲ、課題発見実習、学校適応アセスメント実習、学校不適応問題への理解と対応、子ども理解と学習支援、児童生徒支援課題研究Ⅱ+児童生徒支援課題研究Ⅳ、教育相談の課題と支援、児童生徒支援実習、学校適応支援実習、児童生徒支援実践研究Ⅰ、児童生徒支援実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「水戸教育事務所管内適応指導教室連絡協議会」水戸教育事務所

2. 「ひたちなか市いじめ対策調査委員会」ひたちなか市教育委員会[委員長]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] リリー保育福祉専門学校・非常勤講師(2008 年 04 月～)

2. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2003 年 04 月～)

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「教員免許更新講習講師」, , ,

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本教職員組合養護教員部会研究会」, [] (2018 年 07 月)

○ 地域協力活動

1. 社団法人いはらき思春期保健協会副理事長(2012 年 04 月～)

2. 社団法人いはらき思春期保健協会幹事(2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類心理[1988 年卒業] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学[1994 年単位取得満期退学] 茨城大学教育学部講師(1995 年 1 月～1999 年 9 月) 茨城大学教育学部助教授(1999 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2007 年 4 月～2011 年 9 月) 茨城大学教育学部教授(2011 年 10 月～)
学位	修士(心理学)[筑波大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(専門科目)教育実践の分析/心理学統計法, 発達の理解 I /発達の理解A, 心理学研究法 II, 発達臨床心理学, 卒業研究 (大学院科目)学級経営実践演習, 学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法, 児童生徒支援課題研究 I /児童生徒支援課題研究 III, 課題発見実習, 学校適応アセスメント実習, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究 II +児童生徒支援課題研究 IV, 児童生徒支援実習, 学校適応支援実習, 児童生徒支援実践研究 I, 児童生徒支援実践研究 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]金子聡・渡部玲二郎「コミュニケーションに支援が必要な児童への学級単位のアサーショントレーニングに関する実践研究ーTK 式コミュニケーション力を高めるワークを活用した授業づくりを通してー」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 567-582(2019 年 01 月 29 日)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]東海林優菜・渡部玲二郎「対処的悲観主義者の精神的健康に関する研究ー思考スタイルの受容と内省を考慮してー」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 68, 553-565(2019 年 01 月 29 日)</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]熊切実乃里・渡部玲二郎「評価懸念と社会的情報処理</p>

論における符号化・解釈の偏りとの関連」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 67, 753-772(2018年 08 月)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師」
2. 「社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師」
3. 「茨城県教育研修センター「教員研修講座(集団のアセスメントとその対応)」講師」

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・(1998年 04 月～2019年 03 月)
2. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・(2010年 04 月～)
3. [非常勤講師] 茨城県立医療大学・(2013年 04 月～)
4. [非常勤講師] 富山大学 人間発達科学部・(2014年 08 月～)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立牛久栄進高校(連携協定あり)(2018年 10 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 打越 正貴
-----------------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	茨城大学大学院 教育学研究科 学校教育[1999年03月修了]
学位	修士(教育学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 教育実践学会 社会科教育開発学会
専門分野	教育学 教育方法
教育研究概要	(キーワード)教育実践 授業研究 思考指導 学級経営 生徒指導 教師教育
担当科目	(専門科目)教育課程演習, 卒業研究 (大学院科目)特別支援教育の理論と実践, 子ども理解にもとづく学習指導, 教育臨床問題と道徳, 子どもの発達と学習の過程, 教育方法開発課題研究Ⅰ, 教育方法開発課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 授業研究による授業改善, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 教育方法開発課題研究Ⅳ, 校内研修の企画・立案と実践, 教育方法開発実習Ⅰ, 教育方法開発実習Ⅱ, 教育方法開発実践研究Ⅰ, 教育方法開発実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [単行本(一般書)・共著]『『学校現場の理解が深まる教育実習—教え、教えられる実習の在り方—』(分・単)], あいり出版, p.1-p.17(2019年03月25日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 奥沢哲也「生徒の社会参画能力の育成を目指した実践的研究」—中学校社会科における地域素材の活用を中心としたカリキュラム・マネジメントを通して—, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 第68, 603-620(2019年01月31日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 島本晃宏「自己肯定感を高める生徒指導についての一考察」—生徒Sへの指導実践を通して—, 『茨城大学教育学部』(教育科学), 第68, 635-656(2019年01月31日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 斎藤茂樹「総合的な学習の時間の指導方法に関する実践的な研究」—探究活動を深めるための課題提示の工夫とカリキュラム・マネジメントの在り方—, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 第68, 657-673(2019年01月31日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]成井 紀英 打越 正貴「いじめ問題における学校の取り組みと課題」, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 第68, 621-634(2019年01月31日) [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著]打越正貴「校内研修の企画・立案と実践」の授業

を通して」, 2017 日本教職大学院協会年報 別冊実践研究成果集, 分科会①-32-分科会①-33
(2018 年 05 月 29 日)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
 1. 「潮来市教育振興基本計画・学校適正化計画策定委員会」潮来市教育委員会
 2. 「鹿嶋市子ども子育て会議」鹿嶋市長 錦織孝一[鹿嶋市子ども子育て会議委員長]
- 地域協力活動
 1. 水戸市立新荘小学校[地域貢献事業]「子どもに力を付ける学校教育を目指して」(2018 年 06 月～2019 年 03 月)
 2. 鉾田市立旭東小学校[その他公的社会活動]「主体的な学習を育む学習指導(「ゆさぶり」)の在り方」(2018 年 05 月～2019 年 02 月)
 3. 鹿嶋市立中野西小学校[その他公的社会活動]「笑顔を生み出し, 笑顔を伝え合う授業づくり」(2018 年 05 月～2019 年 03 月)
 4. 行方市立麻生中学校[その他公的社会活動]「『学びに向かう力』を育む学習指導の在り方」(2年次)」(2018 年 04 月～2019 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

教育実践高度化専攻	氏名 藤井 とし子
-----------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(大学院科目)学級経営実践演習, 学級経営と個別指導の実践, 学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法, 児童生徒支援課題研究Ⅰ/児童生徒支援課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 学校適応アセスメント実習, 学校不適応問題への理解と対応, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究Ⅱ+児童生徒支援課題研究Ⅳ, 教育相談の課題と支援, 校内研修の企画・立案と実践, 児童生徒支援実習, 学校適応支援実習, 児童生徒支援実践研究Ⅰ, 児童生徒支援実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 「幼児教育番組における2次元と3次元の混合の実態 —人間とアニメが会話する場面の発達の意義—」日本教育心理学会第60回総会[2018年09月16日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動
1. 「茨城県算数数学教育研究会機関誌への寄稿」『茨城数学第187号』(2017年02月～)
2. 「茨城大学教育学部附属中学校研究協力」(2016年11月～)
3. 「茨城大学教育学部附属小学校授業公開及び校内研修講師」(2016年07月～)
4. Rimse 理数教育研究所[その他公的社会活動]「算数・数学の自由研究作品コンクール審査」(2014年09月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 加藤 崇英
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002年～2005年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005年～2006年) 国立教育政策研究所 研究員(2006年～2007年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007年～2009年) 茨城大学教育学部准教授(2009年～2016年) 茨城大学大学院教育学研究科准教授(2016年～2019年) 茨城大学大学院教育学研究科教授(2019年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育事務学会 日本スクールコンプライアンス学会 日本教育行政学会 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じた学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援 (キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 学校経営と子ども, 卒業研究 (大学院科目)茨城の教育改革と開かれた学校づくり, スクール・リーダーシップとその実践, 学校運営課題研究Ⅰ/学校運営課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 学校における評価マネジメント実践演習, 学校マネジメント実践演習, 学校運営課題研究Ⅱ+学校運営課題研究Ⅳ, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習Ⅰ, 学校運営開発実習Ⅱ, 学校運営実践研究Ⅰ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. []浜田 博文, 安藤 知子, 山下 晃一, 加藤 崇英, 大野 裕己, 高谷 哲也, 照屋 翔大, 朝倉 雅史, 高野 貴大「新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(2)小学校教員の専門性認識に関する分析を中心に」, 筑波大学教育学系論集 = Bulletin of Institute of Education, University of Tsukuba, **43**, 2, 1-24(2019年03月)
2. []浜田 博文, 安藤 知子, 山下 晃一, 加藤 崇英, 大野 裕己, 高谷 哲也, 照屋 翔大, 朝倉

雅史, 高野 貴大「〈研究論文〉新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(2): 小学校教員の専門性認識に関する分析を中心に」, 筑波大学教育学系論集 = Bulletin of Institute of Education, University of Tsukuba, **43**, 2, 1-24(2019 年 03 月)

3. []加藤 崇英, Takahide Kato「中学校の生徒指導対応の支援を中心としたスクールソーシャルワーカー — 茨城県結城市におけるスクールソーシャルワーカーの運用 —」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 68, 675-686(2019 年 01 月 29 日)

4. []加藤 崇英「「チーム学校」における「保護者や地域からの要望や相談への対応の支援」に関する議論: 保護者・地域対応に関する学校マネジメント課題と自治体による支援体制(特集 対応が困難な保護者・地域住民)」, スクール・コンプライアンス研究, 6, 30-38(2018 年)

5. []加藤 崇英「討論の論点(60周年記念号) -- (公開シンポジウム 教職大学院における教育・研究と教育経営学の課題)」, 日本教育経営学会紀要, 60, 169-171(2018 年 06 月)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本教育経営学会, 理事(2015 年～)
2. 日本教育経営学会, 研究推進委員(2015 年～)

○ 地域協力活動

1. JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義(2009 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)」, 未詳(2007 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>東京大学大学院 教育学研究科[2003 年単位取得満期退学]</p> <p>東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 4 月～2005 年 6 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(2005 年 7 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部准教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本学生相談学会 日本心理臨床学会 日本コミュニティ心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(専門科目)学校心理学, 人間教育の心理学, 子どもの発達と支援の方法, 人間教育の心理学, 総合演習, 心理特別演習Ⅱ, 卒業研究, 心理特別演習Ⅰ</p> <p>(大学院科目)学級経営と個別指導の実践, 児童生徒支援課題研究Ⅰ/児童生徒支援課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 学校適応アセスメント実習, 教育カウンセリング実践と事例研究, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究Ⅱ+児童生徒支援課題研究Ⅳ, 児童生徒支援実習, 学校適応支援実習, 児童生徒支援実践研究Ⅰ, 児童生徒支援実践研究Ⅱ</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]丸山広人「学校における児童生徒支援の二つのアプローチ:頭を使って考えるということと心を使って考えるということ」, 茨城大学教育学研究科教育実践高度化専攻(教職大学院)年報, 第3号, 27-38(2019年03月15日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]丸山広人「教育相談の理論及び方法」, 茨城大学教育学部紀要, 67, 103-114(2018年)

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

兼業・兼職

1. [兼業] 茨城いのちの電話・講師(2006年04月～)

学協会での役職

学外教育

1. [自治体での社会教育]「茨城県教育研修センター電話相談専門研修会」, 20名出席, 茨城県教育研修センター

2. [自治体での社会教育]「那珂市教育支援センター研修会講師」, 30名出席,

3. [自治体での社会教育]「特別支援教育における専門家派遣事業講師(年3回)」, 40名出席,

4. [自治体での社会教育]「境町生徒指導連絡協議会講師」, 2時間, 20名出席,

5. [その他]「水戸市教育相談担当者研修会」, 2時間, 20名出席,

6. [その他]「茨城県教育研修センター教育相談スーパービジョン」, 3時間, 6名出席, 茨城県教育研修センター

7. [その他]「公認心理師現任者講習」, 20時間, 800名出席, 一般財団法人日本心理研修センター

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室	氏名 杉本 憲子
-----------------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	名古屋大学 教育学部 教育学科[1996 年卒業] 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学[2001 年単位取得満期退学]
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育学会 日本教育方法学会 日本生活科・総合的学習教育学会 中部教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(研究経歴) 1996-2005 授業分析を通しての子どもの思考過程の研究 (キーワード) 教育方法、授業研究
担当科目	(専門科目) 学習指導の方法, 教育の方法と技術, 学習指導演習, 教育の方法と技術, 学習指導の課題と方法+学習指導特講, 卒業研究 (大学院科目) 授業研究の方法と実践, 教育評価の方法, 教育方法開発課題研究Ⅰ, 教育方法開発課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 授業研究による授業改善, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 教育方法開発課題研究Ⅳ, 教育方法開発実習Ⅰ, 教育方法開発実習Ⅱ, 教育方法開発実践研究Ⅰ, 教育方法開発実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]『『次世代の学校』を主体的につくるためにー「多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた教育」の実践ー』, 茨城教育, 858, 4-9(2018年10月20日)
 2. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]『『次世代の学校』を主体的につくるためにー「主体的・対話的で深い学び」の実現ー』, 茨城教育, 857, 4-9(2018年06月20日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「上田薫の授業研究論に関する一考察ー動的相対主義の理論と授業研究の方法に着目してー」日本教育方法学会第54回大会[2018年09月29日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 講演会・シンポジウム 1. 「鼎談「子ども理解にもとづく『学び』と『支援』」(茨城県教育研修センター研究発表会)(国内)」、 [パネリスト](2018年12月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程 教育実践科学コース 学校教育教室

氏名 青柳 路子

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科[1999年03月卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻(日本)[2001年03月修了] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻[2004年03月単位取得満期退学]
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育思想史学会 教育哲学会 美術教育研究会 日本教育学会 日本人間性心理学会 美術解剖学会 日本道德教育学会 道德教育方法学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 道德教育、教育哲学、教育人間学
担当科目	(専門科目) 道德と価値の教育, 現代教育思想と実践/教育思想, 道德と価値の教育 (大学院科目) 教育臨床問題と道德, 教育方法開発課題研究Ⅰ, 教育方法開発課題研究Ⅲ, 課題発見実習, 教材研究と授業設計Ⅱ, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発実習Ⅱ, 教育方法開発実践研究Ⅰ

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 公益財団法人 野間教育研究所・兼任研究員(2006年12月～)

○ 学協会での役職

1. 美術教育研究会, 委員(2008年～)

2. 美術教育研究会, 編集委員(2011年～)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「きらきらっとアートコンクール 審査員」(2014 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

教育実践高度化専攻	氏名 照屋 翔大
-----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類 教育学専攻[2004年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(一貫制博士課程) 教育学主専攻[2010年03月その他] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(博士後期課程) 教育基礎学専攻[2010年08月単位取得満期退学] 愛知東邦大学 人間学部 子ども発達学科 助教(2010年9月～2011年3月) 愛知東邦大学 人間学部 人間健康学科 助教(2011年4月～2016年3月) 茨城大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻 准教授(2016年4月～)
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院人間総合科学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育経営学会 日本教育行政学会 日本教育学会 日本教育制度学会 筑波大学教育学会 American Educational Research Association
専門分野	学校経営学 教育経営学 教育学
教育研究概要	<p>沖縄県浦添市出身。専門は、学校経営学・教育行政学(School Administration and Educational Leadership)。市町村を単位にした学校改善(district-based school reform)に関心があり、特に、学校改善を促す学校と教育委員会事務局の協力関係およびそれぞれの力量やリーダーシップについて、アメリカでの先進的な取り組みを参照しつつ、日本での実践可能性を模索している。主たる研究テーマに、学校教育の質保証システム(school and district accreditation)、教育長と教育委員会事務局のリーダーシップ(leadership of district superintendent and office staff)、現代的政策課題(コミュニティ・スクール、チーム学校、多様なニーズを抱えた児童生徒等)に対する学校経営・教育行政様式の日米比較などがある。</p> <p>(キーワード)学校経営 教育行政 学校改善 地方教育行政のリーダーシップ</p>
担当科目	(専門科目)学級経営の課題 (大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践, 学校運営課題研究Ⅰ, 学校運営課題研究Ⅲ, 教育政策の実施と評価, 課題発見実習, 学校危機管理論と実践演習, 教育行財政と法規, 学校運営課題研究Ⅱ, 学校運営課題研究Ⅳ, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習Ⅰ, 学校運営開発実習Ⅱ, 学校運営実践研究Ⅰ, 学校運営実践研究Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [教科書・分担執筆]『『学校経営』(MINERVA はじめて学ぶ教職9)』, ミネルヴァ書房, 21-32 (2019年03月30日)
2. [教科書・分担執筆]加藤崇英、臼井智美、福島正行、田中真秀、照屋翔大『『教育の制度と学校のマネジメント』』, 時事通信社, 122-133、156-167、168-180(2018年06月20日)
3. [単行本(一般書)・共著]水本徳明 編著『『実践教育法規 2018』』, 小学館, pp.16-17、pp.66-67、pp.68-69、pp.70-71、pp.72-73(2018年06月15日)
4. [単行本(学術書)・分担執筆]日本教育経営学会編『『教育経営ハンドブック』(講座「現代の教育経営」第5巻)』, 学文社, 16-17(2018年06月09日)
5. [単行本(学術書)・分担執筆]日本教育経営学会編『『教育経営学の研究動向』(講座「現代の教育経営」第3巻)』, 学文社, 60-71(2018年06月09日)
6. [調査報告書・共著]高妻紳二郎、榊原禎宏、末松裕基、辻野けんま、張揚、照屋翔大、藤村祐子『『中・独・英・米4か国における教育経営学研究の国際的潮流』』, 日本教育経営学会国際交流委員会, (2018年06月08日)
7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]浜田博文・安藤知子・山下晃一・加藤崇英・大野裕己・高谷哲也・照屋翔大・朝倉雅史・高野貴大「新たな学校ガバナンスにおける『教育の専門性』の再定位(2)―小学校教員の専門性認識に関する分析を中心に―」, 筑波大学教育学系論集, 43(2), 1-24(2019年03月)
8. [(MISC)研究論文共著【依頼/招待】]高妻紳二郎、榊原禎宏、末松裕基、張揚、辻野けんま、照屋翔大、藤村祐子「教育経営学研究の国際的潮流―中・独・英・米4か国の教育経営関連学会における研究動向をめぐって―(海外の教育経営事情)」, 日本教育経営学会紀要, 60, 201-213(2018年06月25日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 浜田博文、山下晃一、加藤崇英、高谷哲也、照屋翔大「新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(3)」日本教育経営学会第58回大会鳴門教育大学[2018年06月10日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 高妻紳二郎、末松裕基、辻野けんま、張揚、照屋翔大、藤村祐子「教育経営学研究の国際的潮流(その2)」日本教育経営学会第58回大会鳴門教育大学[2018年06月09日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 常磐大学・, 8(時間/月)(2018年09月～)
2. [非常勤講師] 茨城キリスト教学園大学・(2016年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本教育経営学会, 国際交流委員会 委員(2018年06月～2021年06月)
2. 日本教育経営学会, 学会創設60周年記念出版事業編集委員会 幹事(2016年06月～2018年06月)
3. 日本教育経営学会, 国際交流委員会 委員(2015年06月～2018年06月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育研修センター[地域貢献事業]「平成30年度茨城県教育研修センター主催の校内研修支援事業(学校運営)にかかわる研修講師」『校内研修支援事業』(2018年06月～2019年02月)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ シアトル、ヒューストン(シアトル市教育委員会事務局、Marriott Marquis Houston) [研究打合せ、国際学会出席及び情報収集](2018年11月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「教委と学校のコラボレーションを核にした学校評価システムの構築に関する日米比較研究」, 325万円 (2015年04月01日～2019年03月31日)

○ 共同研究・受託研究

1. [その他]「学校・教育委員会単位の研修支援及び地域の管理職育成支援に関する研修プログラム開発—「いばらき版デュアル支援システム」の開発—(分担)」, 未詳(2018年04月～2019年03月)

(全学教職センター)	氏名 菊地 利幸
------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 教職実践演習(中・高), 教職実践演習(高校)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

教員履歴など

現職	教授
学歴・職歴	島根大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻国語教育専修[1998年03月修了]
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文学協会 表現学会 日本読書学会 日本国語教育学会 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法/初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講Ⅱ, 読書と豊かな人間性, 中等国語科教育法Ⅰ, 初等国語科教育法+初等国語科教育法研究, 中等国語科教育法Ⅱ+国語科教育法演習Ⅰ, 卒業研究 (大学院科目)国語科教育学特論Ⅱ, 言語文化総合研究, 初等国語教育授業設計, 国語科教育学演習Ⅱ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著]「「ごん狐」における“死”と“暴力”」, 茨城の国語教育, 16, 17-26(2019年03月)

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

科学研究費補助金などの受領

--

全学教職センター	氏名 五島 浩一
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	北浦村立北浦中学校(1984年4月～1990年3月) 水戸市立新荘小学校(1990年4月～1994年3月) 茨城大学教育学部附属小学校(1994年4月～2009年3月) 牛久市立下根中学校(2009年4月～2011年3月) 水戸市立第一中学校(2011年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター(2013年4月～2017年3月) 茨城大学全学教職センター(2017年4月～)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	教師教育学会 教育実践学会 日本理科教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)教科教育、理科教育、教職論、教師教育、教育実践
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A, 教師の資質と教職設計B (大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践, 校内研修の企画・立案と実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・分担執筆]小川哲哉 編 五島浩一 他による分担執筆「学校現場の理解が深まる教育実習」, あいり出版, pp.33-51(2019年03月25日)
2. [教科書・単著]五島浩一「教職概論」, 青簡舎, (2019年03月20日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]五島浩一「実践的指導力の育成を目指した教員養成 —アクティブ・ラーニングの視点からの授業設計—」, 茨城大学教育実践研究, 37, 9-24(2018年11月30日)

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「指導力判定委員会」茨城県教育委員会教育長[指導力判定委員会委員]

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立中央看護専門学校・(2018 年 09 月～2018 年 12 月)

○ 地域協力活動

1. 日立市[学外審議会・委員会等]「中里中学校校舎改築事業設計プロポーザル審査委員会委員長」(2018 年 12 月～2019 年 02 月)

2. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 29 年度那珂市研究主任研修会」(2017 年 08 月～)

3. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 28 年度いばらき理科教育推進事業に係る小学校教科担任制モデル校公開授業研究会講師」(2017 年 01 月～)

4. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 28 年度那珂市研究主任研修会」(2016 年 05 月～)

5. [地域貢献事業]「神栖市立太田小学校校内研修会講師」(2016 年 02 月～)

6. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 27 年度那珂市研究主任研修会」(2015 年 05 月～)

7. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 26 年度第 2 回那珂市研究主任研修会」(2015 年 02 月～)

8. 茨城県水戸教育事務所[地域貢献事業]「平成 26 年度中学校研究主任研修会講師」(2015 年 01 月～)

9. 那珂市教育委員会[地域貢献事業]「平成 26 年度那珂市研究主任研修会講師」(2014 年 05 月～)

10. [地域貢献事業]「鹿嶋市立鹿島小学校理科要請訪問指導講師」(2013 年 11 月～)

11. [地域貢献事業]「神栖市教育会理科教育研究部研修会講師」(2013 年 08 月～)

12. [地域貢献事業]「日立市教育研究会教育課程研究部研修会講師」(2013 年 02 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

(全学教職センター)	氏名 本田 敏明
------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	広島大学 教育学部 小学校教員養成課程[1975 年] 広島大学大学院 教育学研究科 教育方法学[1981 年]
学位	教育学修士
受賞歴	社会教育者功労者表彰(2011)
所属学会	教育システム情報学会 日本教育工学会 日本教育方法学会 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(専門科目)情報科教育法 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--